

# **VISK**

地デジ対応館内自主放送共聴システム  
OFDM 変調器内蔵 HD/SD エンコーダ  
**PV-200H**

## 取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください

[www.visk.jp](http://www.visk.jp)

(Blank Page)

## はじめに

このたびは地デジ対応館内自主放送共聴システム OFDM 変調器内蔵 HD/SD エンコーダ PV-200H をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に保管してください。

お断り

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
2. 予告なしに本書の内容を変更することがありますのでご了承ください。
3. 本製品及び本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一誤りや記載漏れなど、ご不明な点がありましたらご連絡ください。
4. 本製品を使用したことによる、お客様の損害その他の不利益に関しまして、いかなる請求につきましても当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。




© 2011 Copyright Chunichi Denshi Corporation. All rights reserved.

本書に記載されている商品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。




## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

|  |  |
|--|--|
|  <b>危険</b>  | 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる内容を示しています。                    |
|  <b>警告</b>  | 人が死亡または重傷を負う内容を示しています。                               |
|  <b>注意</b> | 人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容および、物的損害発生が想定される内容を示しています。 |

## 図記号の意味

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
|  | 名称：注意<br>意味：注意(気をつける必要があること)を表しています。 |
|  | 名称：禁止<br>意味：禁止（してはいけないこと）を表しています。    |
|  | 名称：強制<br>意味：強制（必ずすること）を表しています。       |



## 危険

- 可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、本機を使用しないでください。スイッチやコネクタなどの電気火花により引火爆発を誘発し、けがまたは死亡する原因となります。



禁止



## 警告

- 交流 100 ボルト以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機のアース線を必ず取り付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。電源プラグを保護接地コンタクトをもった電源コンセントに挿入してください。



アース取り付け

- 本機のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検調整・修理は弊社にご依頼ください。



分解禁止

- 本機を分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。



分解禁止

- 本機の開口部（空気取り入れ口やファンなど）から、内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様がいらっしゃるご環境ではご注意ください。



禁止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて弊社までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

- 屋外では使用しないでください。本機に水を入れたり、ぬらしたりすると火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機の上には、水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

- 煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。



電源プラグを抜く

- 本機を落としたり、カバーを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

- 雷が鳴り出したら本機・電源プラグ・接続ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



弊社に連絡

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を敷物で覆うことによって、それに気付かず、重いものを乗せてしまうことがあります。



禁止

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ほこりを取る

- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。また、縦置きにしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



## 注意

- 本機を油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 本機を冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所に置かないでください。つゆが付き、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。



禁止

- 本機を直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 本機のファンパネルや通気孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - ⇒ 本機を棚や木箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - ⇒ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんなどの上に置く。
  - ⇒ 本機をあお向けや横倒し、逆さまにて使用する。



禁止

- 本機の上に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様がいるご使用環境ではご注意ください。



禁止

- 本機の上に重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



禁止

- 同梱の電源コードは本機専用です。他の電源コードを使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



注意

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外したことを確認の上で行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ・  
接続コードを抜く

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となることがあります。



注意

- お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。そのまま行くと感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

- キャスター付きの台に本機を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



キャスター  
止めをする

- 電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。



確実に差し込む

- 電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときは、コンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。弊社にご連絡ください。



禁止

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



●タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

●コード類は正しく配置してください。電源コードや接続ケーブルなどは足に引っ掛けると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続、配置してください。



注意

## 同梱品

はじめに、同梱品がそろっているか確認します。

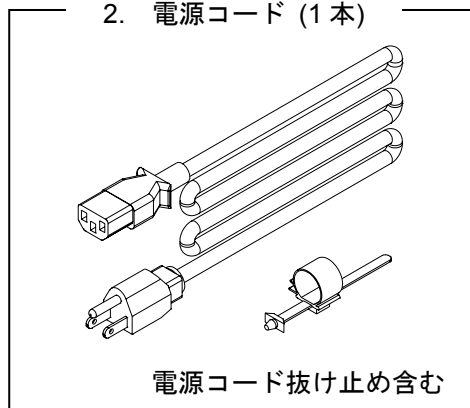
### 《同梱品一覧》

| No. | 項目          | 詳細   | 数量               |
|-----|-------------|--|------------------|
| 1   | 本体(PV-200H) | 本機   | 1台               |
| 2   | 電源コード       | 3P(ピン)、全長 2m。電源コード抜け止めが添付されています。   | 1本               |
| 3   | ゴム足         | 本機をラックに取り付けず、単独で設置する際に使用するゴム足です。ユニット底面にネジで取り付けをします。                                | 4個<br>(ネジ4個)     |
| 4   | ラック取り付け金具   | 本機をラックに取り付ける際に使用する金具です。ユニット側面にネジで取り付けをします。<br>ただし、本機をラックに取り付ける際の固定ネジは、お客様にて準備願います。 | L字金具2個<br>(ネジ6個) |
| 5   | 取扱説明書       | この冊子です。<br>上記製品の取扱方法や操作方法が書かれています。   | 1冊               |

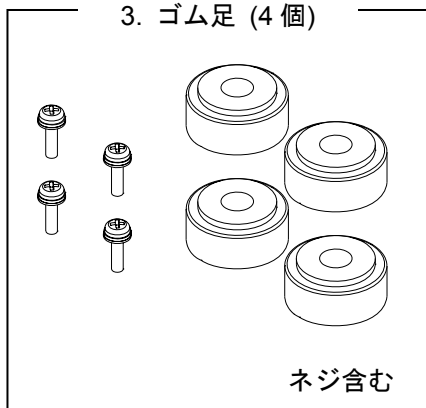
#### 1. 本体 (1台)



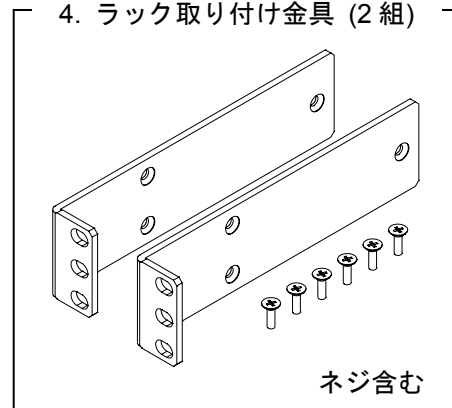
#### 2. 電源コード (1本)



#### 3. ゴム足 (4個)

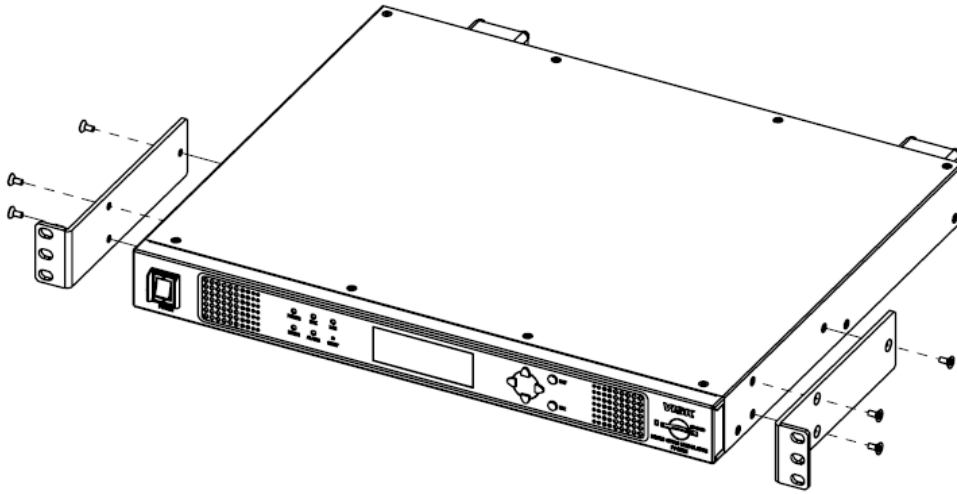


#### 4. ラック取り付け金具 (2組)



#### 5. 取扱説明書 (1部)

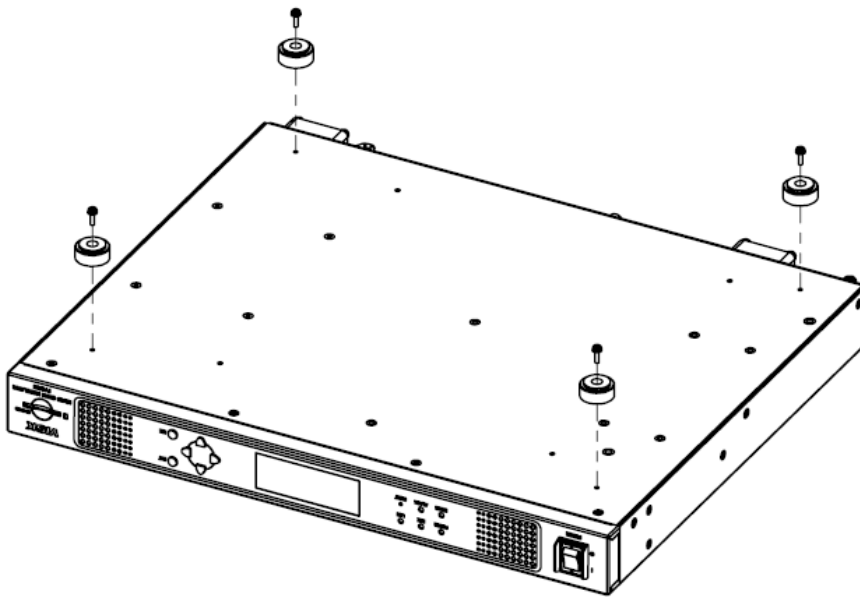
### ラック取り付け図



推奨締付トルク : 1.5N・m(15.4kgf・cm)

本体の両側に3箇所ずつネジで取り付けます。  
しっかりとネジを締めて、固定してください。

### ゴム足取り付け図



推奨締付トルク : 0.7N・m(7.2kgf・cm)

本体の裏に4箇所ネジで取り付けます。  
しっかりとネジを締めて、固定してください。

出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

**地デジ対応館内自主放送共聴システム**  
**OFDM 変調器内蔵 HD/SD エンコーダ PV-200H 取扱説明書**

**目次**

|                     |    |
|---------------------|----|
| 第1章. 各部の名称とその機能     | 1  |
| 1-1 概要              | 1  |
| 1-2 システム接続例         | 1  |
| 1-3 特徴              | 2  |
| 1-4 本体前面の構造とその名称    | 3  |
| 1-5 本体背面の構造とその名称    | 4  |
| 1-6 使用上のご注意         | 7  |
| 第2章. 機器の接続          | 8  |
| 2-1 配線              | 8  |
| 第3章. 設定のしかた         | 12 |
| 3-1 設定をするには         | 12 |
| 3-2 ウェブブラウザでの設定     | 12 |
| 3-2-1 設定時の接続        | 13 |
| 3-2-2 設定PCのネットワーク設定 | 14 |
| 3-2-3 画面の名称         | 19 |
| 3-2-3-1 タイトル画面名称    | 20 |
| 3-2-3-2 個別設定画面について  | 22 |
| 3-3 各種設定            | 23 |
| 3-3-1 かんたん設定        | 23 |
| 3-3-2 詳細設定          | 27 |
| 3-3-2-1 共通設定        | 27 |
| 3-3-2-2 エンコード設定     | 33 |
| 3-3-2-3 サービス設定      | 38 |
| 3-3-3 データ多重         | 44 |
| 3-3-4 ステータス         | 49 |
| 3-3-4-1 エラー/アラーム    | 49 |
| 3-3-4-2 ログ          | 51 |
| 3-3-4-3 機器ステータス     | 53 |
| 3-3-5 システム設定        | 54 |
| 3-3-5-1 基本設定        | 54 |
| 3-3-5-2 バージョン管理     | 55 |
| 3-3-5-3 設定値         | 57 |
| 3-3-5-4 時刻補正        | 59 |
| 3-3-5-5 SNMP設定      | 61 |
| 3-3-6 視聴制限          | 63 |
| 3-3-6-1 機能設定        | 63 |
| 3-3-6-2 TV番号選択      | 67 |
| 3-4 文字スーパー          | 69 |

|                                |            |
|--------------------------------|------------|
| 3-4-1 文字スーパー表示.....            | 69         |
| 3-4-1-1 通常画面の構成.....           | 71         |
| 3-4-1-2 L字型画面の構成.....          | 72         |
| 3-4-1-3 文字スーパーの表示更新.....       | 73         |
| 3-4-1-4 文字スーパーの最大文字数.....      | 73         |
| 3-5 データ付加テレビサービス.....          | 74         |
| 3-6 「ちら見」の防止.....              | 75         |
| 3-7 視聴制限の運用.....               | 76         |
| 3-7-1 テレビへのTV番号設定手順.....       | 77         |
| 3-8 設定用ディスプレイ、設定ボタン.....       | 79         |
| 3-8-1 設定ボタンの基本動作.....          | 79         |
| 3-8-2 動作詳細.....                | 80         |
| 3-9 SDカードの操作.....              | 89         |
| 3-9-1 SDカードの主な機能.....          | 89         |
| 3-9-1-1 TSファイル/データ放送の再生.....   | 89         |
| 3-9-1-2 内部設定機能の更新/保存.....      | 89         |
| 3-9-1-3 ログデータ取得.....           | 90         |
| 3-9-1-4 アプリケーションのバージョンアップ..... | 90         |
| 3-9-2 SDカードの挿入と取り出し.....       | 90         |
| 3-9-3 SDカード機能の操作.....          | 91         |
| <b>第4章. メンテナンス.....</b>        | <b>92</b>  |
| 4-1 エラー/アラーム.....              | 92         |
| 4-1-1 内容を確認する.....             | 92         |
| 4-1-2 機器のステータスを確認する.....       | 93         |
| 4-1-3 ログ内容詳細.....              | 94         |
| 4-2 メンテナンスモード.....             | 100        |
| 4-2-1 メンテナンスモードを起動する.....      | 100        |
| 4-2-2 ネットワーク設定.....            | 102        |
| 4-2-3 MACアドレス.....             | 102        |
| 4-2-4 バージョンアップ.....            | 102        |
| 4-2-5 ログ.....                  | 102        |
| 4-2-6 設定ファイル.....              | 102        |
| 4-3 空気取り入れ口のお手入れ.....          | 103        |
| <b>第5章. 主な仕様.....</b>          | <b>104</b> |
| 5-1 詳細仕様.....                  | 104        |
| 5-1-1 映像入力.....                | 104        |
| 5-1-2 音声入力.....                | 105        |
| 5-1-3 RF OUT.....              | 105        |
| 5-1-4 RF MON.....              | 106        |
| 5-1-5 RF入力 (RF IN).....        | 106        |
| 5-1-6 OFDM変調部.....             | 106        |

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 5-1-7 TS入力.....            | 107 |
| 5-1-8 符号化.....             | 107 |
| 5-1-9 イーサネットポート (LAN)..... | 107 |
| 5-1-10 ファン.....            | 108 |
| 5-1-11 その他.....            | 108 |
| 5-1-12 一般仕様.....           | 108 |
| 第6章. アフターサービスについて.....     | 109 |
| 6-1 保証および修理.....           | 109 |
| 6-1-1 無償保証期間.....          | 109 |
| 6-1-2 無償保証範囲.....          | 109 |
| 6-1-3 無償保証期間中の有償修理.....    | 109 |
| 6-1-4 修理条件.....            | 109 |
| 6-2 その他のアフターサービス.....      | 110 |
| 6-2-1 生産中止情報.....          | 110 |
| 6-3 お問い合わせ相談窓口.....        | 110 |

# 第1章. 各部の名称とその機能

## 1-1 概要

地デジ対応館内自主放送共聴システム OFDM 変調器内蔵 HD/SD エンコーダ PV-200H は、既存システムをそのままにデジタル自主放送を視聴する機器です。業務用カメラ、デジタルビデオカメラを PV-200H とつなげることで、ハイビジョン映像をデジタルテレビで視聴することができます。また、DVD プレーヤー等と接続し、SD(標準映像)の映像・音声送出も可能です。

## 1-2 システム接続例

下記に地デジ対応館内自主放送共聴システムの流れを示します。

通常の地上デジタル放送と同様に、チャンネルを合わせることで自主放送を視聴することができます。ビデオカメラや DVD プレーヤーなど素材を再生する機器と本機を接続し、同軸ケーブルを使用してデジタルテレビに配線をします。

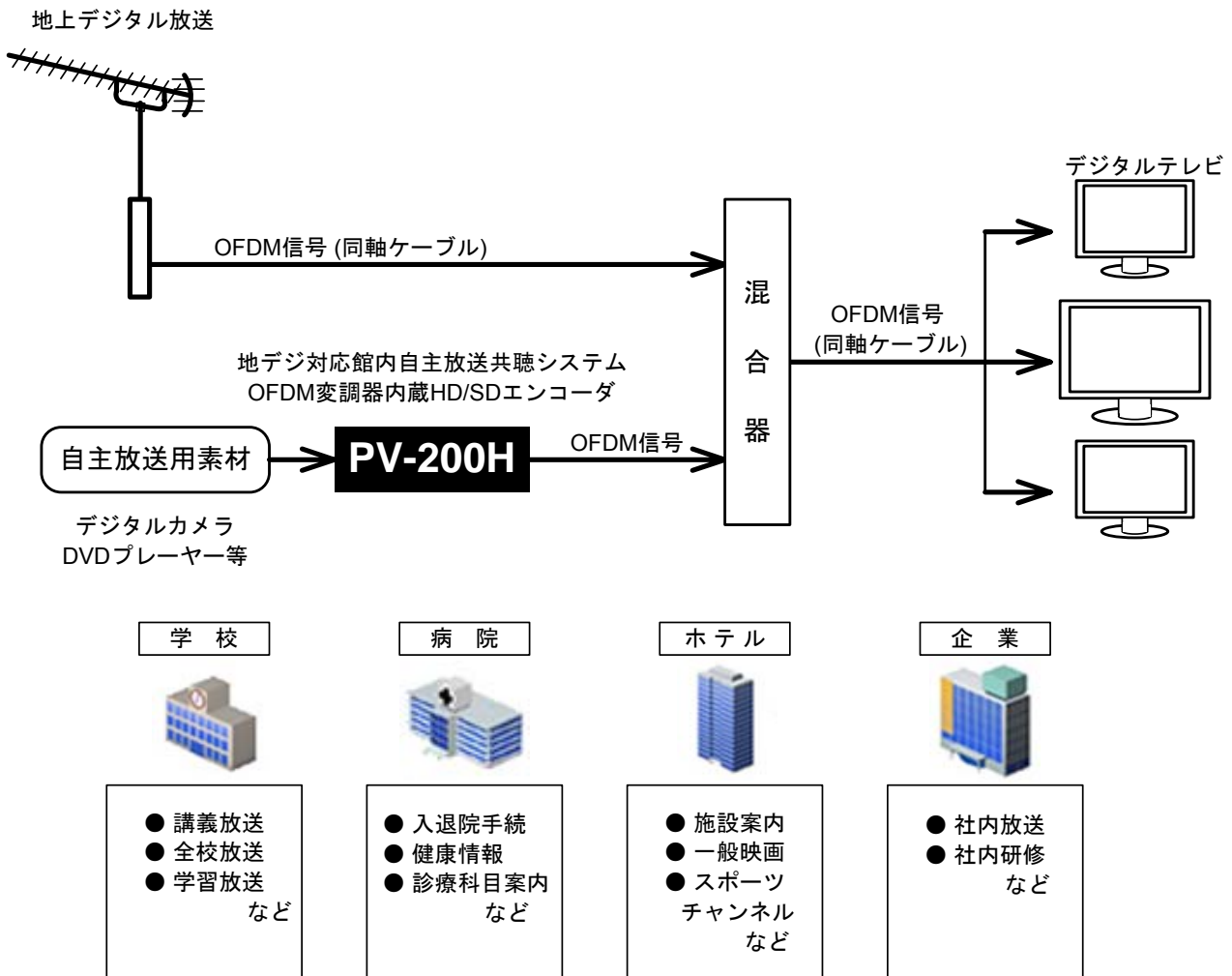


図 1-1 システム接続例

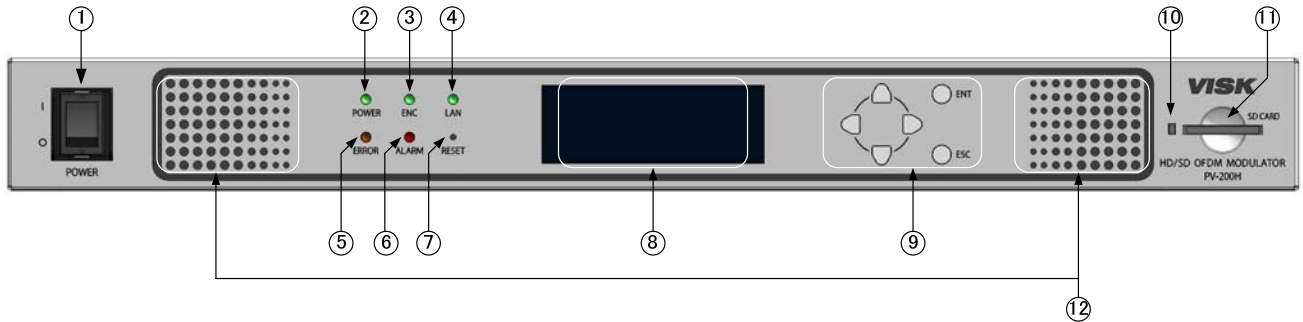
### 1-3 特徴

- (1) HD/SD エンコーダ、OFDM 変調器、時刻補正機能を 1 台に集約しました。
- (2) 設定 PC なしで本体の前面パネルの操作により容易に設定ができます。(TS 入力時、および、詳細設定時は設定 PC での設定が必要となります。)
- (3) HD/SD エンコーダ共用ですので、入力信号が HD (ハイビジョン映像) であれば、SD (標準映像) に比べ圧倒的に高品質な映像を送出、視聴できます。
- (4) 自主放送送出に必要な時刻情報をインターネット環境にある NTP サーバーやワンセグ放送から取得できる時刻補正機能を搭載しています。
- (5) HDMI 入力端子、D 端子 (D1/D3) 入力を搭載し、デジタルカメラなどを接続できます。
- (6) 映像入力は NTSC コンポジット (アナログ) 信号、SD-SDI 信号、HD-SDI 信号、HDMI 信号、D 端子信号から選択できます。
- (7) 音声入力はアナログ音声信号、SDI 信号、HDMI 信号から選択できます。
- (8) SD カードスロットを搭載し、PC などで作成したコンテンツデータを繰り返し送出することができます。
- (9) 設定用 PC で番組表 (簡易 EPG) が作成でき、番組内容の表示・選択ができます。
- (10) 字幕スーパー機能により文字情報の発信、効果的な情報伝達ができます。また、ネットワーク接続により、外部からの制御も可能です。  
(TS 入力、SD カードでのコンテンツ再生では文字情報の使用はできません。)
- (11) JIS または EIA ラック取り付けが可能です。(付属のラック取り付け金具使用)



## 1-4 本体前面の構造とその名称

本体 前面図



### ① POWER (スイッチ)

電源 ON/OFF を行います。

### ② POWER (表示灯)

POWER ON 時に緑色に点灯します。

### ③ ENC

装置動作時に緑色に点灯します。

### ④ LAN

LAN ポートのリンク確立とアクセス時に緑色に点灯します。

### ⑤ ERROR

外部要因による問題が生じた場合に橙色に点灯します。

設定ボタンと設定用ディスプレイ、またはパソコンで異常内容を確認してください。

### ⑥ ALARM

ハードウェアに異常が生じた場合に赤色に点灯します。

設定ボタンと設定用ディスプレイ、またはパソコンで異常内容を確認してください。

### ⑦ RESET

本体内部に配置されており、パネル面から人の指で押すことのできない構造です。

本機を再起動させたい場合、先端が細い木の棒などで長押し (3 秒以上) します。

また、メンテナンス時にも使用します。(→メンテナンスについては 100 ページをご参照ください。)

### ⑧ 設定用ディスプレイ

本機の設定内容、機器の状態等を表示します。

### ⑨ 設定ボタン

6個のスイッチを操作して設定用ディスプレイに表示される画面を操作します。

### ⑩ SDカード動作表示LED

SDカードの動作中は緑色点灯します。

### ⑪ SDカードスロット

SDカードを挿入します。

(注) SDカードを抜く前に、必ず左側のSDカード動作表示LEDの消灯を確認してください。

SDカード動作表示LEDが緑色点灯中にSDカードを抜いた場合は、⑦のリセットボタンを長押し(3秒以上)して、本機を再起動させてください。

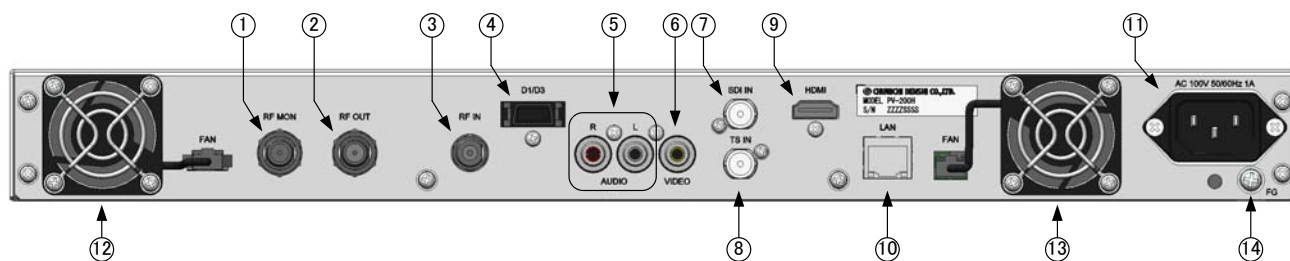
### ⑫ 空気取り入れ口

内部の空冷用として空気を取り入れます。

空気取り入れ口の前に物を置かないようにしてください。

## 1-5 本体背面の構造とその名称

本体 背面図



#### ① RF モニタ出力 (RF MON)

RF モニタ出力コネクタです。モニタ用として使用します。  
F型コネクタを使用します。

#### ② RF 出力 (RF OUT)

RF 出力コネクタです。出力するテレビに接続します。  
F型コネクタを使用します。

③ **時刻情報取得コネクタ (RF IN)**

時刻情報を取得するためにワンセグ放送を受信します。  
F型コネクタを使用します。

④ **D端子映像入力コネクタ (D1/D3)**

アナログ映像入力を行う D1/D3 入力用コネクタです。

⑤ **アナログ音声入力コネクタ (AUDIO IN L/R)**

アナログ音声入力を行うコネクタです。RCA コネクタを L (白) / R (赤) ペアで使用します。

⑥ **アナログ映像入力コネクタ (VIDEO IN)**

アナログ映像を入力するコンポジット入力用 RCA コネクタです。

⑦ **デジタル映像/音声入力端子 (SDI IN)**

デジタル映像入力を行う HD/SD-SDI 入力用 BNC 型コネクタです。  
L/R 2ch 音声为重畳されます。

⑧ **TS 入力コネクタ (TS IN)**

マルチプログラム (映像・音声) の TS 入力 (DVB-ASI 準拠) 用 BNC 型コネクタです。

⑨ **HDMI 映像/音声入力端子 (HDMI)**

デジタル映像/音声入力を行う HDMI 入力コネクタです。(HDCP は非対応です。)

⑩ **LAN コネクタ (LAN)**

本機と設定 PC を LAN で接続し、詳細設定や状態監視/制御を行います。  
RJ-45 コネクタを使用します。  
ウェブブラウザでの設定時に使用します。

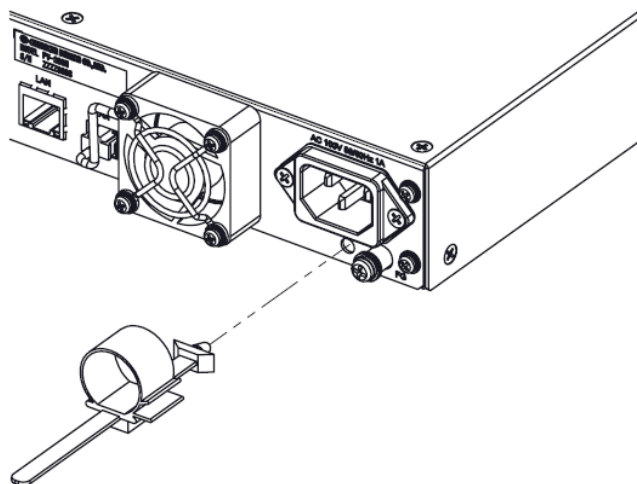
### ⑪ 電源入力コネクタ (AC IN)

AC 電源入力用コネクタです。電源コードを差し込んで使用します。

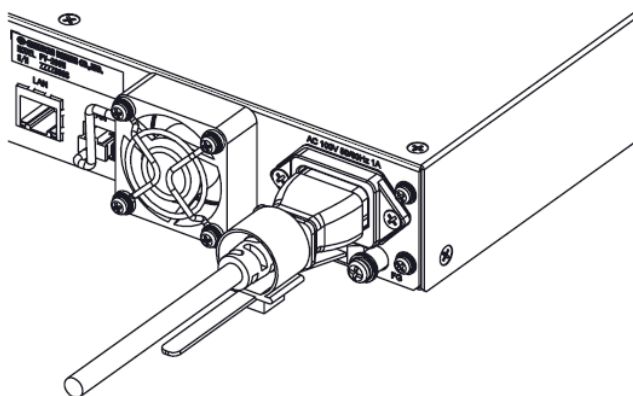
同梱の電源コード抜け止めを使用して電源コードを差し込んでください。

ヒューズは内蔵電源内に取り付けられており、ヒューズが切れた場合は故障と判断します。

このコネクタ下に電源コード抜け止めを取り付けます。



同梱の電源コード抜け止めを上記のように差し込みます。



電源コードをしっかりと差し込みます。

### ⑫ FAN(左)

本体後ろから見て左側に設置されています。

本体内部の冷却用のファンです。防塵用のフィルタは取り付けていません。

### ⑬ FAN(右)

本体後ろから見て右側に設置されています。

本体内部の冷却用のファンです。防塵用のフィルタは取り付けていません。

### ⑭ FG 入力端子 (FG)

FG 端子として、M4 のネジ端子を搭載しています。

## 1-6 使用上のご注意

本機を安全にお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

- (1) 本機前面の空気取り入れ口や背面の FAN は、通風および放熱のために設けています。開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、本機の周囲温度が+40℃を超えるような場所に設置しないでください。
- (2) ファンが停止した状態で使用し続けしないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。
- (3) 本機に使用しているファンは、7 年毎に交換してください。ファンの交換方法につきましては、弊社または代理店までご連絡ください。弊社連絡先に関しましては 110 ページの「お問い合わせ相談窓口」をご参照ください。
- (4) 設定中に電源スイッチを切ると、設定データが消去されることがあります。また、バージョンアップ中に電源スイッチを切ると、回復不能な起動不良状態に陥る危険性があります。
- (5) 必ず時刻補正を行ってから運用してください。テレビやチューナーの作動に影響を与える恐れがあります。
- (6) 接続するアンテナケーブルや AC コンセントには、市販の雷対策用の外付けプロテクターを装着することをおすすめします。
- (7) 本機をラックに収納する場合、サポートアングルを使用して本機を支えてください。また、ケーブルは結束バンドなどで束ねるなどしてコネクタやケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。

## 第2章. 機器の接続

### 2-1 配線

本機の機材の接続例を以下に示します。

サービス 1 でデジタル入力を使用する場合には①を、アナログ入力する場合には②を、サービス 2、サービス 3 を使用する場合には③,④をご参照ください。

#### ① サービス 1 でデジタル入力を使用する場合の接続例

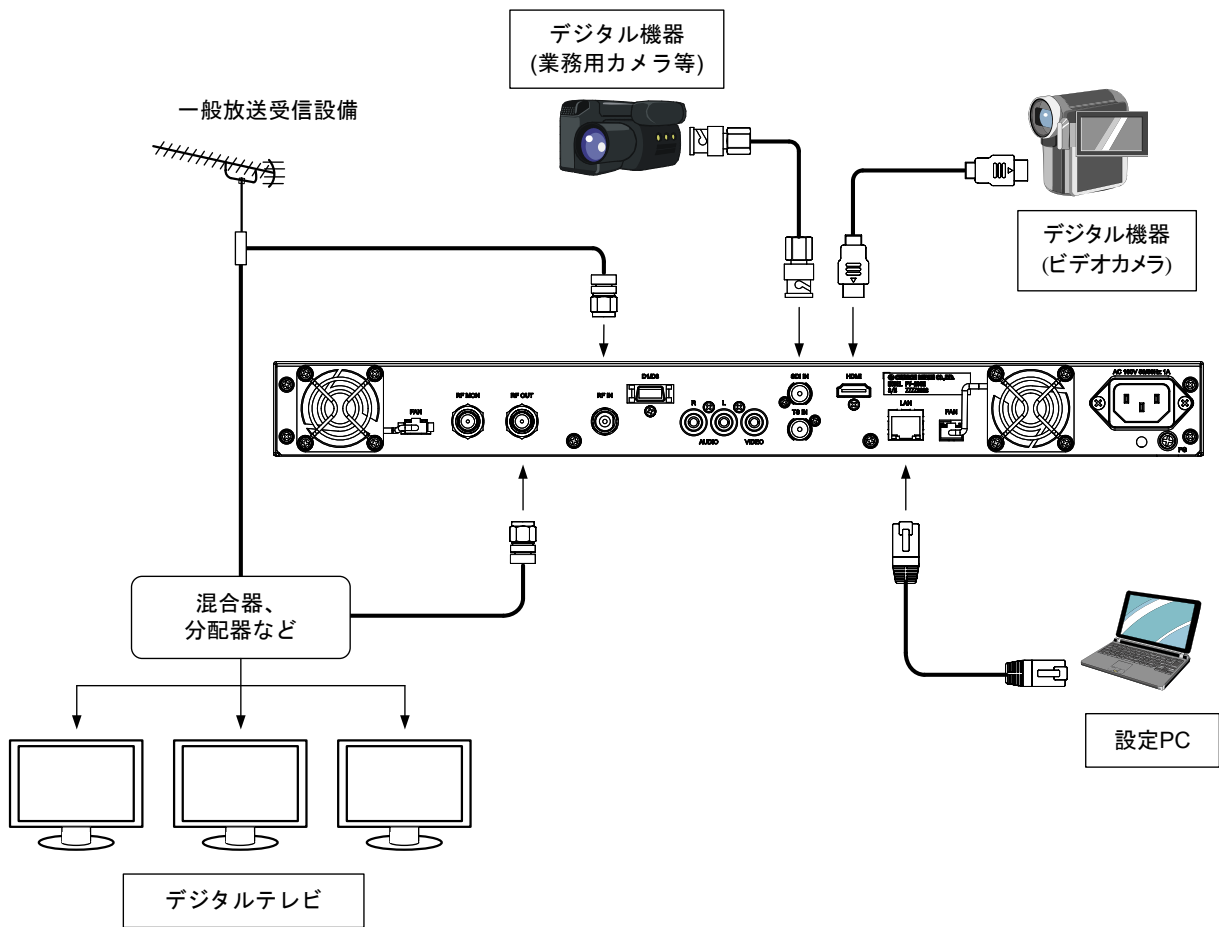


図 2-1 配線例

② サービス 1 でアナログ入力を使用する場合の接続例

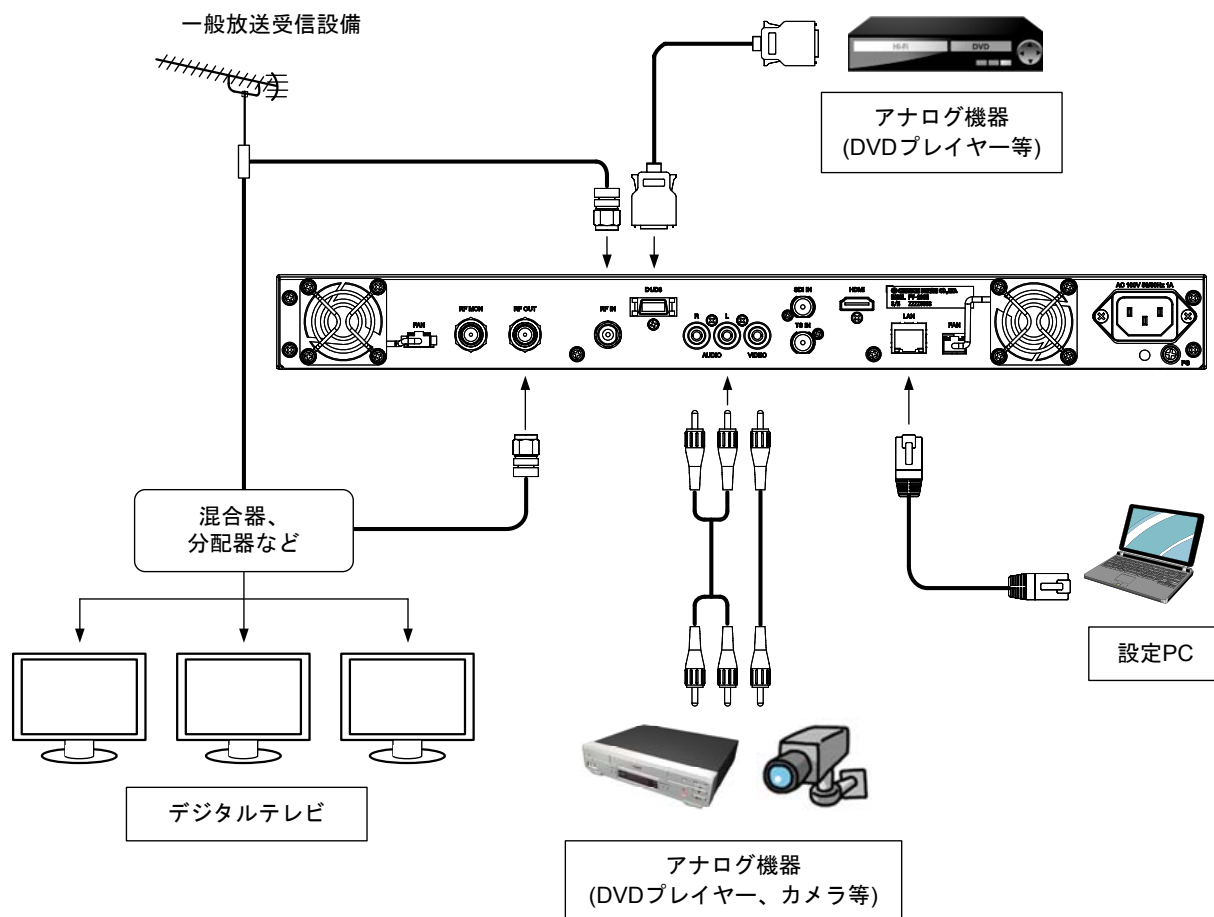


図 2-2 配線例

③ サービス 2、サービス 3で TS 入力を使用する場合の接続例

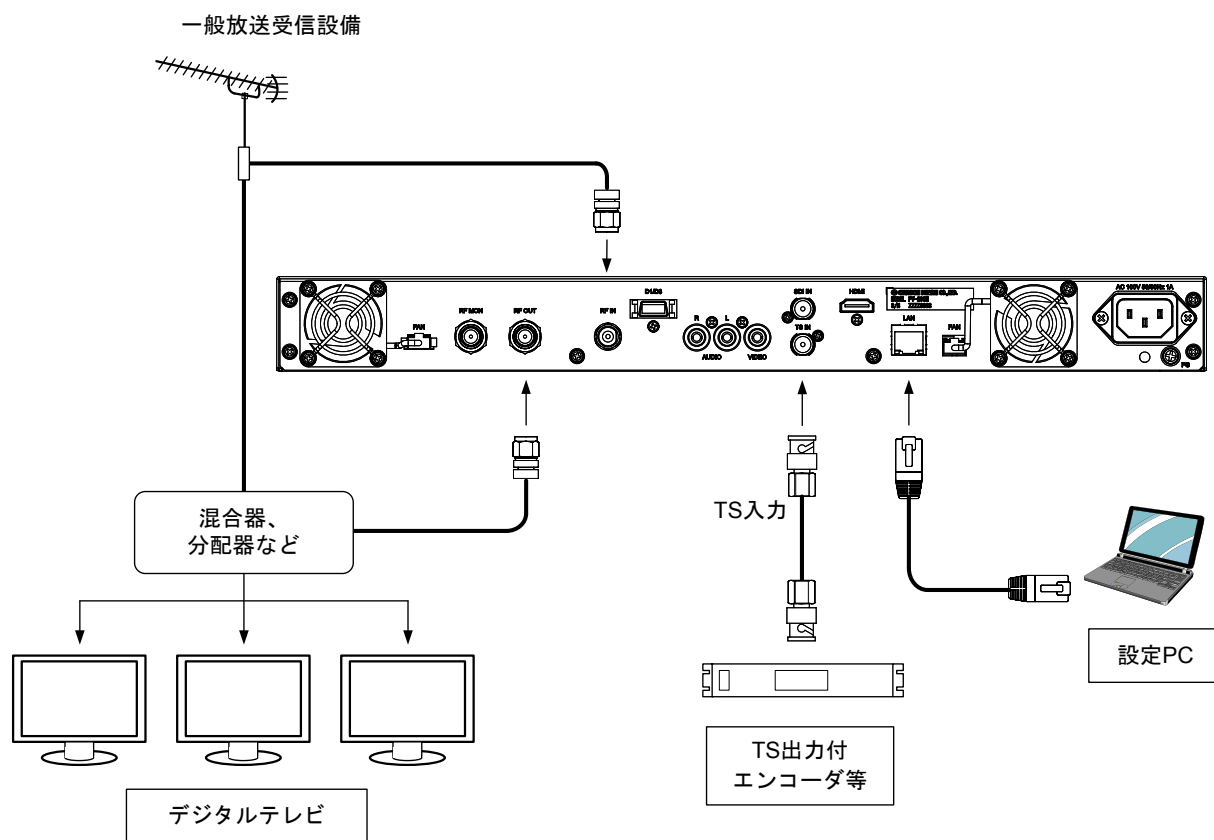


図 2-3 配線例



④ サービス3でSDカードによる入力を使用する場合の接続例

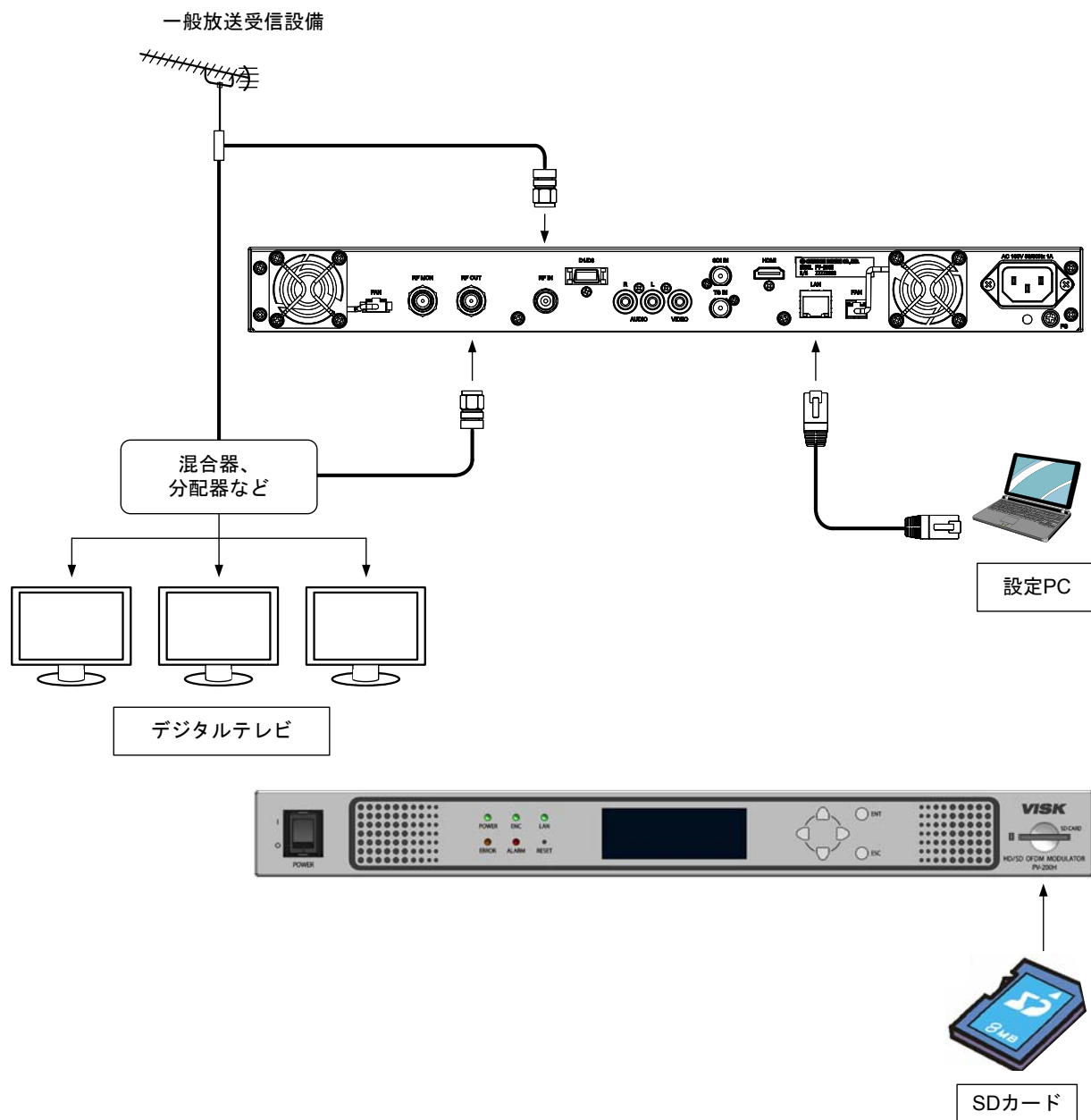


図 2-4 配線例

● LANケーブルの接続について

本機は Auto-Negotiation 機能を備えています。本機と直接 LAN ケーブルで接続する機器は Auto-Negotiation モードで接続を行ってください。  
本機の接続先が固定モードの場合、正常に接続出来ません。



注意

## 第3章. 設定のしかた

### 3-1 設定をするには

本機ではウェブブラウザもしくは設定用ディスプレイを使い、内部の設定をお客様の用途に合わせて設定することが出来ます。

### 3-2 ウェブブラウザでの設定

本機ではウェブブラウザを使用し、放送内容を設定する「かんたん設定」「詳細設定」「システム設定」をお客様の用途に合わせて設定し、「ステータス」を確認することができます。

---

#### かんたん設定(23 ページ)

「サービス運用設定」の選択や「放送ネットワーク設定」「簡易 EPG 設定」「時刻補正」「OFDM 設定」を一括で設定することができます。

---

#### 詳細設定(27 ページ)

「共通設定」「エンコード設定」各サービスにおける「サービス(番組)」「簡易 EPG 設定」や「データ多重」を設定します。

---

#### ステータス(49 ページ)

「エラー/アラーム」「ログ」「機器ステータス」の確認ができます。

---

#### システム設定(54 ページ)

「基本設定」「バージョン管理」「設定値」「時刻補正」「SNMP 設定」を設定します。

---

#### 視聴制限(63 ページ)

「機能設定」「TV 番号選択」を設定します。

---

設定をする際には、まず本機と設定PCをLANケーブルで接続してください。設定PCのネットワーク設定については 14 ページの「設定PCのネットワーク設定」をご参照ください。

本機と接続する設定 PC の推奨動作環境は以下の通りです。

- ・ OS : Windows XP, Vista, 7
- ・ ウェブブラウザ : Internet Explorer 6.0, 7.0, 8.0, 9.0

### 3-2-1 設定時の接続

接続については、「第 2 章 機器の接続」をご覧ください、以下の接続がきちんとされているか確認してください。

- ・ RF IN                    RF ケーブルを使い、地上デジタル(ワンセグ)放送に対応したアンテナと接続します。
- ・ D1/D3                    D 端子出力を接続します。音声は AUDIO IN に入力します。
- ・ SDI IN                    SDI 出力を接続します。デジタル音声は映像信号に多重されて入力されます。
- ・ HDMI                     HDMI 出力を接続します。デジタル音声は映像信号に多重されて入力されます。
- ・ VIDEO IN/AUDIO IN                    アナログ機器を接続します。
- ・ RF OUT                    デジタルテレビ等に接続します。
- ・ LAN                        設定 PC 等に接続します。

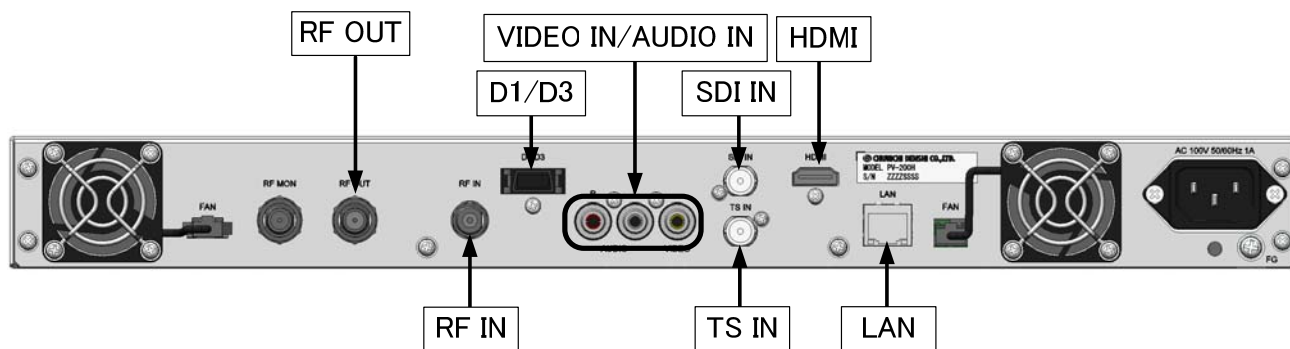


図 3-1 本機背面図

#### ●IP アドレス設定の注意

本機は、IP アドレスの自動取得に対応していません。IP アドレスのデフォルト値は固定値ですので、複数台の本機を初期設定する際には、同じ IP アドレスのまま、同時にネットワークに接続しないようにしてください。IP アドレスが重複する場合、ウェブブラウザによる設定が正常に行えません。

また、IP アドレスが同一である複数台の本機を順番にネットワークに接続し、ウェブブラウザから設定する場合、新しくネットワークに接続した本機と一時的に通信ができないことがあります。この場合には、ウェブブラウザが動作している PC の電源を入れなおしてください。



### 3-2-2 設定 PC のネットワーク設定

本機とネットワーク接続できるよう、以降の手順に沿って設定 PC のネットワーク設定を変更します。

#### ●使用する LAN ケーブルについて

本機と設定 PC を接続する LAN ケーブルは、ストレート/クロスケーブルとも接続することができます。

メモ

1) スタート画面からコントロールパネルを選択します。



図 3-2 スタートメニュー

2) コントロールパネルの中にある「ネットワーク接続」を選択します。

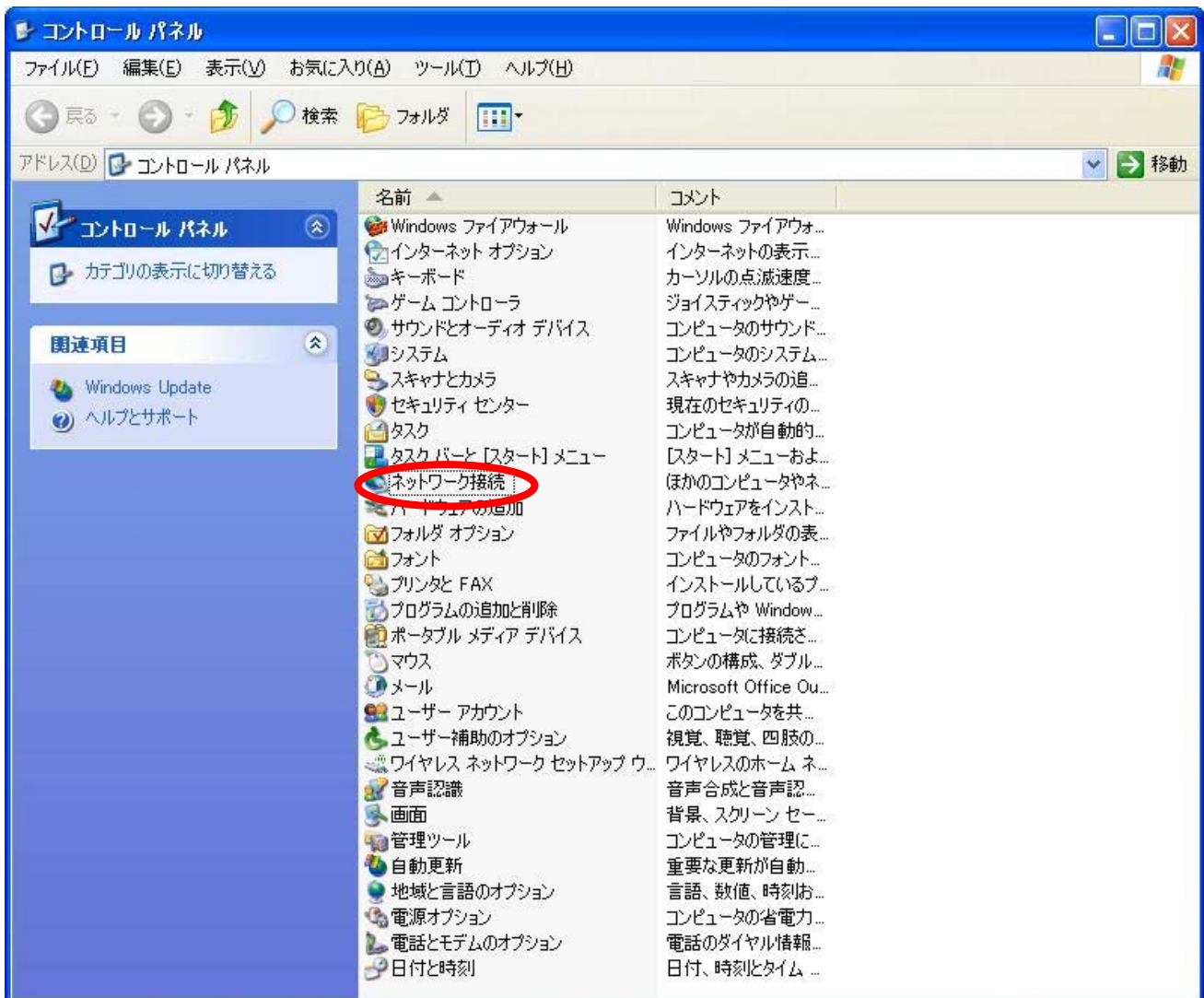


図 3-3 コントロールパネル

3) ネットワーク接続の中にある「ローカルエリア接続」を選択します。

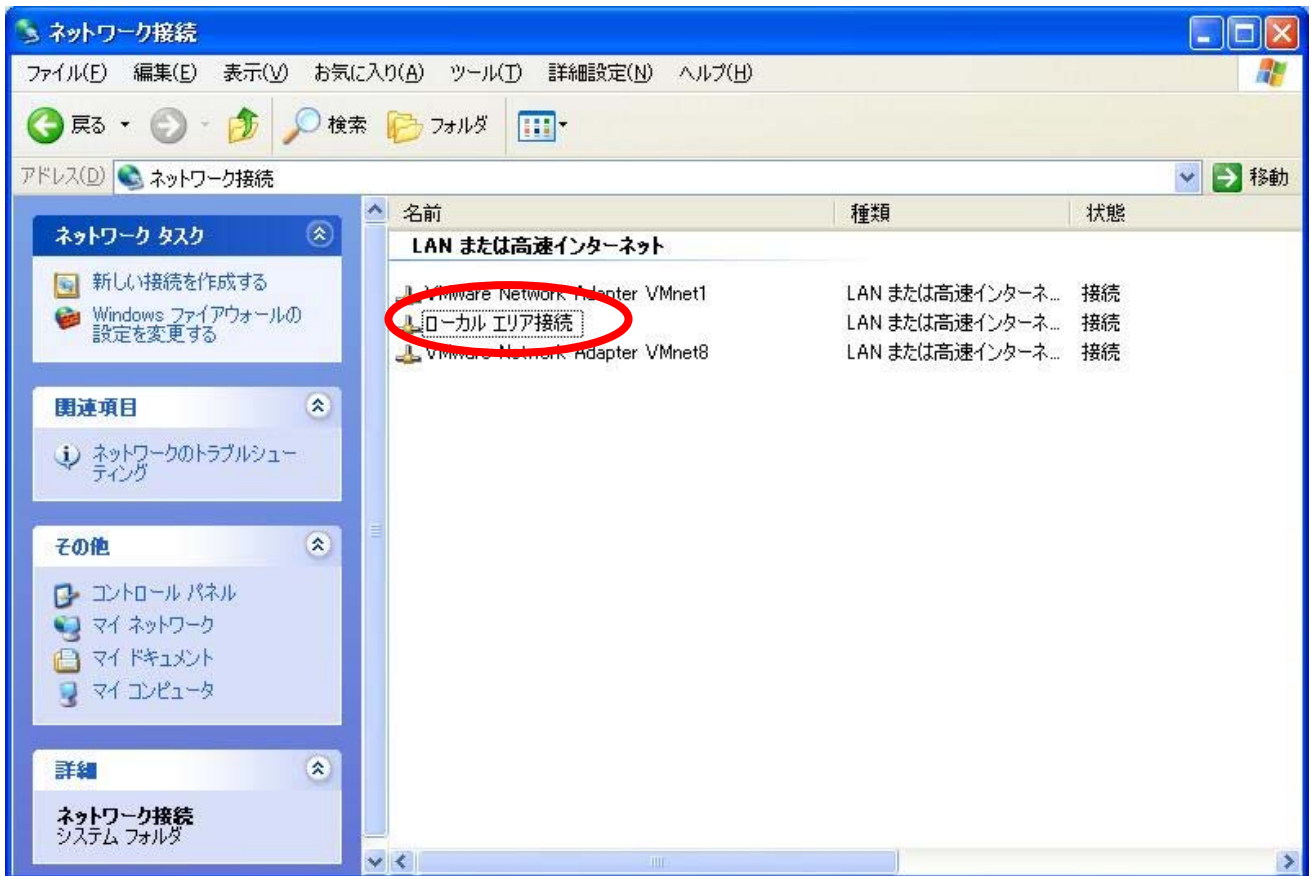


図 3-4 ネットワーク接続

4) 「プロパティ(P)」を選択します。



図 3-5 ローカルエリア接続の状態

5) 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択したのち、「プロパティ(R)」を選択します。



図 3-6 ローカルエリア接続のプロパティ

- 6) 「次の IP アドレスを使う(S):」を選択し、「IP アドレス(I):」に「192.168.1.XX」と設定します。  
XX の箇所は本機の IP アドレスと異なるように「0~255」の数字を入力します。  
(例: 本機が「192.168.1.1」の場合、設定 PC は「192.168.1.100」にする。)  
「サブネットマスク(U):」には「255.255.255.0」と設定してください。  
「デフォルトゲートウェイ(D):」と「次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):」は空欄で良いです。

設定終了後、「OK」を選択して画面を閉じます。

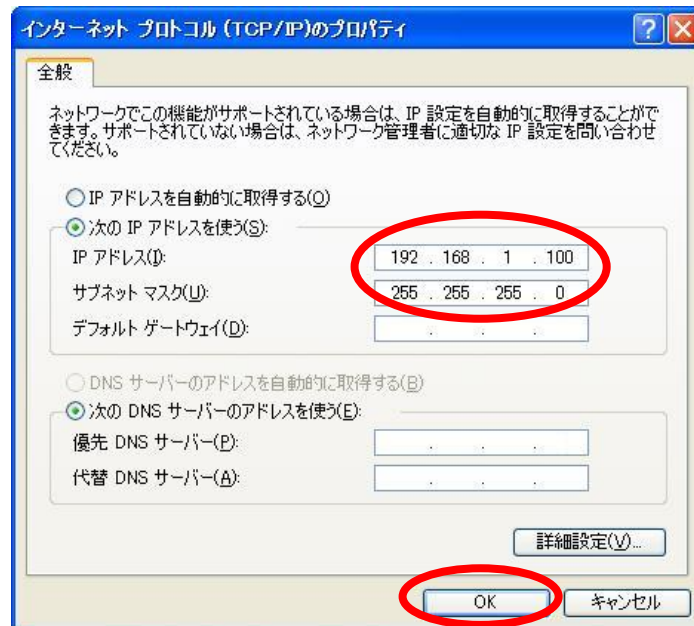


図 3-7 インターネットプロトコル(TCP/IP)の設定

- 7) 設定 PC を再起動します。



### 3-2-3 画面の名称

本機の電源を入れ、本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続し、ウェブブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力すると、以下の画面が表示されます。ウェブブラウザに表示される画面は「タイトル画面」と「個別設定画面」に分けられます。

The screenshot displays the VISK web browser interface. At the top, the VISK logo is prominent on the left, followed by the model name 'HD/SD OFDM MODULATOR PV-200H' and '館内OFDM自主放送システム'. To the right, technical details are listed: 'Ver: 0000', 'SN: 00000000', and 'IP: 192.168.1.1'. Below this, a navigation bar contains buttons for 'かんたん設定', '詳細設定', 'ステータス', 'システム設定', and '視聴制限'. A status bar shows 'NTP', 'エラー', and 'アラーム' indicators. Below the navigation bar are '設定' and 'デフォルト' buttons.

The main content area is divided into two sections:

- かんたん設定 (Easy Settings):** This section contains six buttons for configuring video and audio outputs: 'SDI映像 SDI音声', 'HDMI映像 HDMI音声', 'D端子映像 アナログ音声', 'アナログ映像 アナログ音声', 'SD映像 アナログ音声', and 'HDMI映像 アナログ音声'.
- 放送ネットワーク設定 (Broadcast Network Settings):** This section includes dropdown menus for '地域識別割り当て' (set to '東京都'), '地域事業者識別' (set to 'O (14)'), 'リモコンキーID' (set to '11'), '3桁チャンネル番号' (set to '111'), and '放送周波数' (set to 'C23(225MHz)').
- 簡易EPG設定 (Simple EPG Settings):** This section has text input fields for 'イベント名称' (set to '自主放送1') and 'イベント内容' (set to '自主放送内容1').
- 時刻補正 (Time Correction):** This section includes input fields for 'NTPサーバーアドレス' and 'ワンセグ 物理チャンネル' (set to 'ch.27(557MHz)').
- OFDM設定 (OFDM Settings):** This section has a dropdown menu for '出力レベル' (set to '105 dBμV').

Labels on the right side of the image identify the top portion as 'タイトル画面' (Title Screen) and the bottom portion as '個別設定画面' (Individual Settings Screen).

図 3-8 ウェブブラウザ起動画面

### 3-2-3-1 タイトル画面名称

タイトル画面は「情報表示」と「設定ボタン」に分けることができます。

|  |
|--|
| <b>情報表示</b><br>ファームウェアバージョン、シリアルナンバー、IP アドレス、ステータス |
| <b>設定ボタン</b><br>設定、デフォルト、設定メニュータブ                  |

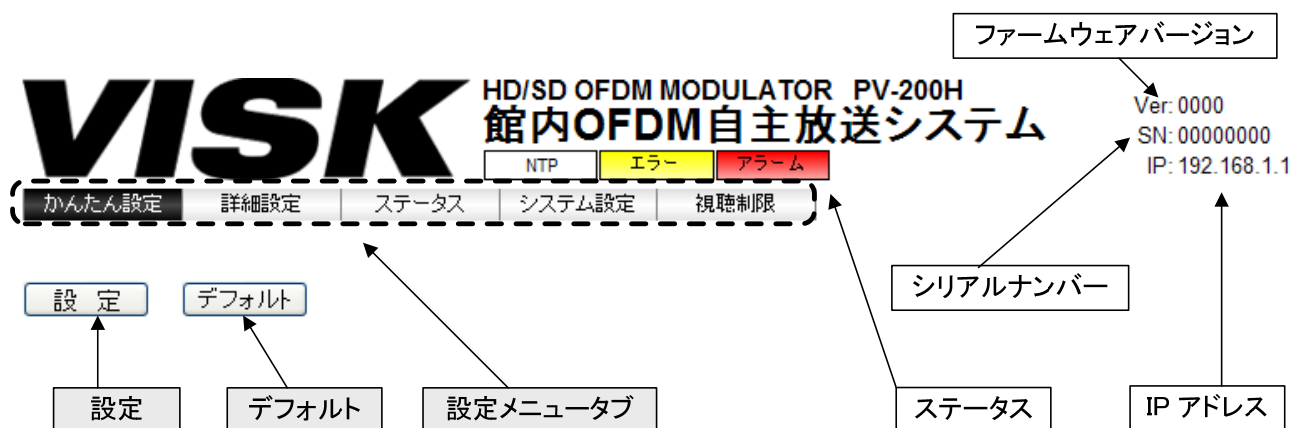
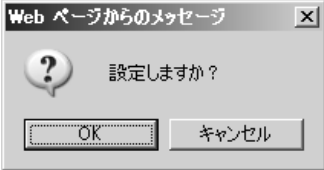
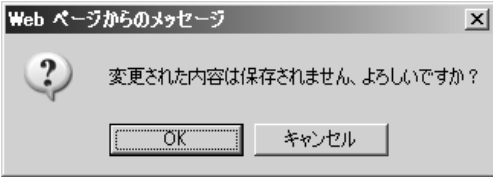


図 3-9 タイトル画面

情報表示、設定ボタンの解説は以下の通りです。

| 項目   |              | 内容                                    |  |
|------|--------------|---------------------------------------|--|
| 情報表示 | ファームウェアバージョン | 本機のファームウェアバージョンを表示しています。              |  |
|      | シリアルナンバー     | 本機のシリアルナンバーを表示しています。                  |  |
|      | IP アドレス      | 本機の IP アドレスを表示しています。                  |  |
|      | ステータス        | 一/ワンセグ/NTP                            | 現在の時刻情報の取得状況を表示しています。<br>『—』 : 時刻情報が取得できていない状態<br>『ワンセグ』: ワンセグから時刻情報が取得できている状態<br>『NTP』: タイムサーバー(NTP サーバー)から時刻情報が取得できている状態 |
|      |              | エラー                                   | エラー時点灯(黄色)<br>本機正面のエラー表示灯と同じ点灯をします。  |
| アラーム |              | アラーム時点灯(赤色)<br>本機正面のアラーム表示灯と同じ点灯をします。 |  |

| 項目        | 内容  |
|-----------|---|
| 設定メニュータブ  | <p>設定メニュー(大項目)を切替えます。<br/>項目により中項目のメニュータブを表示します。</p>  |
| 設定<br>ボタン | <p>各設定メニュー(大項目)で、設定を確定させる際にこの「設定」ボタンを押します。</p> <p>「設定」ボタンを押すと、「設定しますか?」とのメッセージが出ますので、設定する場合は「OK」ボタンを、キャンセルする場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。</p>  <p>「設定」ボタンを押さずに他のメニュー(大項目)に移ろうとした場合、「変更された内容は保存されません、よろしいですか?」とのメッセージがでますので移動する場合は「OK」ボタンを、キャンセルする場合は「キャンセル」ボタンをクリックして実行します。</p>  |
| デフォルト     | <p>各設定メニュー(大項目)の設定項目にデフォルト値をロードします。</p> <p>「設定」ボタンを押すまでは、現在の設定値が維持されます。</p>   |

### 3-2-3-2 個別設定画面について

各設定メニューを表示する画面です。

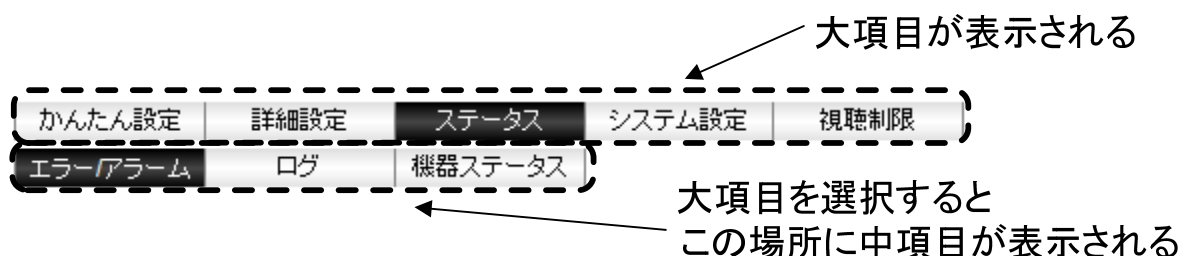


図 3-10 設定メニュータブ

各設定メニューリスト

| 大項目     | 中項目      | 説明   |                                    |
|---------|----------|--|------------------------------------|
| かんたん設定  |          | デジタル入力、アナログ入力の選択と各設定を一括で設定することが出来ます。         |                                    |
| 詳細設定    | 共通設定     | 運用するサービスの設定、放送の出力設定（放送ネットワーク設定、OFDM 設定）をします。 |                                    |
|         | エンコード設定  | 内蔵エンコーダー、文字スーパー、および、テストパターンの設定をします。          |                                    |
|         | サービス 1   | 内蔵エンコーダーのサービス（番組の出力）設定をします。                  |                                    |
|         | サービス 2   | 外部 TS 入力のサービス（番組の出力）設定をします。                  |                                    |
|         | サービス 3   | 外部 TS または SD カードからの入力によるサービス（番組の出力）設定をします。   |                                    |
| ステータス   | データ多重    | TS 入力、および、SD カードからのデータ多重を設定します。              |                                    |
|         | エラー/アラーム | 本機で発生中のエラー/アラーム情報表示をします。                     |                                    |
|         | ログ       | 本機のログ表示をします。                                 |                                    |
| 機器ステータス | 機器ステータス  | 電圧、温度、FAN の監視状況を表示します。                       |                                    |
|         | システム設定   | 基本設定   | システム基本情報を設定します。                    |
|         |          | バージョン管理                                      | ファームウェアのバージョンアップ実行と現在のバージョンを表示します。 |
| 設定値     |          | 本機の動作設定ファイルの書込み・読出しと工場出荷時状態に戻す設定をします。        |                                    |
| 時刻補正    |          | 時刻情報の取得方法（時刻補正）を設定します。                       |                                    |
| SNMP 設定 |          | SNMP エージェントの動作を設定します。                        |                                    |
| 視聴制限    | 機能設定     | 視聴制限、TV 番号入力、出力文章、FTP の設定をします。               |                                    |
|         | TV 番号選択  | TV 番号選択の設定をします。                              |                                    |

### 3-3 各種設定

#### 3-3-1 かんたん設定

「サービス運用設定」の選択や「放送ネットワーク設定」「簡易 EPG 設定」「時刻補正」「OFDM 設定」を一画面で設定します。面倒な設定が不要な簡易設定です。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「かんたん設定」を選択します。

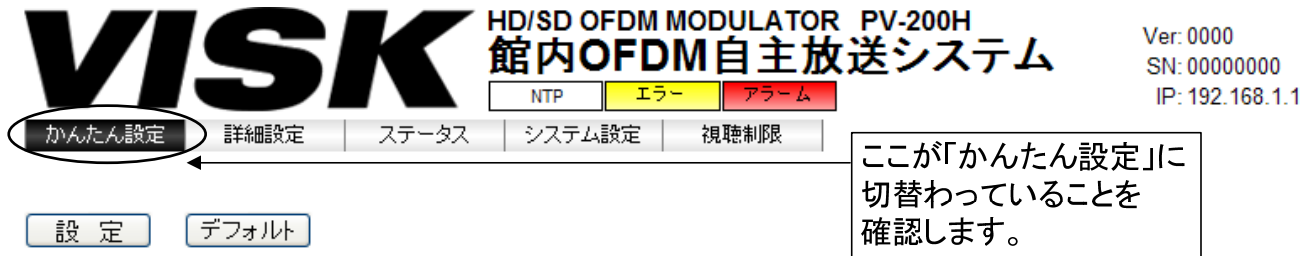


図 3-11 かんたん設定 タイトル画面

「かんたん設定」を選択すると、個別設定画面に以下の図が表示されます。

#### かんたん設定

|                 |                  |                 |                  |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| SDI映像<br>SDI音声  | HDMI映像<br>HDMI音声 | D端子映像<br>アナログ音声 | アナログ映像<br>アナログ音声 |
| SDI映像<br>アナログ音声 | HDMI映像<br>アナログ音声 |                 |                  |

**放送ネットワーク設定**

|          |        |          |             |           |     |
|----------|--------|----------|-------------|-----------|-----|
| 地域識別割り当て | 東京都    | リモコンキーID | 11          | 3桁チャンネル番号 | 111 |
| 地域事業者識別  | O (14) | 放送周波数    | C23(225MHz) |           |     |

**簡易EPG設定**

|        |         |
|--------|---------|
| イベント名称 | 自主放送1   |
| イベント内容 | 自主放送内容1 |

**時刻補正**

|              |               |  |  |
|--------------|---------------|--|--|
| NTPサーバーアドレス  |               |  |  |
| ワンセグ 物理チャンネル | ch.27(557MHz) |  |  |

**OFDM設定**

|       |          |
|-------|----------|
| 出力レベル | 105 dBμV |
|-------|----------|

図 3-12 かんたん設定画面

(1) かんたん設定

| 項目                    | 内容  |
|-----------------------|---|
| SDI 映像/SDI 音声入力       | SDI 入力を設定するボタンです。<br>SDI IN 端子から信号入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。  |
| HDMI 映像/<br>HDMI 音声入力 | HDMI 入力を設定するボタンです。<br>HDMI 端子から信号入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。   |
| D 端子映像/<br>アナログ音声入力   | D 端子映像、アナログ音声入力を設定するボタンです。<br>D1/D3 端子とアナログ音声端子から信号入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。   |
| アナログ映像/<br>アナログ音声入力   | アナログ入力を設定するボタンです。<br>アナログ映像・音声端子から入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。  |
| SDI 映像/<br>アナログ音声入力   | SDI 映像、アナログ音声入力を設定するボタンです。<br>映像信号を SDI IN 端子から、音声信号をアナログ音声入力端子から入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。   |
| HDMI 映像/<br>アナログ音声入力  | HDMI 映像入力、アナログ音声入力を設定するボタンです。<br>映像を HDMI 入力端子、音声をアナログ音声入力端子から入力する場合はこちらを選択します。<br>このボタンの操作にて「詳細設定」を行わずに設定が可能です。  |
| 放送ネットワーク設定            | 放送ネットワークの設定をします。  |
| 地域識別割り当て              | 地域識別割り当てを選択します。<br>原則、本機を設置する都道府県または地域を指定してください。<br>関東広域、近畿広域、中京広域、北海道域、岡山・香川、島根・鳥取 も選択可能ですが、これらは自主放送では使用しないことになっています。<br>地域識別割り当てを変更するとワンセグ物理チャンネルが地域別のデフォルト値に変更されます。  |
| 地域事業者識別               | 地域事業者識別を選択します。<br>原則、「O(14)」を指定してください。<br>「O(14)」以外に設定する場合には、地域識別割り当てに指定した地域の地上デジタル放送事業者（テレビ局）が使用していない値を選択するようにしてください。<br>「P(15)」は、ケーブルテレビ事業者の自主放送用として予約されています。ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合には、本機の地域事業者識別に指定できません。 |

| 項目         | 内容   |
|------------|--|
| (地域事業者識別)  | <p>「P(15)」以外の地域事業者識別の各地域における使用状況については、以下のドキュメントに記載されています。</p> <p>社団法人 電波産業会 発行<br/>地上デジタルテレビジョン放送運用規定<br/>ARIB TR-B14 第三分冊<br/>第七編 地上デジタルテレビジョン放送 送出運用規定<br/>9-2 識別子一覧</p> <p>このドキュメントは、次のウェブサイトより入手することができます。</p> <p>●<a href="http://www.arib.or.jp/">http://www.arib.or.jp/</a></p>   |
| リモコンキーID   | <p>リモコンキーID を選択します。</p> <p>デフォルトは 11 に設定されています。</p> <p>本機を設置する場所で放送されている地上デジタル放送事業者（テレビ局）が使用していないリモコンキーID を選択してください。</p> <p>ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合には、ケーブルテレビが使用しているリモコンキーID も選択しないでください。</p> <p>ケーブルテレビが使用しているリモコン ID の一覧は、次のウェブサイトより入手できます。</p> <p>●<a href="http://www.catv-jcta.jp/">http://www.catv-jcta.jp/</a></p> <p>地上デジタル放送やケーブルテレビと自主放送を混在する場合に、いずれかのテレビ局と同じリモコンキーID を自主放送に重複指定した場合、テレビの「チャンネル設定」機能が、受信レベルの低い方を未使用のリモコンキーID に代替割当するなどの調整を行います。</p> <p>なお、テレビにおいてリモコンキーの再割り当てをすることができます。詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。</p> |
| 放送周波数      | 放送周波数を選択します。空きチャンネルに設定してください。  |
| 3 桁チャンネル番号 | <p>リモコンキーID に連動して、サービス 1 の 3 桁チャンネル番号を表示します。</p> <p>3 桁チャンネル番号の 3 桁目は 1 です。「かんたん設定」では、サービス 1 のサービス番号は 0 固定です。</p> <p>リモコンキーID が他のテレビ局と重複する場合には、テレビによって未使用のリモコンキーID に代替割り当てされることがありますが、その場合でも 3 桁チャンネル番号の上位 2 桁には、指定したリモコンキーID が適用されます。</p> <p>なお、テレビは同じ 3 桁チャンネル番号を要求する複数のサービスを受信した場合、3 桁チャンネル番号の後ろに「枝番」がつく場合があります。詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。</p>   |
| 簡易 EPG 設定  | EPG 出力情報を設定します。  |
| イベント名称     | <p>イベント名称を入力します。</p> <p>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。</p> <p>番組名に相当します。</p>   |

| 項目           | 内容  |
|--------------|---|
| イベント内容       | イベント内容を入力します。<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。<br>番組説明に相当します。  |
| 時刻補正         | 時刻情報の取得に関する設定をします。  |
| NTP サーバーアドレス | NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。<br>NTP を使用するときは最低 1 つは入力してください。<br>複数のサーバーを指定した場合は最初の NTP サーバーを優先します。<br>IP アドレス入力例：192.168.1.100 |
| ワンセグ物理チャンネル  | 時刻情報をワンセグチャンネルから取得する場合に、受信するチャンネルを選択します。<br>NTP サーバーに接続できなかった場合に適用されます。   |
| OFDM 設定      | RF 出力レベルを設定します。<br>90～110dB $\mu$ V で 1dB $\mu$ V 刻みに設定できます。  |

**●かんたん設定での運用時の注意**

「かんたん設定」で設定すると、27 ページ「詳細設定」での「共通設定」「共通設定」「エンコード設定」「サービス 1」が推奨値により構成されます。ただし、「サービス 2」「サービス 3」が未使用となりますので、TS入力、SDカードから入力をする場合は、27 ページの「共通設定」、38 ページの「サービス設定」、44 ページの「データ多重」を設定してください。



**●放送周波数について**

VHF：1ch～12ch は、2011 年 7 月 24 日のデジタル化完全移行後、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。UHF の 53ch～62ch は、2012 年 7 月 25 日以降、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。C24ch～C27ch は、受信できないテレビがあります。





### 3-3-2 詳細設定

「共通設定」と「エンコード設定」「サービス1～3」「データ多重」の詳細をお客様の用途に合わせて行う設定方法です。「かんたん設定」で設定済みの場合は、構成された「共通設定」「エンコード設定」「サービス1」が確認できます。TS入力、SDカードから入力する場合は、27 ページの「共通設定」、38 ページの「サービス設定」、44 ページの「データ多重」を設定してください。

#### 3-3-2-1 共通設定

「サービス運用設定」「放送ネットワーク設定」「OFDM 設定」の設定をします。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「詳細設定」を選択し、中項目から「共通設定」を選択します。

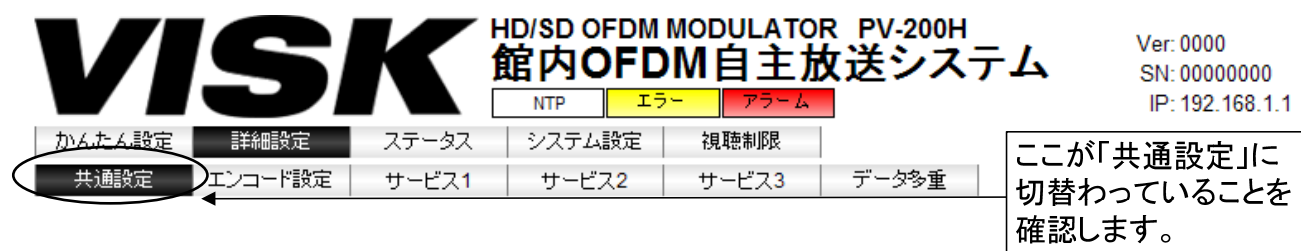


図 3-13 共通設定 タイトル画面

「共通設定」を選択すると、個別設定画面に以下の図が表示されます。

VISK

HD/SD OFDM MODULATOR PV-200H  
館内OFDM自主放送システム

NTP   エラー   アラーム

Ver: 0000  
SN: 00000000  
IP: 192.168.1.1

かんたん設定   詳細設定   ステータス   システム設定

**共通設定**   エンコード設定   サービス1   サービス2   サービス3   データ多重

設定   デフォルト

サービス運用設定   放送ネットワーク設定   OFDM設定

**サービス運用設定**

|         | サービス1  | サービス2  | サービス3   |
|---------|--|--|---|
| 映像・音声入力 | <input type="radio"/> 未使用<br><input checked="" type="radio"/> エンコーダーから入力 | <input type="radio"/> 未使用<br><input checked="" type="radio"/> TS入力から入力 | <input type="radio"/> 未使用<br><input type="radio"/> TS入力から入力<br><input checked="" type="radio"/> SDカードから入力 |

サービス構成図

```

                graph TD
                    Encoder[エンコーダー] --> Multiplexing[多重化装置]
                    TSInput[TS入力] --> Multiplexing
                    SDCard[SDカード] --> Multiplexing
                    Multiplexing --> Service1[サービス1]
                    Multiplexing --> Service2[サービス2]
                    Multiplexing --> Service3[サービス3]
                
```

TSレート  
6 Mbps

**放送ネットワーク設定**

TS名称   自主放送TS

地域識別割り当て   東京都   リモコンキーID   11

地域事業者識別   〇(14)   放送周波数   C23(225MHz)

**OFDM設定**

出力レベル   105 dBμV

図 3-14 共通設定画面

(1) サービス運用設定

- ・まず、映像・音声入力を選択により、運用するサービスの構成を設定します。該当するサービスを設定し、確認してください。
- ・「かんたん設定」で設定済みでTS入力とSDカードから入力する場合は、「サービス2」「サービス3」が未使用となっていますので、次の画面で設定変更してください。また、38ページの「サービス設定」、44ページの「データ多重」を設定してください。

The image shows two screenshots of the 'サービス運用設定' (Service Operation Setting) screen. The top screenshot shows the default state where Service 1 is selected (indicated by a red dashed box). A callout box points to the 'サービス1' header with the text: 'ここをクリックして選択するとサービス構成図で該当するサービス構成の色が水色になります。' (Clicking here to select will make the corresponding service configuration color light blue in the service configuration diagram). The bottom screenshot shows the state after clicking 'サービス2', where 'サービス2' is now selected (indicated by a blue dashed box). A callout box points to the 'サービス2' header with the text: '運用するサービス構成を確認してください。' (Please check the service configuration to be operated).

サービス運用設定 放送ネットワーク設定 OFDM設定

サービス運用設定

|         | サービス1  | サービス2  | サービス3   |
|---------|--|--|---|
| 映像・音声入力 | <input type="radio"/> 未使用<br><input checked="" type="radio"/> エンコーダーから入力 | <input checked="" type="radio"/> 未使用<br><input type="radio"/> TS入力から入力 | <input checked="" type="radio"/> 未使用<br><input type="radio"/> TS入力から入力<br><input type="radio"/> SDカードから入力 |

サービス構成図

エンコーダー TS入力 SDカード

サービス1 サービス2 サービス3

多重化装置

TSLレート 6 Mbps

サービス運用設定 放送ネットワーク設定 OFDM設定

サービス運用設定

|         | サービス1  | サービス2  | サービス3   |
|---------|--|--|---|
| 映像・音声入力 | <input checked="" type="radio"/> 未使用<br><input type="radio"/> エンコーダーから入力 | <input type="radio"/> 未使用<br><input checked="" type="radio"/> TS入力から入力 | <input checked="" type="radio"/> 未使用<br><input type="radio"/> TS入力から入力<br><input type="radio"/> SDカードから入力 |

サービス構成図

エンコーダー TS入力 SDカード

サービス1 サービス2 サービス3

多重化装置

TSLレート 6 Mbps

図 3-15 サービス運用設定画面

サービス運用設定

| 項目               | 内容   |
|------------------|--|
| サービス 1           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんたん設定」で映像・音声入力を設定すると「エンコーダーから入力」となります。</li> <li>・外部接続機器から映像・音声入力しない場合「未使用」にします。</li> <li>・外部接続機器から映像・音声入力し、内部エンコーダーを使用する場合「エンコーダーから入力」にします。</li> </ul>   |
| サービス 2           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんたん設定」で映像・音声入力を設定すると、「未使用」となります。</li> <li>・外部エンコーダーを使用して映像・音声入力する場合「TS 入力から入力」にします。</li> <li>・外部エンコーダーを使用しない場合「未使用」にします。</li> </ul>  |
| サービス 3           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんたん設定」で映像・音声入力を設定すると、「未使用」となります。</li> <li>・外部エンコーダーを使用して映像・音声入力する場合「TS 入力から入力」にします。</li> <li>・SD カードに保存された映像・音声を送出する場合「SD カードから入力」にします。</li> <li>・外部エンコーダーからの TS 入力、SD カードを両方とも使用しない場合「未使用」にします</li> </ul> |
| SD カード<br>TS レート | SD カードの繰り返し再生を行う際の TS レートを選択<br>(12/11/10/9/8/7/6/5/4/3/2/1/0.9/0.8/0.7/0.6/0.5/0.4/0.3/0.2/0.1) (Mbps)<br>します。  |

●TS レート設定について

複数番組多重サービスを行う場合、サービス 1~3 の TS レートの合計値が、18Mbps を超えないように設定してください。ただし、「SD カードから入力」を選択したときは、16Mbps を超えないように設定してください



注意

(2) 放送ネットワーク設定

| 項目       | 内容   |
|----------|--|
| TS 名称    | TS 名称を設定します。<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。<br>(テレビの仕様によります。)<br>「TS 名称」はテレビ放送局名に相当するものです。  |
| 地域識別割り当て | 地域識別割り当てを選択します。<br>原則、本機を設置する都道府県または地域を指定してください。<br>関東広域、近畿広域、中京広域、北海道域、岡山・香川、島根・鳥取 も<br>選択可能ですが、これらは自主放送では使用しないことになっていま<br>す。   |
| 地域事業者識別  | 地域事業者識別を選択します。<br>原則、「O(14)」を指定してください。<br>「O(14)」以外に設定する場合には、地域識別割り当てに指定した地域<br>の地上デジタル放送事業者(テレビ局)が使用していない値を選択する<br>ようにしてください。<br>「P(15)」は、ケーブルテレビ事業者の自主放送用として予約されてい<br>るので、ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合に<br>は、本機の地域事業者識別に指定できません。<br>「P(15)」以外の地域事業者識別の各地域における使用状況については、<br>以下のドキュメントに記載されています。<br>社団法人 電波産業会 発行<br>地上デジタルテレビジョン放送運用規定<br>ARIB TR-B14 第三分冊<br>第七編 地上デジタルテレビジョン放送 送出運用規定<br>9-2 識別子一覧<br>このドキュメントは、次のウェブサイトより入手することができます。<br>● <a href="http://www.arib.or.jp/">http://www.arib.or.jp/</a> |
| リモコンキーID | リモコンキーID を選択します。<br>デフォルトは 11 に設定されています。<br>本機を設置する場所で放送されている地上デジタル放送事業者(テレビ<br>局) が使用していないリモコンキーID を選択してください。<br>ケーブルテレビ事業者による自主放送を受信している場合には、ケーブ<br>ルテレビが使用しているリモコンキーID も選択しないでください。<br>ケーブルテレビが使用しているリモコン ID の一覧は、次のウェブサイ<br>トより入手できます。<br>● <a href="http://www.catv-jcta.jp/">http://www.catv-jcta.jp/</a>  |

| 項目         | 内容  |
|------------|---|
| (リモコンキーID) | 地上デジタル放送やケーブルテレビと自主放送を混在する場合に、いずれかのテレビ局と同じリモコンキーIDを自主放送に重複指定した場合、テレビの「チャンネル設定」機能が、受信レベルの低い方を未使用のリモコンキーIDに代替割当するなどの調整を行います。<br>なお、テレビにおいてリモコンキーの再割り当てをすることができません。詳しくは使用するテレビの取扱説明書を参照してください。 |
| 放送周波数      | 放送周波数を選択します。空きチャンネルに設定してください。   |

●放送周波数について

VHF : 1ch~12ch は、2011年7月24日のデジタル化完全移行後、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。UHF の 53ch~62ch は、2012年7月25日以降、テレビ放送以外の目的に再割り当てされます。ご注意ください。C24ch~C27ch は、受信できないテレビがあります。



注意

(3) OFDM 設定

| 項目    | 内容   |
|-------|--|
| 出力レベル | RF 出力レベルを設定します。<br>90~110dBμV で 1dBμV 刻みに設定できます。 |

### 3-3-2-2 エンコード設定

「エンコード設定」「文字スーパー」「テストパターン」の設定をします。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「詳細設定」を選択し、中項目から「エンコード設定」を選択します。

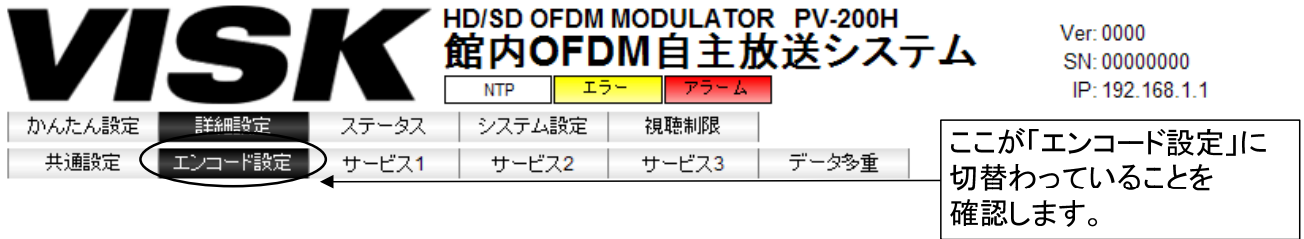


図 3-16 エンコード設定 タイトル画面

「エンコード設定」を選択すると、個別設定画面にエンコード設定、文字スーパー、テストパターンの設定画面が表示されます。



図 3-17 エンコード設定 設定画面

(1) エンコード設定項目

| 項目         | 内容   |
|------------|--|
| 入力         | 映像入力設定をします。  |
| 入力信号       | 映像入力信号を選択 (デジタル入力/アナログ入力) します。   |
| 入力解像度      | 入力解像度を選択します。<br>出力解像度との組み合わせで解像度の変換を行います。<br>自動認識は HD/SD を自動で認識します。入力信号が HDMI である場合には、カラースペースも自動認識します。入力信号が D 端子であり、識別信号がない場合は自動認識できません。 |
| カラースペース    | 入力信号が HDMI 時に入力解像度が HD または SD を選択している場合にカラースペース (RGB/YCbCr 4:4:4/YCbCr 4:2:2) を設定します。  |
| 映像情報       | 入力映像の情報を表示します。   |
| 出力         | 映像出力設定をします。  |
| 出力解像度      | 出力解像度を選択します。<br>サービス 2、サービス 3 使用時は「SD」に設定してください。   |
| 水平画素数 (HD) | 出力解像度を「HD」にした場合に有効となる設定です。   |
| ビットレート     | ビットレートの設定、表示をします。  |
| HD 設定      | HD 映像設定をします。   |
| TS レート     | TS レートを選択 (13/14/15/16/17/18/19/20Mbps) します。<br>後述の「●最大ビットレートについて」もお読みください。  |
| 映像レート      | 動作中の映像レートを表示します。   |
| 音声レート      | 動作中の音声レートを表示します。   |
| SD 設定      | SD 映像設定をします。   |
| TS レート     | TS レートを選択 (3/4/5/6/7/8/9/10/11/12Mbps) します。  |
| 映像レート      | 動作中の映像レートを表示します。   |
| 音声レート      | 動作中の音声レートを表示します。   |
| 映像         | 映像出力設定をします。  |
| 映像表示モード    | テレビに表示されるときにサイズを選択します。<br>ノーマル : 映像をそのまま映します。<br>ワイド : 映像を左右に拡大します。<br>ズーム : 映像全体を拡大します。<br>※本設定は出力解像度が SD になる場合のみ有効です。                  |
| シャープネス     | 映像の輪郭の見え方を選択 (なめらか/標準/くっきり) します。   |
| 入力断時表示     | 入力信号が断時の画面表示を選択します。<br>最終フレーム : 入力断時の画面を保持します。<br>ブルーバック : ブルーバック画面にします。<br>切替えるタイミングを (検出時/5 秒後/10 秒後) 選択します。                           |



| 項目    | 内容  |
|-------|---|
| 音声    | 音声出力設定をします。   |
| 入力信号  | 音声入力信号を選択（デジタル入力 (SDI IN)/デジタル入力 (HDMI IN)/アナログ入力 (AUDIO IN)）します。<br>デジタル入力 (SDI IN)は、入力信号がデジタル (SDI IN)である場合にのみ選択可能です。デジタル入力 (HDMI IN)は、入力信号がデジタル (HDMI IN)である場合にのみ選択可能です。 |
| モード選択 | 音声モードを選択（ステレオ/デュアルモノラル）します。   |
| 音声遅延  | 音声遅延時間を半角数字で入力します。<br>設定範囲：(0~100)×10ms (最大 1 秒)  |

#### ●最大ビットレートについて

最大ビットレート：TS レート=20 にて HD 映像を送出している場合に、サービス 1 の出力映像・音声が入乱れる場合には、TS レートを 19 に変更してください。この処置は、視聴制限機能を有効にしている場合、またはデータ多重機能を使用している場合に必要となります。

TS レート=20 は、映像・音声のみを送出する場合の最大ビットレートです。視聴制限機能有効時およびデータ多重機能使用時には、映像・音声の他に、データ放送（付加データ）が送出されます。このため、映像・音声の送出に利用できる最大ビットレートが低下します。



注意

文字スーパー

文字スーパー機能     有効                     無効  
画面モード             通常画面             L字画面  
文字縁取り             なし                     あり  
背景色                 黒

|    | 表示領域 | 配置  | 言語  | 文字列 | 表示時間<br>[秒]<br>[0:非表示] | リンク                      |
|----|------|-----|-----|-----|------------------------|--------------------------|
| 1  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 2  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 3  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 4  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 5  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 6  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 7  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 8  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 9  | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 10 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 11 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 12 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 13 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 14 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 15 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 16 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 17 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 18 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 19 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |
| 20 | 2:下  | 左揃え | 日本語 |     | 0                      | <input type="checkbox"/> |

図 3-18 文字スーパー 設定画面

(2) 文字スーパー設定項目

| 項目       | 内容  |
|----------|---|
| 文字スーパー機能 | 文字スーパーを挿入するか選択（有効/無効）します。   |
| 画面モード    | 通常画面またはL字画面を選択（通常画面/L字画面）します。   |
| 文字縁取り    | 文字の縁取りを行うか選択（なし/あり）します。   |
| 背景色      | L字画面の背景色を選択（黒/グレー）します。  |
| 表示領域     | 表示する文字領域を選択（上/下/左/右）します。  |
| 配置       | 表示領域内の文字位置を選択します。<br>・表示領域(上/下)選択時：(左揃え/中央揃え/右揃え)から選択<br>・表示領域(左/右)選択時：(上揃え/中央揃え/下揃え)から選択 |
| 言語       | 表示する言語を選択（日本語/韓国語/中国語）します。  |
| 文字列      | 表示する文字を入力します。   |

| 項目   | 内容   |
|------|--|
| 表示時間 | 同じ表示領域に複数の文字列を表示する場合、各文字列の切換え時間を設定します。(0:非表示、1~3600 秒)<br>文字列が一つの場合、“0” 以外であれば常時表示します。 |
| ブリンク | 文字を点滅させる場合に選択します。  |

●文字スーパーについて  
文字スーパーの詳細説明は 69 ページの「文字スーパー」を確認ください。

メモ

テストパターン

映像

なし  
 テストパターン1(カラーバー)  
 テストパターン2(スクロールカラーバー)

音声

なし  
 テストパターン1(1KHz,-18dBFS)  
 テストパターン2(1KHz,-20dBFS)

図 3-19 テストパターン 設定画面

(3) テストパターン設定項目

| 項目      | 内容  |
|---------|---|
| テストパターン | テストパターン選択します。   |
| 映像      | 映像出力のテストパターンを選択 (なし/テストパターン 1 (カラーバー) /テストパターン 2 (スクロールカラーバー)) します          |
| 音声      | 音声出力のテストパターンを選択 (なし/テストパターン 1 (1KHz、-18dBFS)/テストパターン 2 (1KHz、-20dBFS)) します。 |

### 3-3-2-3 サービス設定

サービス構成の設定をします。23 ページの「かんたん設定」で映像/音声入力を選択すると、サービス1の構成が設定されます。また、27 ページの「詳細設定」の「共通設定」で「サービス2」「サービス3」の使用を選択すると、該当するサービス構成が使用可能となります。

「サービス1」はエンコードされた入力の設定となります。

「サービス2」の入力はTS入力のみとなります。

「サービス3」の入力はTS入力、SD カード入力となります。

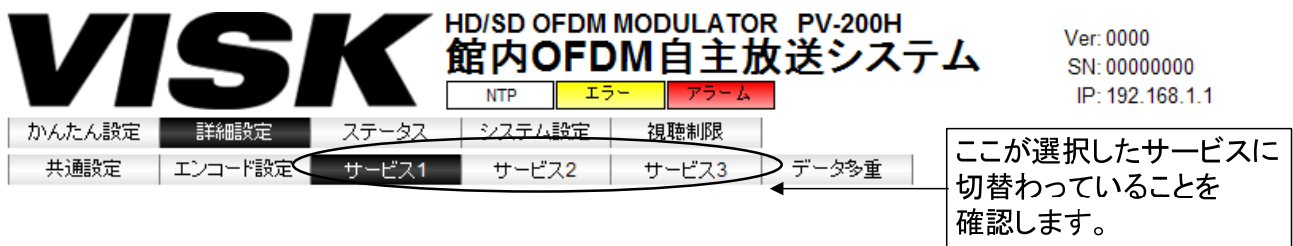


図 3-20 サービス設定 タイトル画面

それぞれのサービスを選択すると、個別設定画面に以下の図が表示されます。

サービス(番組)

サービス名称

3桁チャンネル番号  サービス番号  サービスID

簡易EPG設定

開始時刻  時  分 終了時刻  時  分

イベント名称

イベント内容

ジャンル大  ジャンル小

出力解像度(EPG表示) HD 1080i 16:9

音声モード(EPG表示) ステレオ

PID置換

|        | 入力元・補足   | 入力PID | 出力PID  |
|--------|--|-------|--------|
| 映像ID   | エンコーダーから入力   |       | 0x0200 |
| 音声ID   | エンコーダーから入力   |       | 0x0201 |
| PMT ID |  |       | 0x0100 |
| PCR ID | <input type="radio"/> 独立PCR <input checked="" type="radio"/> 映像と同一出力ID <input type="radio"/> 多重しない |       | 0x0200 |

コピー制御レベル デジタル/アナログ

図 3-21 サービス1設定 設定画面

## (1) サービス 1 設定項目

| 項目                      | 内容   |
|-------------------------|--|
| サービス名称                  | テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。<br>(テレビの仕様によります。)<br>「サービス名称」は編成チャンネル名に相当するものです。  |
| 3桁チャンネル番号               | 3桁チャンネル番号を選択します。   |
| サービス番号                  | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。   |
| サービス ID                 | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。   |
| 簡易 EPG 設定               |  |
| 開始時刻                    | 開始時刻を選択します。  |
| 終了時刻                    | 終了時刻を選択します。  |
| イベント名称                  | イベント名称を入力します。(全角で 40 文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。   |
| イベント内容                  | イベント内容を入力します。(全角で 80 文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。   |
| ジャンル大                   | ジャンル大を選択できます。  |
| ジャンル小                   | ジャンル小を選択できます。  |
| 出力解像度(EPG 表示)           | 現在設定している出力解像度を表示します。   |
| 音声モード(EPG 表示)           | 現在設定している音声モードを表示します。   |
| PID 置換                  |  |
| 映像 ID                   | サービス 1 の出力映像、出力 ID を表示します。   |
| 音声 ID                   | サービス 1 の出力音声、出力 ID を表示します。   |
| PMT ID                  | サービス 1 の PMT、出力 ID を表示します。   |
| PCR ID                  | サービス 1 の PCR 出力 ID を選択 (独立 PCR/映像と同一出力 ID/<br>多重しない) します。<br>独立 PCR の場合は任意設定可能です。  |
| コピー制御レベル<br>(デジタル/アナログ) | 下記 6 項目の中から選択できます。<br>・制限なし / 制限なし<br>・コピー可能(コンテンツ保護あり) / 制限なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示あり<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示なし<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示あり |

**サービス(番組)**

サービス名称

3桁チャンネル番号  サービス番号  サービスID

**簡易EPG設定**

開始時刻  時  分 終了時刻  時  分

イベント名称

イベント内容

ジャンル大  ジャンル小

出力解像度(EPG表示)  SD 480i 4:3  SD 480i 16:9  HD 1080i 16:9

音声モード(EPG表示)  ステレオ  デュアルモノラル

**PID置換**

|        | 入力元・補足   | 入力PID                               | 出力PID                               |
|--------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 映像ID   | 未使用  | <input type="text" value="0x0200"/> | <input type="text" value="0x0210"/> |
| 音声ID   | 未使用  | <input type="text" value="0x0201"/> | <input type="text" value="0x0211"/> |
| PMT ID |  |                                     | <input type="text" value="0x0110"/> |
| PCR ID | <input type="radio"/> 独立PCR <input checked="" type="radio"/> 映像と同一出力ID <input type="radio"/> 多重しない | <input type="text" value="0x0200"/> | <input type="text" value="0x0210"/> |

コピー制御レベル デジタル/アナログ

図 3-22 サービス 2 設定 設定画面

(2) サービス 2 設定項目

| 項目        | 内容  |
|-----------|---|
| サービス名称    | テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。<br>(テレビの仕様によります。)<br>「サービス名称」は編成チャンネル名に相当するものです。 |
| 3桁チャンネル番号 | 3桁チャンネル番号を選択します。  |
| サービス番号    | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。  |
| サービスID    | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。  |
| 簡易 EPG 設定 |   |
| 開始時刻      | 開始時刻を選択します。   |
| 終了時刻      | 終了時刻を選択します。   |
| イベント名称    | イベント名称を入力します。(全角で 40 文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。                    |
| イベント内容    | イベント内容を入力します。(全角で 80 文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。                    |

| 項目                      | 内容  |
|-------------------------|---|
| ジャンル大                   | ジャンル大を選択できます。   |
| ジャンル小                   | ジャンル小を選択できます。   |
| 出力解像度(EPG 表示)           | テレビの番組表 (EPG) に表示される解像度とアスペクト比を選択 (SD 480i 4:3/SD 480i 16:9/HD 1080i 16:9) します。<br>TS 入力から入力される映像の解像度、アスペクト比に一致する選択肢を指定してください。(実際に入力される映像の解像度、アスペクト比と異なる選択肢を指定しても、映像は変換されません。本項目はあくまでも番組表に表示される情報です。) |
| 音声モード(EPG 表示)           | テレビの番組表 (EPG) に表示される音声モードを選択 (ステレオ/デュアルモノラル) します。   |
| PID 置換                  |   |
| 映像 ID                   | サービス 2 の出力映像、出力 ID を入力、表示します。   |
| 音声 ID                   | サービス 2 の出力音声、出力 ID を入力、表示します。   |
| PMT ID                  | サービス 2 の PMT、出力 ID を表示します。  |
| PCR ID                  | サービス 2 の PCR 出力 ID を選択 (独立 PCR/映像と同一出力 ID/多重しない) します。<br>独立 PCR の場合は任意設定可能です。   |
| コピー制御レベル<br>(デジタル/アナログ) | 下記 6 項目の中から選択できます。<br>・制限なし / 制限なし<br>・コピー可能(コンテンツ保護あり)/ 制限なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示あり<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示なし<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示あり                                     |

**サービス(番組)**

サービス名称

3桁チャンネル番号  サービス番号  サービスID

**簡易EPG設定**

開始時刻  時  分 終了時刻  時  分

イベント名称

イベント内容

ジャンル大  ジャンル小

出力解像度(EPG表示)  SD 480i 4:3  SD 480i 16:9  HD 1080i 16:9

音声モード(EPG表示)  ステレオ  デュアルモノラル

**PID置換**

|        | 入力元・補足   | 入力PID                               | 出力PID                               |
|--------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 映像ID   | 未使用  | <input type="text" value="0x0200"/> | <input type="text" value="0x0220"/> |
| 音声ID   | 未使用  | <input type="text" value="0x0201"/> | <input type="text" value="0x0221"/> |
| PMT ID |  |                                     | <input type="text" value="0x0120"/> |
| PCR ID | <input type="radio"/> 独立PCR <input checked="" type="radio"/> 映像と同一出力ID <input type="radio"/> 多重しない | <input type="text" value="0x0200"/> | <input type="text" value="0x0220"/> |

コピー制御レベル デジタル/アナログ

図 3-23 サービス3設定 設定画面

(3) サービス3設定項目

| 項目        | 内容  |
|-----------|---|
| サービス名称    | テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。<br>(テレビの仕様によります。)<br>「サービス名称」は編成チャンネル名に相当するものです。 |
| 3桁チャンネル番号 | 3桁チャンネル番号を選択します。  |
| サービス番号    | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。  |
| サービスID    | 3桁チャンネル番号の選択に連動して表示されます。  |
| 簡易 EPG 設定 |   |
| 開始時刻      | 開始時刻を選択します。   |
| 終了時刻      | 終了時刻を選択します。   |
| イベント名称    | イベント名称を入力します。(全角で40文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。                      |
| イベント内容    | イベント内容を入力します。(全角で80文字以内)<br>テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。                      |



| 項目                      | 内容   |
|-------------------------|--|
| ジャンル大                   | ジャンル大を選択できます。  |
| ジャンル小                   | ジャンル小を選択できます。  |
| 出力解像度(EPG 表示)           | テレビの番組表 (EPG) に表示される解像度とアスペクト比を選択 (SD 480i 4:3/SD 480i 16:9/HD 1080i 16:9) します。<br>TS 入力、または、SD カードから入力される映像の解像度、アスペクト比に一致する選択肢を指定してください。(実際に入力される映像の解像度、アスペクト比と異なる選択肢を指定しても、映像は変換されません。本項目はあくまでも番組表に表示される情報です。) |
| 音声モード(EPG 表示)           | テレビの番組表 (EPG) に表示される音声モードを選択 (ステレオ/デュアルモノラル) します。  |
| PID 置換                  |  |
| 映像 ID                   | サービス 3 の出力映像、出力 ID を入力、表示します。  |
| 音声 ID                   | サービス 3 の出力音声、出力 ID を入力、表示します。  |
| PMT ID                  | サービス 3 の PMT、出力 ID を表示します。   |
| PCR ID                  | サービス 3 の PCR 出力 ID を選択 (独立 PCR/映像と同一出力 ID/多重しない) します。<br>独立 PCR の場合は任意設定可能です。  |
| コピー制御レベル<br>(デジタル/アナログ) | 下記 6 項目の中から選択できます。<br>・制限なし / 制限なし<br>・コピー可能(コンテンツ保護あり)/ 制限なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示なし<br>・ダビング 10 / マクロビジョン指示あり<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示なし<br>・コピー禁止 / マクロビジョン指示あり  |

#### ●ジャンルについて

「ジャンル」は、テレビの番組表や番組情報、視聴・録画予約画面に表示されます。また、テレビの番組検索機能において利用されます。なお「ジャンル」の扱いはテレビの仕様により異なります。多くのテレビでは、簡素化されており、本機の「ジャンル大」と「ジャンル小」とは完全には一致しません。



### 3-3-3 データ多重

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「詳細設定」を選択し、中項目から「データ多重」を選択します。

「TS入力」、「SDカード」、「拡張設定」をクリックすると、画面表示がその項目に移動します。

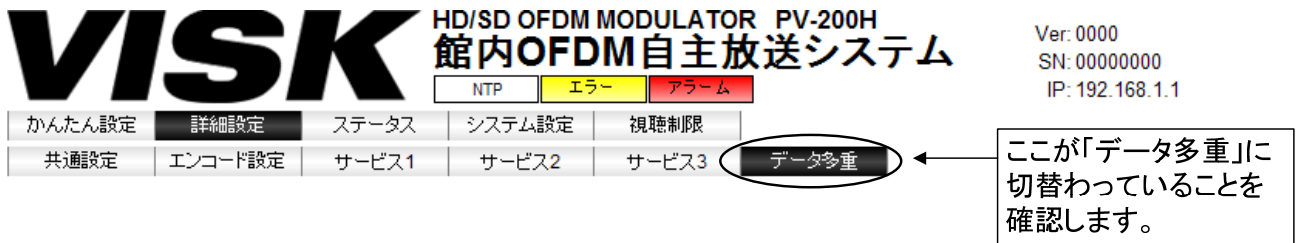


図 3-24 データ多重 タイトル画面

「データ多重」を選択すると、個別設定画面に TS 入力、SD カード、拡張設定の設定画面が表示されます。



図 3-25 TS 入力設定 設定画面

(1) TS 入力設定項目

| 項目        | 内容   |
|-----------|--|
| TS 入力     | DVB-ASI 準拠の TS 入力端子から ARIB 準拠のデータ放送や字幕・文字スーパーの入力を設定します。<br>TS 入力と SD カード入力を同時に選択することは可能ですが、サービス 1 からサービス 3 の各サービスに多重可能なストリームの数は、TS 入力と SD カード入力の合計で 8 個までです。ただし、後述の「拡張設定」にて「ちら見」を防止しているサービスについては、6 個までとなります。 |
| 入力 PID    | 多重したい入力 PID を設定 (0030~1FCF) します。   |
| 出力 PID    | 出力 PID の表示です。  |
| ストリームタイプ  | ストリームタイプを選択 (データ放送/字幕/文字スーパー) します。<br>字幕は、1 つのサービスに 1 つのみ指定できます。<br>2 つ以上指定した場合は最初に指定した字幕が多重されます。<br>文字スーパーは、1 つのサービスに 1 つのみ指定できます。<br>2 つ以上指定した場合は最初に指定した文字スーパーが多重されます。                                     |
| コンポーネントタグ | コンポーネントタグを設定します。 (注)   |
| 多重化先サービス  | データ放送、字幕、文字スーパーを多重するサービスを指定します。<br>同じデータ放送、字幕、文字スーパーを複数のサービスに指定できます。   |

(注)コンポーネントタグの入力値はデータ・コンテンツの提供・製作元に照会してください。

| SDカード |        |        |          |               |                          |                          |                          |
|-------|--------|--------|----------|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|       | 入力PID  | 出力PID  | ストリームタイプ | コンポーネント<br>タグ | 多重化先サービス                 |                          |                          |
|       |        |        |          |               | 1                        | 2                        | 3                        |
| 1     | 0x1FFF | 0x0310 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2     | 0x1FFF | 0x0311 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3     | 0x1FFF | 0x0312 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4     | 0x1FFF | 0x0313 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5     | 0x1FFF | 0x0314 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6     | 0x1FFF | 0x0315 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 7     | 0x1FFF | 0x0316 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 8     | 0x1FFF | 0x0317 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 9     | 0x1FFF | 0x0318 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 10    | 0x1FFF | 0x0319 | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 11    | 0x1FFF | 0x031A | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 12    | 0x1FFF | 0x031B | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 13    | 0x1FFF | 0x031C | データ放送    | 0xFF          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

図 3-26 SD カード設定 設定画面

(2) SD カード入力設定項目

| 項目        | 内容   |
|-----------|--|
| SD カード    | SD カードからの、ARIB 準拠のデータ放送や字幕・文字スーパーの入力を設定します。<br>TS 入力と SD カード入力を同時に選択することは可能ですが、サービス 1 からサービス 3 の各サービスに多重可能なストリームの数は、TS 入力と SD カード入力の合計で 8 個までです。ただし、後述の「拡張設定」にて「ちら見」を防止しているサービスについては、6 個までとなります。 |
| 入力 PID    | 多重したい入力 PID を設定 (0030~1FCF) します。   |
| 出力 PID    | 出力 PID の表示です。  |
| ストリームタイプ  | ストリームタイプを選択 (データ放送/字幕/文字スーパー) します。<br>字幕は、1 つのサービスに 1 つのみ指定できます。<br>2 つ以上指定した場合は最初に指定した字幕が多重されます。<br>文字スーパーは、1 つのサービスに 1 つのみ指定できます。<br>2 つ以上指定した場合は最初に指定した文字スーパーが多重されます。                         |
| コンポーネントタグ | コンポーネントタグを設定します。 (注)   |
| 多重化先サービス  | データ放送、字幕、文字スーパーを多重するサービスを指定します。<br>同じデータ放送、字幕、文字スーパーを複数のサービスに指定できます。   |

(注)コンポーネントタグの入力値はデータ・コンテンツの提供・製作元に照会してください。

| 拡張設定   |                                      |
|--|--------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> コンポーネントタグを指定 |                                      |
| 映像   | 0x <input type="text" value="41"/> ▼ |
| 音声   | 0x <input type="text" value="41"/> ▼ |

図 3-27 拡張設定 設定画面

(3)拡張設定項目

| 項目           | 内容   |
|--------------|--|
| コンポーネントタグを指定 | 「データ付加テレビサービス」における「ちら見」を防止する場合に選択します。<br>本項目を選択すると、映像・音声のコンポーネントタグ値を、後述の「映像」、「音声」で指定することができます。ただし、コンポーネントタグ値が指定値に変更されるのは、「データ付加テレビサービス」に限られます。本項目が未選択である場合には、映像のコンポーネントタグ値は 0x00、音声のコンポーネントタグ値は 0x10 となります。標準動作です。 |
| 映像           | データ放送のプログラムが映像の識別に使用している値を指定（41～7F）します。(注)<br>データ放送のプログラムと異なる値を指定した場合には、映像が表示されません。  |
| 音声           | データ放送のプログラムが音声の識別に使用している値を指定（41～7F）します。(注)<br>データ放送のプログラムと異なる値を指定した場合には、音声が再生されません。  |

(注)コンポーネントタグの入力値はデータ・コンテンツの提供・製作元に照会してください。

●データ多重機能使用時の TS レートについて

データ多重機能を使用している際に、サービス 1 の HD 出力映像・音声が乱れる場合には、「詳細設定」－「エンコード設定」の「HD 設定」－「TS レート」を確認してください。設定値が 20 である場合には、19 に変更することにより状況を改善できます。

データ多重機能とTSレートの関係については、33 ページ「エンコード設定」の「●最大ビットレートについて」をお読みください。



注意

●データ多重機能+拡張設定有効（「ちら見」防止）としている番組の録画について

拡張設定を有効とし、「ちら見」を防止したデータ多重を行っているサービス（番組）の映像・音声は、市販の一般的なデジタルレコーダや録画機能付きのテレビでは録画できない場合があります。

MPEG-2 TS 形式にて録画が可能なレコーダやテレビであれば録画することができますが、その場合でも、映像・音声のみを再生することはできません。



注意

●データ付加テレビサービスについて

データ付加テレビサービスの詳細説明は 74 ページの「データ付加テレビサービス」を確認ください。

メモ

●拡張設定について

拡張設定項目は、データ放送で発生する「ちら見」を防止したい場合に使用します。

「ちら見」の防止の詳細説明は 75 ページの「「ちら見」の防止」を確認ください。

メモ

●データ多重機能と視聴制限機能の優先関係

データ多重機能と視聴制限機能は同時に利用できません。

同時に有効とした場合は視聴制限機能が優先されます。

同時に有効とした場合でもデータ多重機能の設定内容は保持されます。



注意

### 3-3-4 ステータス

本機のステータスを表示します。ステータスには「エラー/アラーム」「ログ」「機器ステータス」の3種類があります。

#### 3-3-4-1 エラー/アラーム

本機で発生中または発生したエラーとアラームの情報を表示します。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「ステータス」を選択し、中項目から「エラー/アラーム」を選択します。

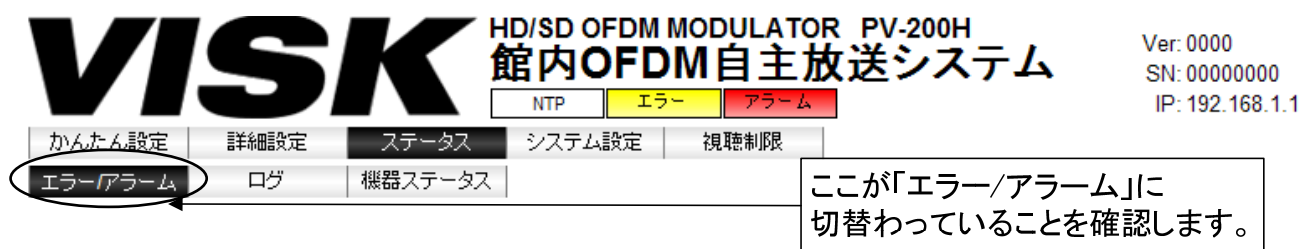


図 3-28 エラー/アラーム タイトル画面

「エラー/アラーム」を選択すると、個別設定画面に以下の図が表示されます。



図 3-29 エラー/アラーム画面

(1) エラー/アラーム

| 項目   | 内容                                |
|------|-----------------------------------|
| エラー  | エラー情報を表示します。                      |
| アラーム | アラーム情報を表示します。                     |
| 更新周期 | 画面の自動更新周期を選択 (停止/5/10/30 秒毎) します。 |
| 設定   | 選択した自動更新周期で画面更新します。               |
| 表示更新 | 画面表示更新します。                        |

●更新周期について

「更新周期」は、画面の再描画が完了してから、次の画面更新を開始するまでの待機時間を指定するものとお考えください。  
ウェブブラウザおよび HTML の特性等により、通信および画面の再描画の時間が別途かかります。

メモ



### 3-3-4-2 ログ

本機で発生中または発生したログ情報を表示します。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「ステータス」を選択し、中項目から「ログ」を選択します。

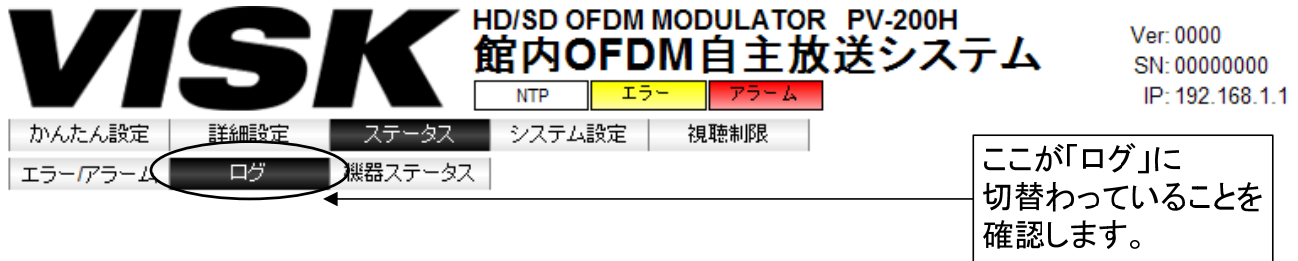


図 3-30 ログ タイトル画面

「ログ」を選択すると、個別設定画面に以下の画面が表示されます。



図 3-31 ログ画面

(1) ログ

| 項目      | 内容   |
|---------|--|
| 更新周期    | ログの自動更新周期を選択 (停止/5/10/30 秒毎) します。  |
| 設定      | 選択した自動更新周期で画面更新します。  |
| 表示件数    | ログの表示件数を選択 (100 件/500 件/1000 件/すべて) します。   |
| 表示更新    | 直ちに画面を表示更新します。<br>自動更新中は、本ボタンはクリックできません。   |
| 装置から読出し | 現在記録されているすべてのログを設定用 PC のハードディスクなどの外部の記憶装置にファイル保存します。<br>※表示中や表示件数とは無関係に記録されているすべてのログが対象です。 |
| クリア     | 現在記録されているすべてのログを消去します。<br>※表示中や表示件数とは無関係に記録されているすべてのログが対象です。                               |

●ログに関する情報

ログは最大2000件保持されています。2000件を超えると保持されている最も古いログが、新しいログで上書きされます。

メモ

●更新周期について

「更新周期」は、画面の再描画が完了してから、次の画面更新を開始するまでの待機時間を指定するものとお考えください。  
ウェブブラウザおよびHTMLの特性等により、通信および画面の再描画の時間が別途かかります。

メモ

●ログ内容について

ログ表示の詳細内容は94ページの「ログ内容詳細」を確認ください。

メモ

### 3-3-4-3 機器ステータス

本機の電圧値、温度、FAN の監視状況を表示します。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「ステータス」を選択し、中項目から「機器ステータス」を選択します。

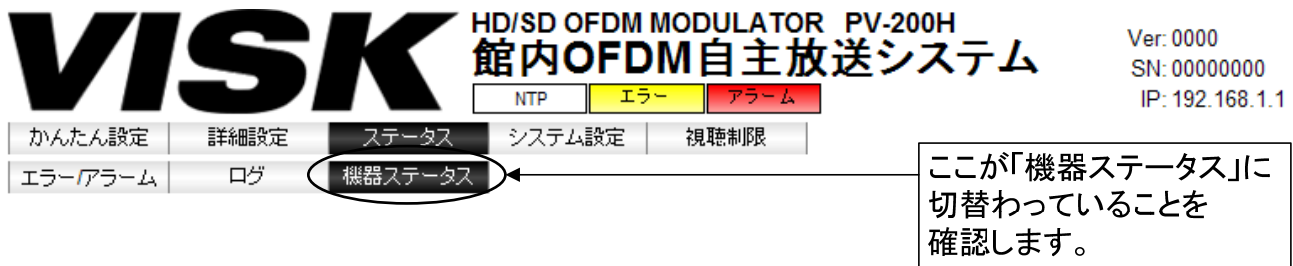


図 3-32 機器ステータス タイトル画面

「機器ステータス」を選択すると、個別設定画面に以下の画面が表示されます。



| 機器ステータス |                             |        |             |         |         |         |           |           |          |        |
|---------|-----------------------------|--------|-------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------|--------|
| 電圧      | +5.0V                       | +4.0V  | +3.0V       | +1.2V_3 | +0.9V_2 | +0.9V_1 | 1.0V/1.8V | 1.2V/1.8V | 1.2V_1   | 1.2V_2 |
|         | 正常                          | 正常     | 正常          | 正常      | 正常      | 正常      | 正常        | 正常        | 正常       | 正常     |
|         | 1.25V                       | 1.8V_1 | 1.8V_2      | 2.5V    | 3.3V    | 3.3V_S  | 1.8V_S    | 1.2V_S    | 3.3V_BAT |        |
|         | 正常                          | 正常     | 正常          | 正常      | 正常      | 正常      | 正常        | 正常        | 正常       | --     |
| 温度      | 38.0°C ※-20°C~70°Cの範囲を正常とする |        |             |         |         |         |           |           |          |        |
| FAN     | FAN(左)                      | FAN(右) | ※筐体後面から見た場合 |         |         |         |           |           |          |        |
|         | 正常                          | 正常     |             |         |         |         |           |           |          |        |

図 3-33 機器ステータス画面

#### (1) 機器ステータス

| 項目   | 内容  |
|------|---|
| 更新周期 | ログの自動更新周期を選択 (停止/5/10/30 秒毎) します。   |
| 設定   | 選択した自動更新周期で画面更新します。   |
| 表示更新 | 直ちに画面を表示更新します。<br>自動更新中は、本ボタンはクリックできません。  |
| 電圧値  | 各基板の電圧値の状態 (正常/異常) を表示します。  |
| 温度   | 装置内部の温度を表示します。  |
| FAN  | FAN(左) /FAN(右)の状態 (正常/異常) を表示します。<br>・ FAN(左) 背面から見て左側の FAN<br>・ FAN(右) 背面から見て右側の FAN |

### 3-3-5 システム設定

システム設定には「基本設定」「バージョン管理」「設定値」「時刻補正」「SNMP設定」の5種類があります。

#### 3-3-5-1 基本設定

システムの基本情報を設定します。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定とMACアドレスの閲覧をすることができます。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「システム設定」を選択し、中項目から「基本設定」を選択します。

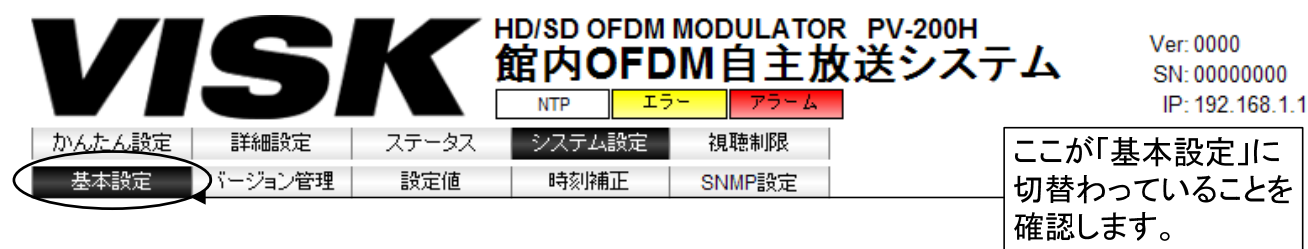


図 3-34 基本設定 タイトル画面

「基本設定」を選択すると、個別設定画面に以下の画面が表示されます。

ネットワーク設定    MACアドレス

**ネットワーク設定**

**IPv4**

IPアドレス    192.168.1.1

サブネットマスク    255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

**MACアドレス**

00:00:00:00:00:00

図 3-35 基本設定画面

#### (1) ネットワーク設定

| 項目   |             | 内容                    |
|------|-------------|-----------------------|
| IPv4 | IP アドレス     | 本機の IP アドレスを入力します。    |
|      | サブネットマスク    | 本機のサブネットマスクを入力します。    |
|      | デフォルトゲートウェイ | 本機のデフォルトゲートウェイを入力します。 |

#### (2) MAC アドレス

| 項目       | 内容                  |
|----------|---------------------|
| MAC アドレス | 本機の MAC アドレスを表示します。 |

### 3-3-5-2 バージョン管理

ファームウェアのバージョンアップの実行と現在のバージョンを表示することができます。  
タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「システム設定」を選択し、中項目から「バージョン管理」を選択します。

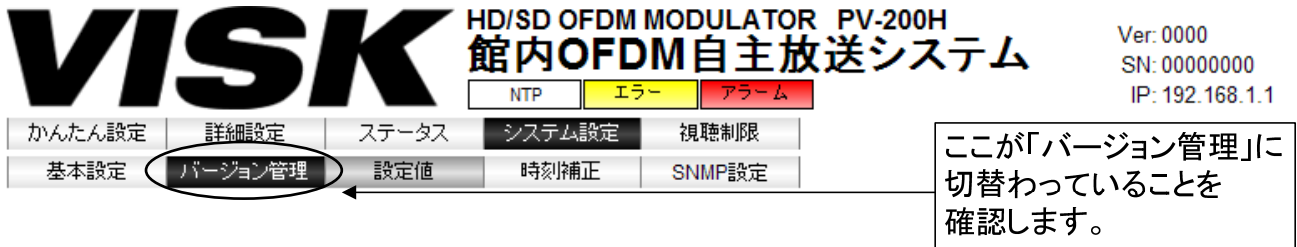


図 3-36 バージョン管理 タイトル画面

「バージョン管理」を選択すると、個別設定画面に以下の画面が表示されます。



図 3-37 バージョン管理画面

### (1) バージョンアップ

| 項目     | 内容                              |
|--------|---------------------------------|
| ファイル選択 | バージョンアップファイルを選択して実行ボタンをクリックします。 |
| 強制上書き  | すべてのファイルを強制的にアップデートします。         |

#### ●バージョンアップについて

バージョンアップ中は電源を切らないでください。

故障の原因となることがあります。

なお、バージョンアップ中は表示灯が以下のように変化します。

1. ERROR および ALARM が交互に点滅 (ファームウェア更新中)
2. POWER が点滅 (再起動中)
3. POWER が点灯 (バージョンアップ完了)



注意

### (2) バージョン

| 項目               | 内容                             |
|------------------|--------------------------------|
| 総合               | システム総合バージョンを表示します。             |
| システム制御 CPU (SYS) | システム制御 CPU (SYS)バージョンを表示します。   |
| システム制御 CPU (APP) | システム制御 CPU (APP)バージョンを表示します。   |
| 映像コーデック          | 映像コーデックのバージョンを表示します。           |
| 音声コーデック          | 音声コーデックのバージョンを表示します。           |
| OFDM モジュール(CPU)  | OFDM モジュールのファームウェアバージョンを表示します。 |
| OFDM モジュール(FPGA) | OFDM モジュールの FPGA バージョンを表示します。  |
| 起動制御 CPU         | 起動制御 CPU のバージョンを表示します。         |
| CPLD             | CPLD のバージョンを表示します。             |
| FPGA             | FPGA のバージョンを表示します。             |

### 3-3-5-3 設定値

本機の動作設定ファイルの書き込み、読み出しと工場出荷時の状態に戻す設定をします。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「システム設定」を選択し、中項目から「設定値」を選択します。

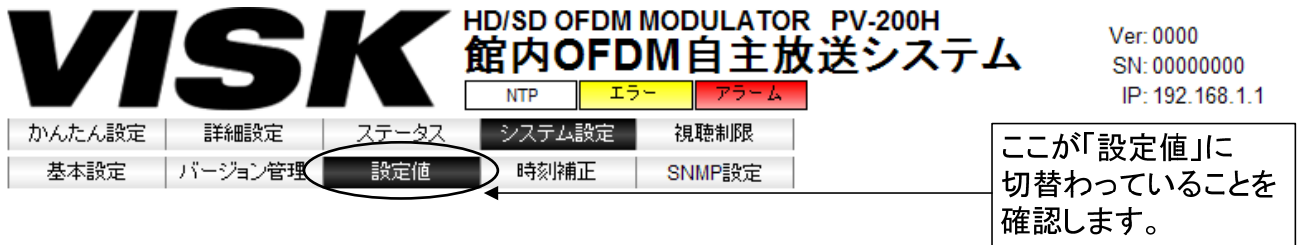


図 3-38 設定値 タイトル画面

「設定値」を選択すると、以下の画面が個別設定画面に表示されます。

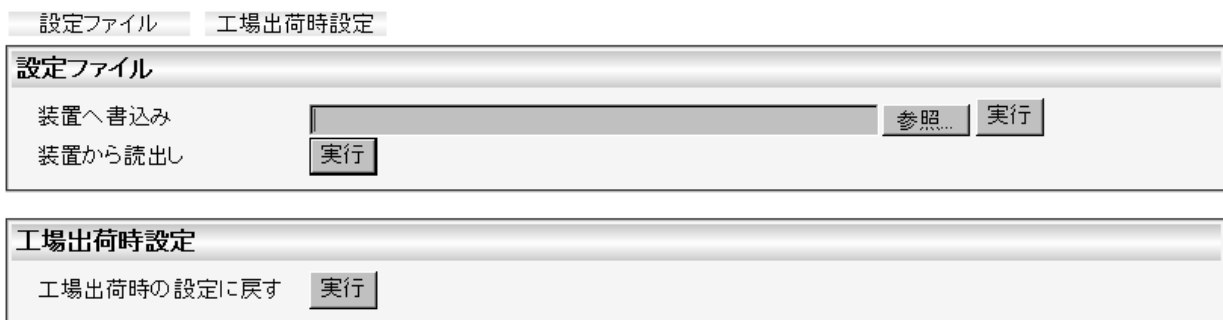


図 3-39 設定値 設定画面

### (1) 設定ファイル

| 項目      | 内容   |
|---------|--|
| 装置へ書き込み | 設定ファイルを本機へ書き込みます。<br>書き込まれた内容で動作します。             |
| 装置から読出し | 現在運用している設定状態を設定 PC のハードディスクなどの外部の記憶装置にファイル保存します。 |

設定ファイルはテキスト形式です。

装置からの読出し時の既定のファイル名は、param.ini ですが、読み込み時のファイル名は、\*.ini である必要はありません。読み込み時のファイル名は、英数字および "\_" のみの名称としてください。日本語名や "(" などの記号を含む名前は使用しないでください。

#### ●設定ファイルについて

設定ファイル書き込み中および工場出荷設定中は電源を切らないでください。  
設定ファイルの内容はお客様で編集しないでください。  
故障の原因となることがあります。



### (2) 工場出荷時設定

実行ボタンを押すことにより、すべての設定内容を工場出荷時の設定にします。



### 3-3-5-4 時刻補正

時刻情報の取得方法を NTP、ワンセグから設定します。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「システム設定」を選択し、中項目から「時刻補正」を選択します。

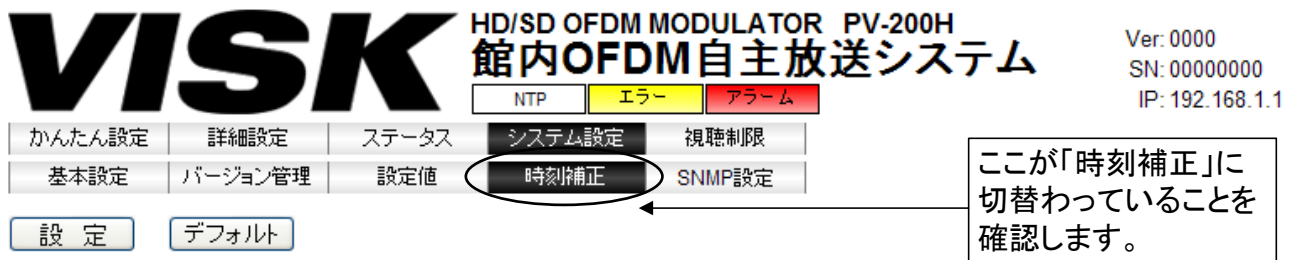


図 3-40 時刻補正 タイトル画面

「時刻補正」を選択すると、個別設定画面に以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the '時刻補正' (Time Correction) settings screen. It is divided into two main sections: '時刻補正方法' (Time Correction Method) and '時刻' (Time).  
In the '時刻補正方法' section, there are three radio buttons for the correction method: 'NTP→ワンセグ' (selected), 'NTP', and 'ワンセグ'. Below these, there is a checked checkbox for '補正エラー検出有効' (Correction Error Detection Enabled).  
Under 'NTPサーバー' (NTP Server), there are three input fields for 'IPアドレス1', 'IPアドレス2', and 'IPアドレス3'.  
Under 'ワンセグ' (One-seg), there is a dropdown menu for '物理チャンネル' (Physical Channel) set to 'ch.27(557MHz)'.  
In the '時刻' (Time) section, there are two rows: '本体時刻' (Device Time) and 'PC時刻' (PC Time). Each row has input fields for year, month, day, hour, minute, and second, followed by a button: '手動設定' (Manual Setting) for the device time and 'PC時刻に設定' (Set to PC Time) for the PC time. The device time is currently set to 2010/11/27 18:08:14, and the PC time is set to 2010/11/27 18:08:19.

図 3-41 時刻補正 設定画面

(1) 時刻補正

| 項目        | 内容  |  |  |     |                         |      |                     |
|-----------|---|--|--|-----|-------------------------|------|---------------------|
| 時刻補正方法    | 時刻補正方法を選択します。   |  |  |     |                         |      |                     |
|           | <table border="1"> <tr> <td>NTP→<br/>ワンセグ</td> <td>NTP サーバーによる時刻補正を優先的に行います。<br/>NTP サーバーの時刻補正ができなかった場合は、ワンセグによる時刻補正を行います。</td> </tr> <tr> <td>NTP</td> <td>NTP サーバーによる時刻補正のみを行います。</td> </tr> <tr> <td>ワンセグ</td> <td>ワンセグによる時刻補正のみを行います。</td> </tr> </table> | NTP→<br>ワンセグ   | NTP サーバーによる時刻補正を優先的に行います。<br>NTP サーバーの時刻補正ができなかった場合は、ワンセグによる時刻補正を行います。 | NTP | NTP サーバーによる時刻補正のみを行います。 | ワンセグ | ワンセグによる時刻補正のみを行います。 |
|           | NTP→<br>ワンセグ  | NTP サーバーによる時刻補正を優先的に行います。<br>NTP サーバーの時刻補正ができなかった場合は、ワンセグによる時刻補正を行います。 |  |     |                         |      |                     |
|           | NTP   | NTP サーバーによる時刻補正のみを行います。  |  |     |                         |      |                     |
| ワンセグ      | ワンセグによる時刻補正のみを行います。   |  |  |     |                         |      |                     |
|           |   |  |  |     |                         |      |                     |
|           |   |  |  |     |                         |      |                     |
| 補正エラー検出有効 | 時刻補正異常を通知する場合は選択します。<br>通常は「補正エラー検出有効」にしてください。  |  |  |     |                         |      |                     |
| NTP サーバー  | NTP サーバーによる時刻補正設定をします。  |  |  |     |                         |      |                     |
| IP アドレス 1 | NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。<br>NTP を使用するときは IP アドレス 1～3 の最低 1 つは入力してください。<br>複数のサーバーを指定した場合は最初の NTP サーバーを優先します。   |  |  |     |                         |      |                     |
| IP アドレス 2 | NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。<br>NTP を使用するときは IP アドレス 1～3 の最低 1 つは入力してください。<br>複数のサーバーを指定した場合は最初の NTP サーバーを優先します。   |  |  |     |                         |      |                     |
| IP アドレス 3 | NTP による時刻補正時に参照するサーバーの IP アドレスを入力します。<br>NTP を使用するときは IP アドレス 1～3 の最低 1 つは入力してください。<br>複数のサーバーを指定した場合は最初の NTP サーバーを優先します。   |  |  |     |                         |      |                     |
| ワンセグ      | ワンセグによる時刻補正設定をします。  |  |  |     |                         |      |                     |
| 物理チャンネル   | ワンセグ TOT (Time Offset Table) を送信している地上デジタル放送局の物理チャンネルを選択します。  |  |  |     |                         |      |                     |
| 時刻        | 本機の時刻を直接設定します。  |  |  |     |                         |      |                     |
| 本体時刻      | 画面表示時の本機時刻を表示します。値の入力も可能です。   |  |  |     |                         |      |                     |
| 手動設定      | 入力した内容で本機の時刻を設定します。   |  |  |     |                         |      |                     |
| PC 時刻     | ウェブブラウザが動作している PC のクライアントタイムを表示します。   |  |  |     |                         |      |                     |
| PC 時刻に設定  | ウェブブラウザが動作している PC のクライアントタイムを本機の時刻として設定します。   |  |  |     |                         |      |                     |

●時刻補正の実行タイミングについて

装置の時刻で 0 時 7 分、2 時 7 分、4 時 7 分、... 20 時 7 分、22 時 7 分に時刻補正が行われます。

メモ

### 3-3-5-5 SNMP 設定

SNMP エージェントの動作を設定します。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「システム設定」を選択し、中項目から「SNMP 設定」を選択します。

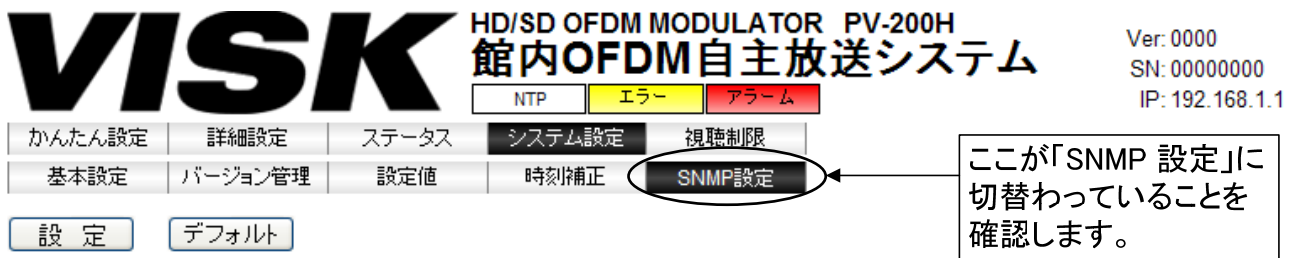


図 3-42 SNMP 設定 タイトル画面

「SNMP 設定」を選択すると、以下の画面が個別設定画面に表示されます。

The screenshot shows the SNMP configuration screen with three main sections: '基本設定', 'ユーザー設定', and 'MIBファイル'.  
1. '基本設定' section: '動作設定' with radio buttons for '有効' and '無効'. '無効' is selected.  
2. 'ユーザー設定' section: 'ユーザー名' and 'パスワード' input fields. '認証形式' with radio buttons for 'SHA', 'MD5', 'AES', and 'DES'. 'SHA' is selected. '暗号化形式' with radio buttons for 'なし', 'AES', and 'DES'. 'AES' is selected.  
3. 'MIBファイル' section: '装置から読出し' button, '実行' button, 'MIBファイルバージョン' label, and a text input field containing '00000000000000'.

図 3-43 SNMP 設定画面

(1) 基本設定

| 項目   | 内容                           |
|------|------------------------------|
| 動作設定 | SNMP エージェント動作の有効または無効を選択します。 |

(2) ユーザー設定

| 項目     | 内容                              |
|--------|---------------------------------|
| ユーザー設定 | ユーザー設定を入力します。                   |
| ユーザー名  | ユーザー名を入力します。(半角 8 文字以上 16 文字以内) |
| パスワード  | パスワードを入力します。(半角 8 文字以上 16 文字以内) |
| 認証形式   | 認証形式を選択します。                     |
| 暗号化形式  | 暗号化形式を選択します。                    |

(3) MIB ファイル

| 項目            | 内容                   |
|---------------|----------------------|
| 装置から読み出し      | MIB ファイルを PC に保存します。 |
| MIB ファイルバージョン | MIB ファイルバージョンを表示します。 |

### 3-3-6 視聴制限

視聴制限機能の動作を設定します。

#### 3-3-6-1 機能設定

「基本設定」、「ローカル設定」、「リモート設定」を設定することができます。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「視聴制限」を選択し、中項目から「機能設定」を選択します。

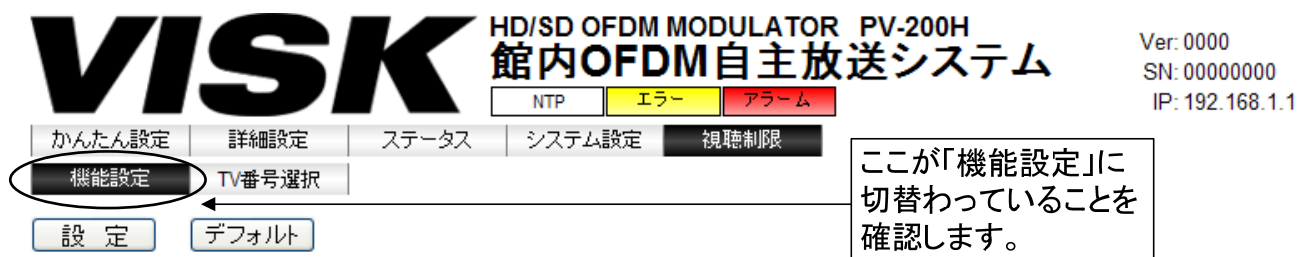


図 3-44 機能設定 タイトル画面

#### ●視聴制限機能をご使用になる前に

はじめに、「3 - 7 視聴制限の運用」を必ずご参照ください。

以下の場合には、「テレビへのTV番号設定手順」の手順に沿ってテレビに対する設定を行ってください。

1. 視聴制限機能を初めてお使いになる場合
2. ご使用のテレビを変更された場合
3. 本機の「地域識別割り当て」または「地域事業者識別」を変更された場合

メモ

「機能設定」を選択すると、以下の画面が個別設定画面に表示されます。

設定    デフォルト

基本設定    ローカル設定    リモート設定

### 基本設定

動作設定     視聴制限 OFF     ローカル ON     リモート ON  
 拡張リモート ON

### ローカル設定

#### TV番号入力設定

TV番号入力     無効     有効  
パスワード設定   

#### サービス1

##### 出力文章設定

出力文章   

文字の大きさ     小(全角24文字×12行)     中(全角20文字×10行)     大(全角16文字×8行)

#### サービス2

##### 出力文章設定

出力文章   

文字の大きさ     小(全角24文字×12行)     中(全角20文字×10行)     大(全角16文字×8行)

#### サービス3

##### 出力文章設定

出力文章   

文字の大きさ     小(全角24文字×12行)     中(全角20文字×10行)     大(全角16文字×8行)

### リモート設定

#### FTP

FTPサーバアドレス   

ログイン名   

パスワード   

サブフォルダ名   

変調器ID   

図 3-45 機能設定 画面

(1) 基本設定

| 項目   | 内容  |
|------|---|
| 動作設定 | 視聴制限の動作を設定します。<br>視聴制限 OFF、ローカル ON、リモート ON、拡張リモート ON の 4 項目から選択します。 |

●「リモート ON」および「拡張リモート ON」について

「リモート ON」および「拡張リモート ON」は、不用意に設定しないでください。

これらの視聴制限機能を運用するためには、別途サーバーと専用のアプリケーションが必要です。



注意

●視聴制限機能有効時の TS レートについて

視聴制限機能が有効（「動作設定」が「視聴制限 OFF」以外）である際に、サービス 1 の HD 出力映像・音声は乱れる場合には、「詳細設定」－「エンコード設定」の「HD 設定」－「TS レート」を確認してください。設定値が 20 である場合には、19 に変更することにより状況を改善できます。

視聴制限機能と TS レートの関係については、33 ページ「エンコード設定」の「●最大ビットレートについて」をお読みください。



注意

●視聴制限機能有効時の番組録画について

視聴制限機能を有効（「動作設定」が「視聴制限 OFF」以外）としている場合に、本装置より出力されるサービス（番組）の映像・音声は、市販の一般的なデジタルレコーダや録画機能付きのテレビでは録画できません。

MPEG-2 TS 形式にて録画が可能なレコーダやテレビであれば録画することができますが、その場合でも、映像・音声のみを再生することはできません。



注意

●データ多重機能と視聴制限機能の優先関係

データ多重機能と視聴制限機能は同時に利用できません。

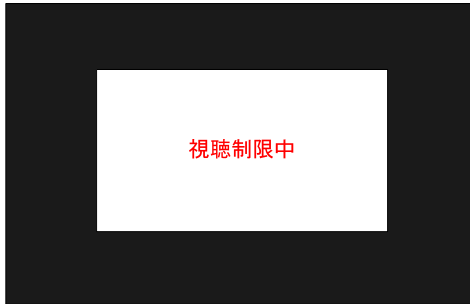
同時に有効とした場合は視聴制限機能が優先されます。

同時に有効とした場合でもデータ多重機能の設定内容は保持されます。



注意

## (2) ローカル設定

| 項目        | 内容  |
|-----------|---|
| TV 番号入力設定 | TV 番号入力の設定をします。<br>動作設定を「ローカル ON」にした場合に有効となる設定です。   |
| TV 番号入力   | TV 番号入力を選択(無効/有効)します。   |
| パスワード設定   | TV 番号入力パスワードを入力します。   |
| 出力文章設定    | サービス 1~サービス 3 の出力文章の設定をします。<br>動作設定を「ローカル ON」にした場合に有効となる設定です。   |
| 出力文章      | 視聴制限時に TV 画面に表示される文章を入力します。下図は出力文章を「視聴制限中」とした例です。<br> |
| 文字の大きさ    | 出力文章の文字の大きさを<br>小(全角 24 文字×12 行)<br>中(全角 20 文字×10 行)<br>大(全角 16 文字×8 行)から選択します。<br>ただし、いずれの文字の大きさを選んでも最大の文字数は全角で 80 文字以内とします。           |

## (3) リモート設定

| 項目           | 内容  |
|--------------|---|
| FTP          | FTP の設定をします。<br>動作設定を「リモート ON」または「拡張リモート ON」にした場合に有効となる項目です。  |
| FTP サーバーアドレス | FTP サーバーにアクセスする際のアドレスを入力します。  |
| ログイン名        | FTP サーバーにアクセスする際のログイン名を入力します。   |
| パスワード        | FTP サーバーにアクセスする際のパスワードを入力します。   |
| サブフォルダ名      | サブフォルダ名を入力します。<br>通常は FTP でログインしたディレクトリ内のファイルにアクセスしますが、入力したサブディレクトリ内のファイルにアクセスすることも可能です。<br>動作設定を「拡張リモート ON」にした場合には無効となる項目です。 |
| 変調器 ID       | 変調器 ID の選択をします。<br>動作設定を「拡張リモート ON」にした場合に有効となる設定です。   |



### 3-3-6-2 TV 番号選択

「TV 番号選択」を設定することができます。

タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「視聴制限」を選択し、中項目から「TV 番号選択」を選択します。

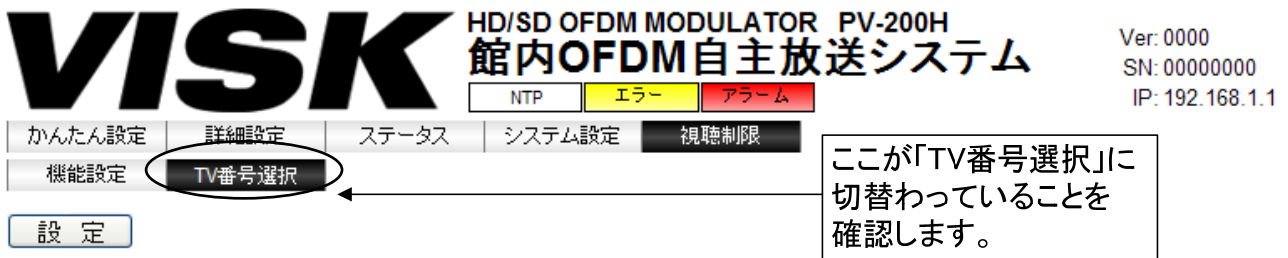


図 3-46 TV 番号選択 タイトル画面

「TV 番号選択」を選択すると、以下の画面が個別設定画面に表示されます。

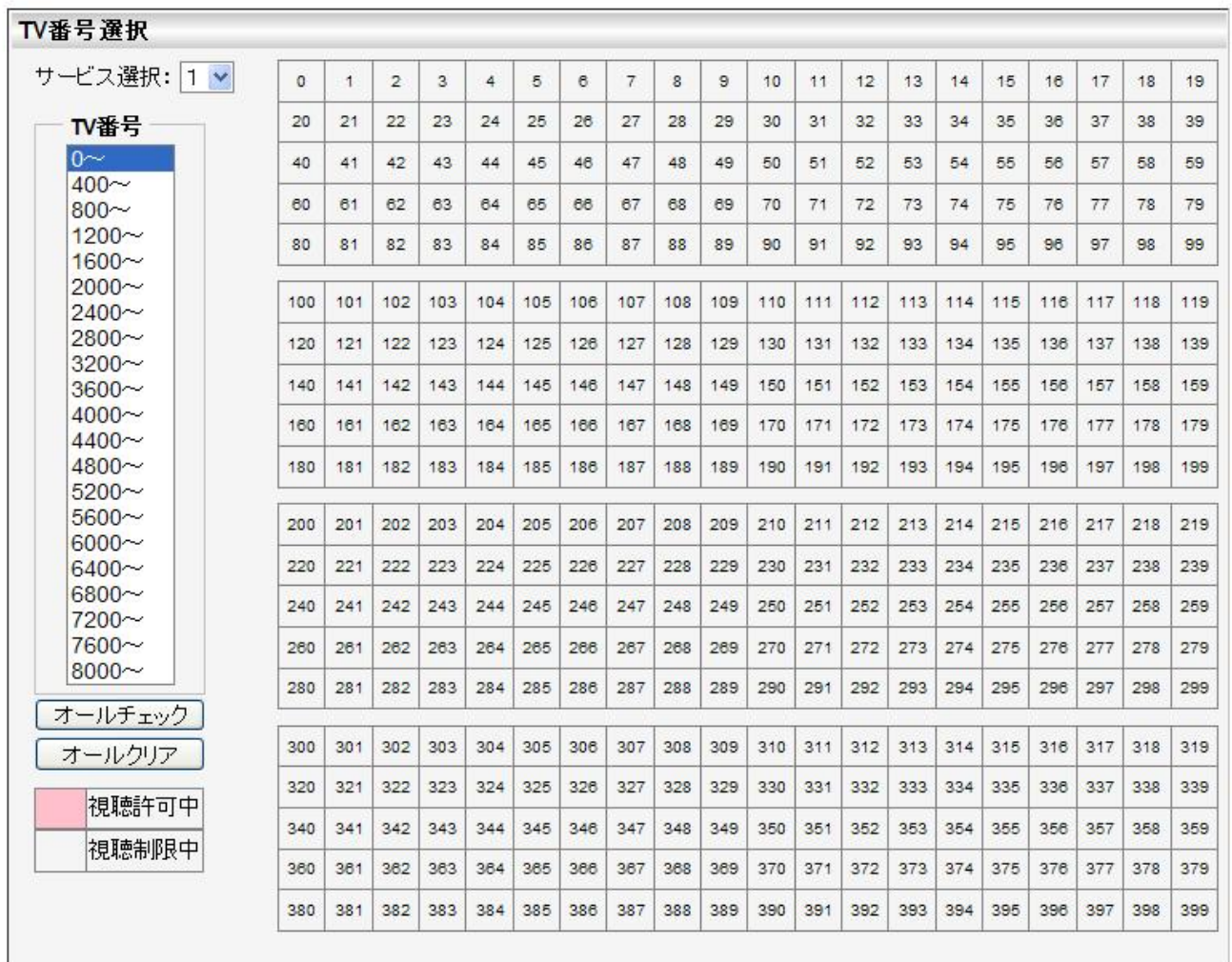



図 3-47 TV 番号選択 画面

(1) TV 番号選択設定

| 項目         | 内容  |
|------------|---|
| サービス選択     | 視聴制限設定を行うサービス 1～サービス 3 を選択します。  |
| TV 番号      | 動作設定が「ローカル ON」に設定されていない場合に警告が表示されます。<br> A screenshot of a Windows Internet Explorer warning dialog box. The title bar reads "Windows Internet Explorer" with a close button on the right. The main area contains a yellow warning triangle with an exclamation mark on the left and the text "動作設定が「ローカルON」ではありません。" (Action setting is not "Local ON"). Below the text is an "OK" button. |
| 0～399 のマス  | TV 番号 0～8191 までの視聴許可及び制限の設定をします。<br>視聴制限の切り替えを行いたい TV 番号が書かれたマスをクリックすることで許可⇄制限の切り替えが可能です。<br>マスに色がついている時は視聴許可中、色がついていない時は視聴制限中であることを表します。<br>表示されている 400 個の TV 番号の中に、希望する TV 番号が存在しない場合、画面左部にある「TV 番号」項目から希望する範囲の項目を選択することでマス内の数値が変化します。<br>変更した項目は「TV 番号選択」画面から移動しない限り「TV 番号」を変更しても消えることはなく、「設定」ボタンを押さない限り更新されません。   |
| オールチェックボタン | 「オールチェック」ボタンをクリックすると、現在表示している TV 番号すべてを視聴許可状態にします。  |
| オールクリアボタン  | 「オールクリア」ボタンをクリックすると、現在表示している TV 番号すべてを視聴制限状態にします。   |

### 3-4 文字スーパー

#### 3-4-1 文字スーパー表示

入力映像に文字を重ねる文字スーパー表示を行います。本機で使用可能な文字スーパーの仕様を示します。また、文字スーパーの例を示します。

表 3-1 文字スーパーの仕様一覧

| 項目 1   | 項目 2            | 仕様   |
|--------|-----------------|--|
| 画面構成   | 画面モード           | 通常画面/L 字型画面  |
|        | 背景色 (入力映像でない部分) | グレー/黒  |
| 文字スーパー | 文字情報表示方式        | 位置固定の文字スーパー表示領域が複数存在し、その位置に登録している文字情報を順次切り替えて表示                          |
|        | 文字情報の登録可能数      | 20   |
|        | 1つの文字情報の表示時間    | 1~3600 秒、または無制限  |
|        | 文字情報の最大文字数      | 文字スーパー出力領域と出力映像の解像度との関係で変化を参照します。  |
|        | 書字方向            | 文字スーパー表示領域毎に書字方向 (縦書き/横書き)は固定します。  |
|        | 表示可能な文字セット      | JIS X 0213:2004 (日本語)<br>Big5/GB2312-80 (中国語)<br>KS X 1001-1998 (韓国語)    |
|        | 使用するフォント        | IPAex フォント ゴシック体(日本語)<br>C JK unifonts 楷書体(中国語)<br>Un-fonts dotum 体(韓国語) |
|        | 文字の大きさ          | HD: 64pixel / SD: 32pixel  |
|        | 文字表示色           | 白のみ<br>文字周りの縁取り有無を選択可能<br>ブリンク表示時は、文字の表示(1.0 秒)と非表示(1.0 秒)を交互に繰り返す       |
| 設定     | 設定方法            | ウェブブラウザからの設定のみ<br>※エンコード動作を停止せずに設定変更可能                                   |

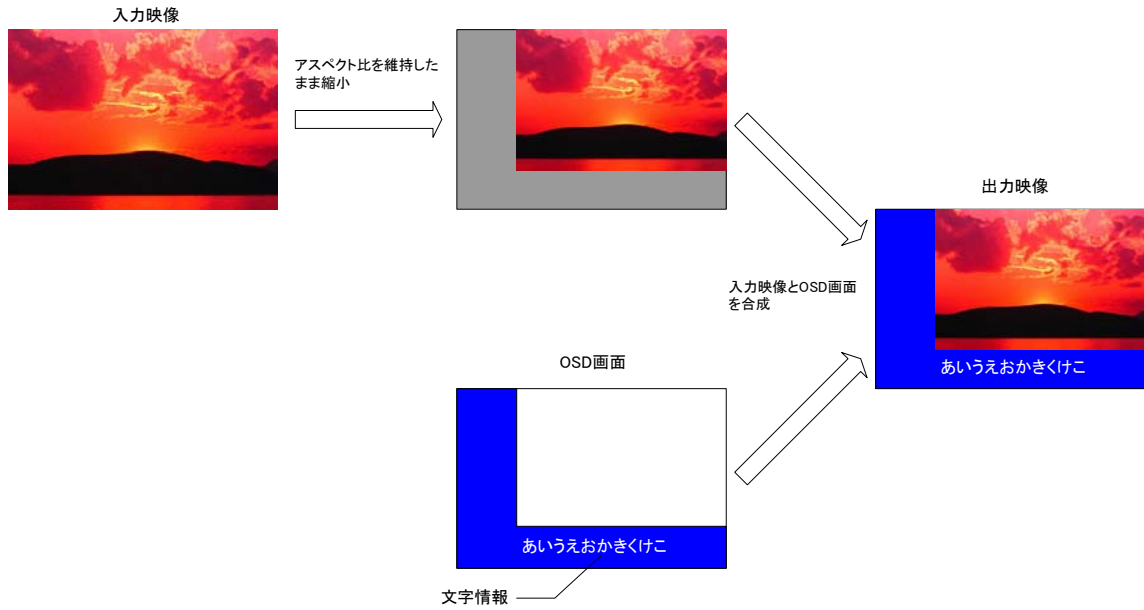


図 3-48 文字スーパーの例（L字型画面）

文字スーパー表示は、通常画面とL字型画面の2種類で構成されます。

### 3-4-1-1 通常画面の構成

通常画面は、入力映像の上に文字や図形を重ねて表示させることで画面を構成します。

通常画面で文字スーパー表示を行うときの各画面構成要素の配置位置を示します。

なお、文字スーパー表示領域 2、3 には横書き、文字スーパー表示領域 1、4 には縦書きで文字情報を表示します。

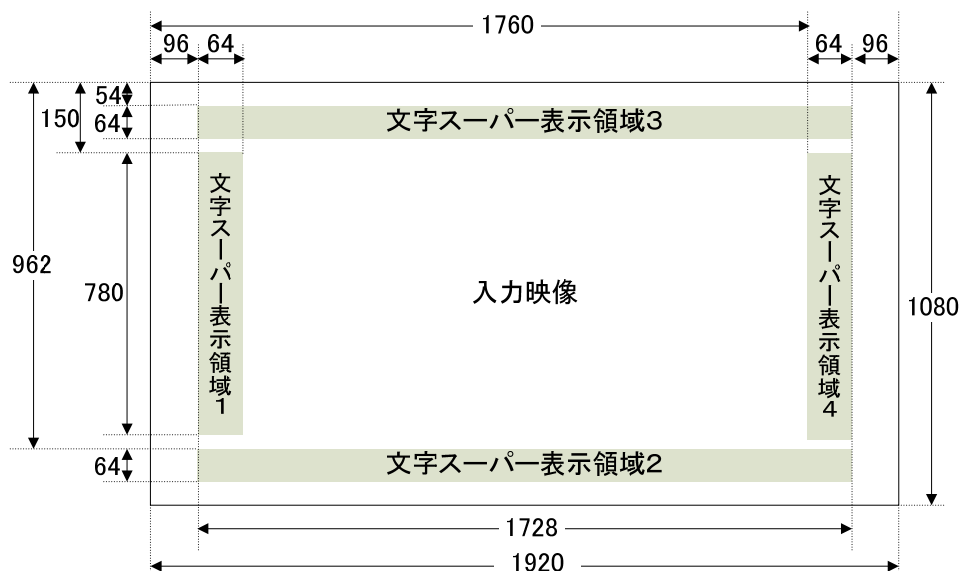


図 3-49 通常画面の構成 (HD 入力時)

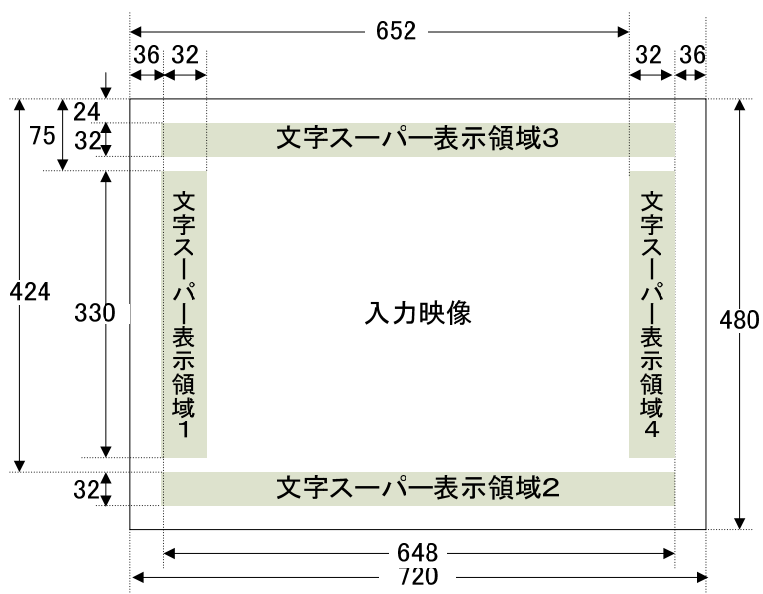


図 3-50 通常画面の構成 (SD 入力時)

### 3-4-1-2 L字型画面の構成

L字型画面は、アスペクト比を維持したまま入力映像を縮小して画面の有効領域の右上に配置し、余白部分に文字や図形を表示させることで画面を構成します。

L字型画面表示を行ったときの各画面構成要素の配置位置を示します。

なお、文字スーパー表示領域1には縦書き、文字スーパー表示領域2には横書きで文字情報を表示します。

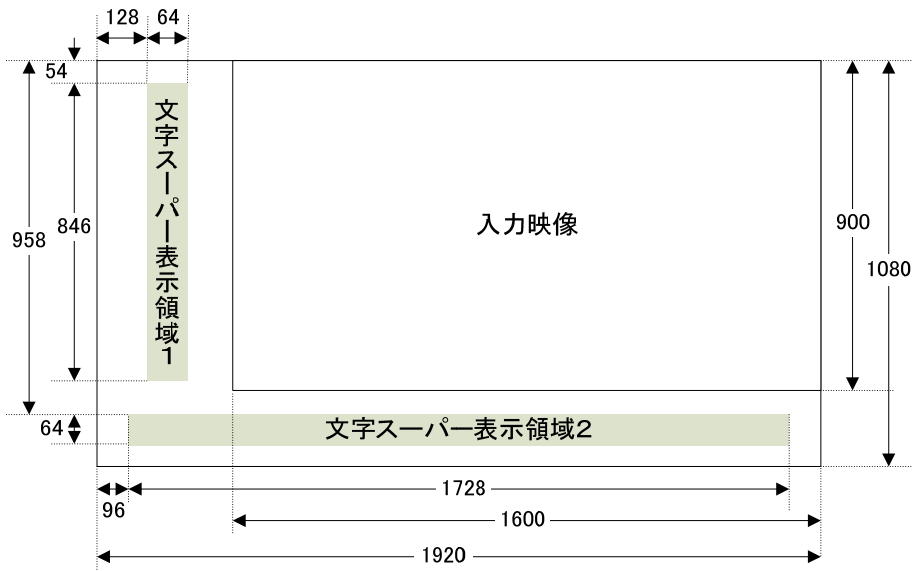


図 3-51 L字型画面の構成 (HD 入力時)

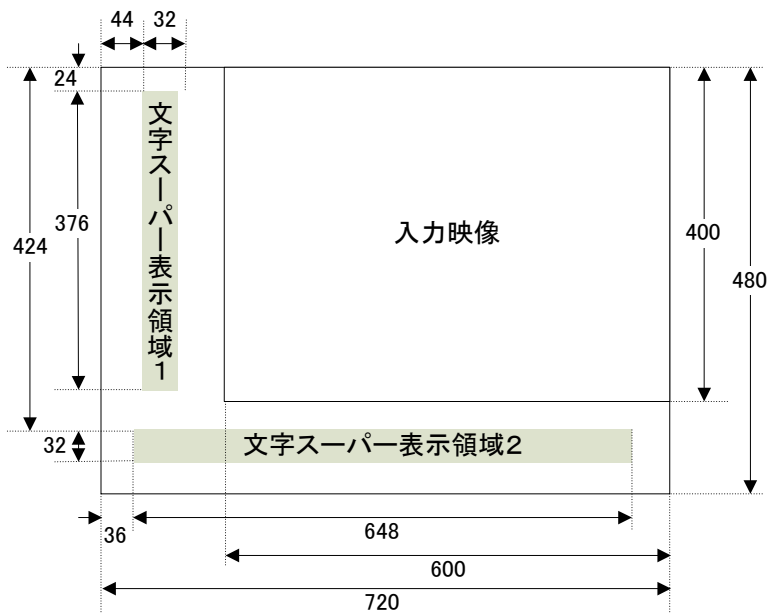


図 3-52 L字型画面の構成 (SD 入力時)

### 3-4-1-3 文字スーパーの表示更新

本機では、文字スーパーとして表示する文字情報を最大 20 個まで設定することができます。

これらの文字情報には、文字情報を表示する文字スーパー表示領域の選択と表示時間が含まれており、この情報に基づいて文字スーパーの表示更新を行います。ただし、表示時間に 0 が設定されている文字情報は表示の対象としません。

なお、1 つの文字スーパー表示領域に表示する文字情報が 1 つしか存在しない場合は、表示時間の設定値に関係なく、当該文字情報を表示し続けます。

文字スーパー表示の更新についての例を示します。

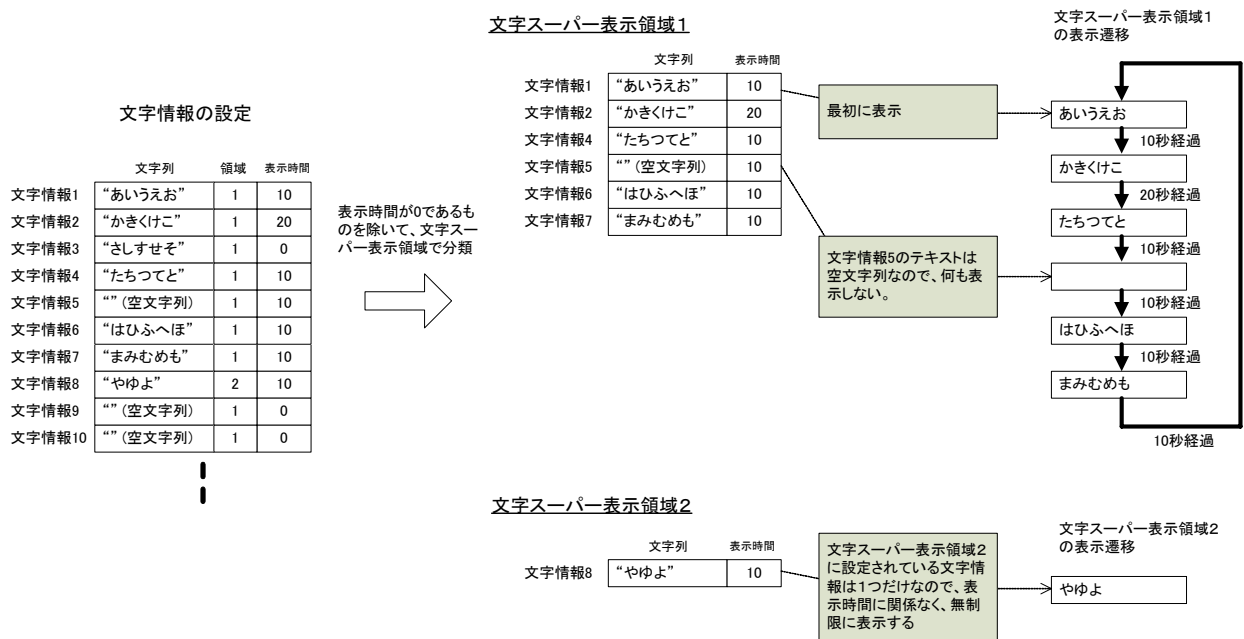


図 3-53 文字情報の設定と文字スーパー表示更新の例

### 3-4-1-4 文字スーパーの最大文字数

文字スーパーの最大文字数は、文字スーパー表示領域毎に異なります。

表 3-2 に文字スーパーの最大文字数を示します。

なお、文字数は文字の種類 (半角、全角)に関係なく、1 文字 1 カウントとなります。

表 3-2 文字スーパーの最大文字数

| 文字スーパー表示領域 | 文字スーパーの最大文字数 |            |
|------------|--------------|------------|
|            | 画面構成: 通常     | 画面構成: L 字型 |
| 領域 1 (左)   | 10           | 10         |
| 領域 2 (下)   | 20           | 20         |
| 領域 3 (上)   | 20           |            |
| 領域 4 (右)   | 10           |            |

### 3-5 データ付加テレビサービス

「データ付加テレビサービス」とは、映像 ES・音声 ES の他に、データ放送 ES が多重され、データ放送が実行可能なサービスを指します。

本機では、「詳細設定」→「データ多重」画面において、コンポーネントタグが 0x40 であるデータ放送 ES に対して、「多重化先サービス」が選択されているサービスがデータ付加テレビサービスとなります。

（「コンポーネントタグ=0x40」は、データ放送において最初に行われるプログラムが格納されているデータ ES に与えられる特別な値です。）

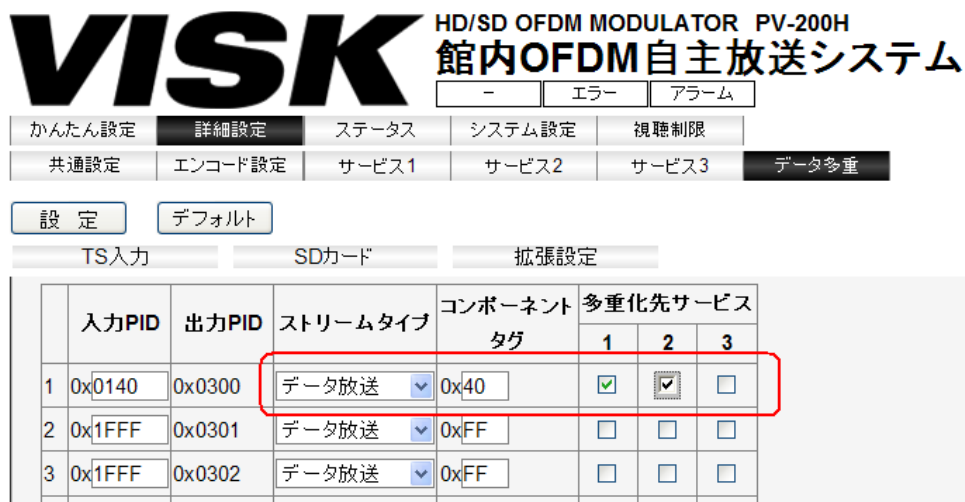


図 3-54 本機における「データ付加テレビサービス」の指定方法



### 3-6 「ちら見」の防止

「ちら見」とは、テレビにおいて、「データ付加テレビサービス」(チャンネル)を選局した時に、データ放送のプログラムが開始されるよりも前に、映像や音声の再生が始まってしまう状態を指します。

本機では、ウェブ設定の「詳細設定」—「データ多重」—「拡張設定」によって、「ちら見」を防止することができます。

「拡張設定」で指定するコンポーネントタグ値は、データ放送のプログラムが映像・音声の識別に使用している値と同じにしてください。

「ちら見」防止機能の運用にあたっては、データ放送のコンテンツ制作会社等にご相談ください。

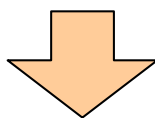
「ちら見」防止機能を有効としたデータ多重を行っているサービスの映像・音声は、市販の一般的なデジタルレコーダや録画機能付きのテレビでは録画できません。

MPEG-2 TS 形式にて録画が可能なレコーダやテレビであれば録画することができますが、その場合でも、映像・音声のみを再生することはできません。

映像・音声を既定指定(-1を指定)しているデータ放送のプログラムについては、「ちら見」を防止できません。

このようなデータ放送を付加したテレビサービスを運用する場合には、「拡張設定」の「コンポーネントタグを指定」は未選択としてください。選択状態では、映像・音声は再生されません。

#### ○ データ付加テレビサービス(チャンネル)を選局した直後



#### ○ データ放送が開始された後



図 3-55 ちら見のイメージ

### 3-7 視聴制限の運用

#### ●視聴制限機能について（制約事項）

視聴制限機能は、地上デジタル放送の「データ放送」のしくみを利用しています。

データ放送は、「テレビで動作するプログラム」を含む放送波をテレビが受信・記録し、テレビが実行するしくみであるため、次のような制約があります。

- ・すべてのテレビで視聴制限機能が動作する保証はありません。メーカーによって動作が異なります。また、同一のメーカーでも年式やモデルによって動作が異なる可能性があります。
- ・使用するテレビによっては視聴制限中でも番組表の小映像表示に映像が表示されることがあります。
- ・視聴制限機能を有効としている場合には、チャンネル選局から視聴できるまでに時間がかかります。この時間は放送波を受信したテレビのメモリにプログラムを蓄積し、実行するために必要なもので、かかる時間はテレビに依存します。
- ・使用するテレビによってはチャンネル選局後に一旦、映像が表示された後、サイズが切り替えられ、再表示されるテレビがあります。テレビ側で「画面サイズ自動切換え」機能が働くためです。
- ・使用するテレビによってはリモコンボタンによる音声切り換えの機能が働かないことがあります。



本機能では、接続されたデータ放送に対応した各テレビに対して、固有の番号(以下 TV番号)を割り当てることにより、放送コンテンツの視聴許可及び制限を制御することができます。

設定したTV番号の制御は3-3-6-2「TV番号選択」にて設定します。

テレビにTV番号を割り当てるための手順を次節に記述します。

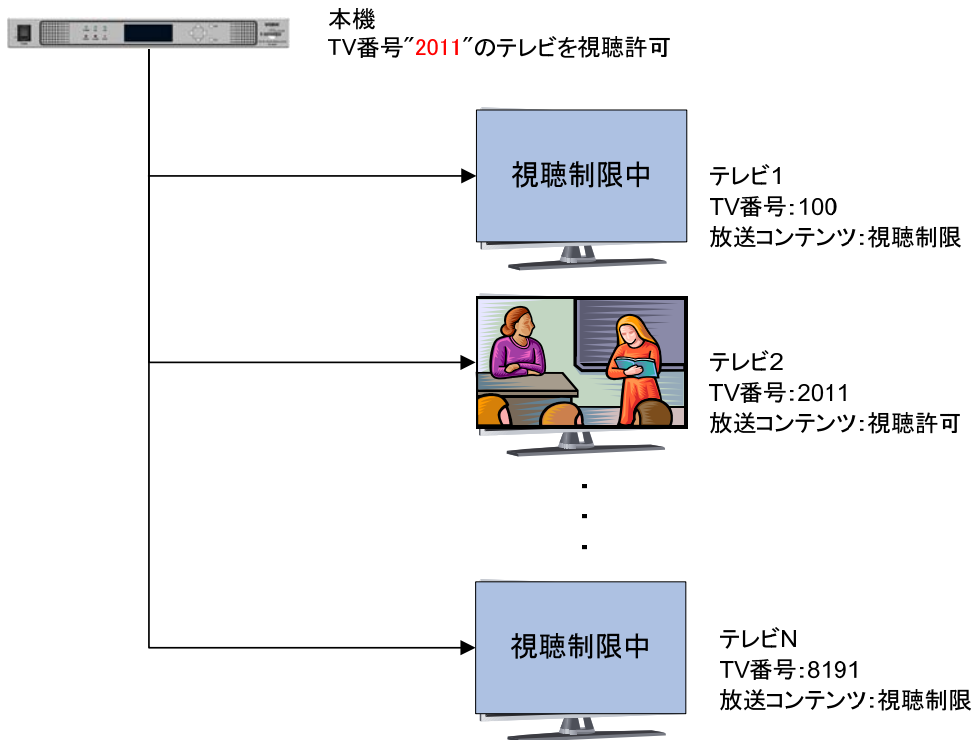


図 3-56 視聴制限概念図

### 3-7-1 テレビへのTV 番号設定手順

下記手順に沿って、テレビに対してTV 番号を設定します。

(1) 3 - 3 - 6「視聴制限」の手順に沿って、視聴制限動作設定を「ローカルON」に設定します。(ご購入時は「視聴制限OFF」に設定されています。)

(2) 「機能設定」—「TV 番号入力設定」—「TV 番号入力」が「有効」に設定されていることを確認します。

(3) テレビにて自主放送のサービスを選局します。

(4) リモコンを使用して、テレビに対して以下の順にボタン操作を行います。

戻る → 黄 → 緑 → 赤 → 青 → 戻る

(5) 図 3-57 のような入力画面が表示されますので、リモコンの数字ボタンを使用してパスワードを入力します。(パスワードはウェブブラウザで設定した4桁の数値です。ご購入時は“1111”に設定されています。)

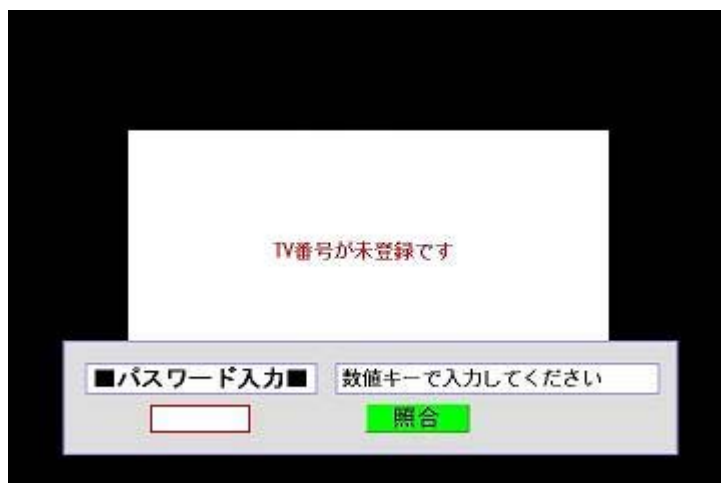


図 3-57 パスワード入力画面を表示したときのイメージ

(6) 入力画面上の「照合」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。リモコンの緑ボタンを押すことでも同等の操作となります。

(7) パスワードの認証に成功した場合は 図 3-58 の画面に遷移します。

( 認証に失敗した場合は、入力誤り、もしくはパスワードが異なる可能性があります。設定したパスワードをご確認ください。)

(8) 図 3-58 のような入力画面が表示されていることを確認し、リモコンの数字ボタンを使用してTV番号を入力します。



図 3-58 TV 番号入力画面を表示したときのイメージ

注意 : TV 番号は 0~8191 の数字を入力してください。(範囲外の TV 番号を設定されたテレビには、視聴制限画面が表示されます。)

TV 番号入力画面の間、視聴制限が解除されます。(最長 3 分間)

設定中のチャンネルに誤りが無いことを確認してください。

(9)入力画面上の「保存」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。リモコンの黄ボタンを押すことでも同等の操作となります。

### 3-8 設定用ディスプレイ、設定ボタン

#### 3-8-1 設定ボタンの基本動作

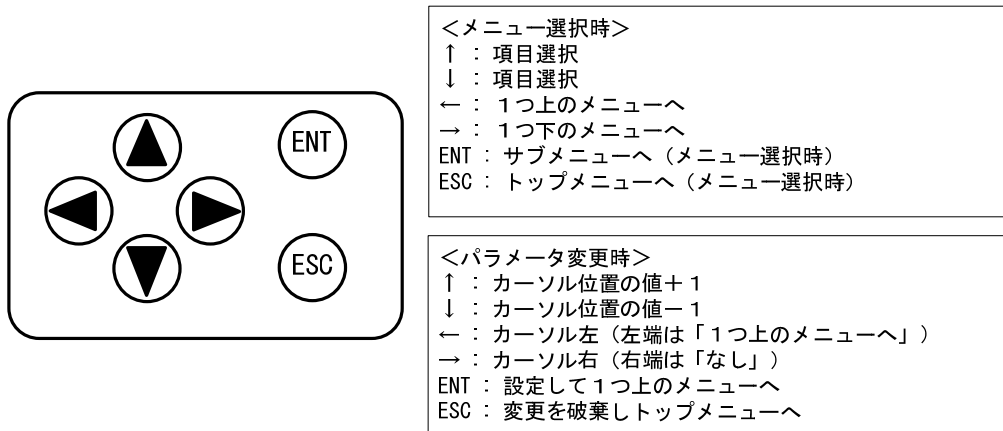
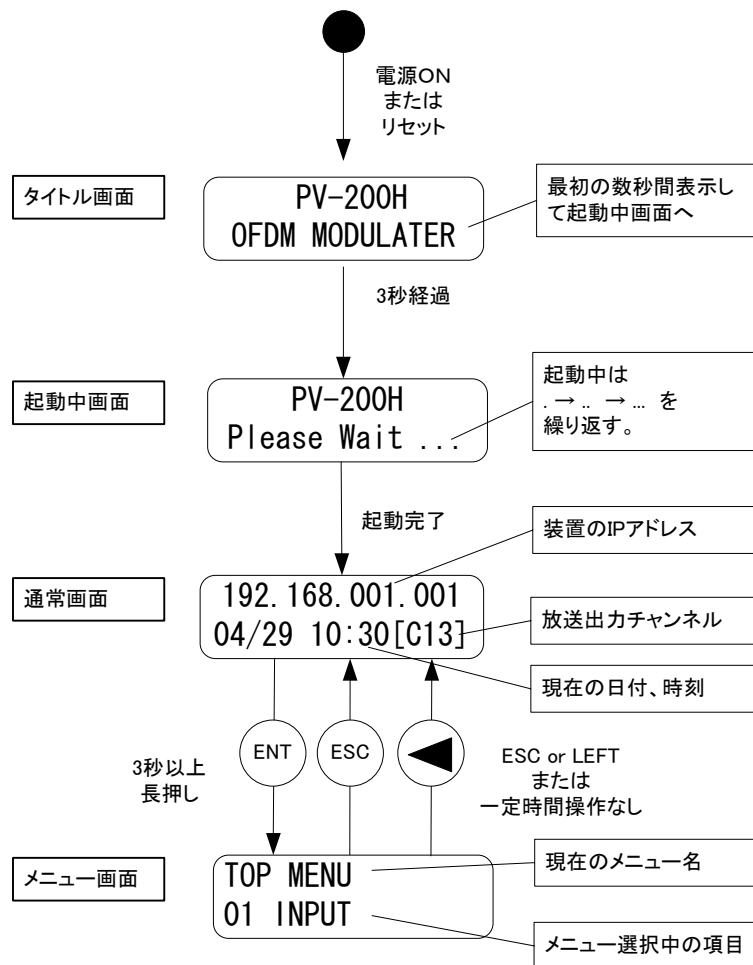








図 3-59 スイッチの基本動作



### 3-8-2 動作詳細

#### 01 INPUT (映像・音声入力設定)




映像・音声入力設定を選択します（出荷時は「V : SDI A : SDI」になっています）。

- ① メニュー画面から   で「01 INPUT」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「映像・音声入力設定」が表示されます。
- ③   で希望の「映像・音声入力設定」を選択する  
（下表「映像・音声入力設定一覧」参照）
- ④  ENT を押す。

映像・音声入力設定一覧







| 映像入力    | 音声入力    | 表示       |          |
|---------|---------|----------|----------|
| HDMI 入力 | HDMI 入力 | V : HDMI | A : HDMI |
| HDMI 入力 | アナログ入力  | V : HDMI | A : ANA  |
| SDI 入力  | SDI 入力  | V : SDI  | A : SDI  |
| SDI 入力  | アナログ入力  | V : SDI  | A : ANA  |
| D 端子入力  | アナログ入力  | V : D    | A : ANA  |
| アナログ入力  | アナログ入力  | V : ANA  | A : ANA  |

#### 02 BROADCAST (放送設定)

- ① メニュー画面から   で「02 BROADCAST」を選択する。
- ②  を押す。  
「21 AREA」が表示されます。







#### 21 AREA

- ・地域識別割当てを選択します。
- ・本機を設置した地域を選択してください（出荷時は「Tokyo」になっています）。

- ①   で「21 AREA」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「地域識別割当て」が表示されます。
- ③   で希望の「地域識別割当て」を選択する。
- ④  ENT を押す。







## 22 B-CASTER ID

- ・地域事業者識別を選択します。
- ・原則、「O(14)」を選択してください（出荷時は「O(14)」になっています）。

- ①   で「22 B-CASTER ID」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「地域事業者識別」が表示されます。
- ③   で希望の「地域事業者識別」を選択する。
- ④  を押す。







## 23 REMOCON KEY

- ・リモコンキーID（リモコンのボタン番号）を選択します。
- ・放送チャンネルの割当てのないボタン番号を選択してください（出荷時は「11」になっています）。

- ①   で「23 REMOCON KEY」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「リモコンキーID」が表示されます。
- ③   で希望の「リモコンキーID」を選択する。
- ④  を押す。




## 24 BC FREQUENCY

- ・本機からのサービスを送出するチャンネル（放送周波数）を選択します。
- ・ch.1～62, ch.C13～C63 が選択できます。
- ・放送のないチャンネルを選択してください（出荷時は「C23」になっています）。

- ①   で「24 BC FREQUENCY」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「チャンネル（放送周波数）」が表示されます。
- ③   で希望の「チャンネル（放送周波数）」を選択する。
- ④  を押す。









## 03 NETWORK

(ネットワーク設定)

- ① メニュー画面から   で「03 NETWORK」を選択する。
- ②  を押す。  
「31 IP ADDRESS」が表示されます。









### 31 IP ADDRESS

本機の「IP アドレス」を設定します（出荷時は「192.168.001.001」になっています）。

- ①   で「31 IP ADDRESS」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「IP アドレス」が表示されます。
- ③   で数値を変えたい位置にカーソルを移動させる。
- ④   で数値を増減させる。
- ⑤  <sup>ENT</sup> を押す。









### 32 NET MASK

本機の「サブネットマスク」を設定します（出荷時は「255.255.255.000」になっています）。

- ①   で「32 NET MASK」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「サブネットマスク」が表示されます。
- ③   で数値を変えたい位置にカーソルを移動させる。
- ④   で数値を増減させる。
- ⑤  <sup>ENT</sup> を押す。

### 33 GATEWAY




本機の「デフォルトゲートウェイ」を設定します（出荷時は「000.000.000.000」になっています）。

- ①   で「33 GATEWAY」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「デフォルトゲートウェイ」が表示されます。
- ③   で数値を変えたい位置にカーソルを移動させる。
- ④   で数値を増減させる。
- ⑤  <sup>ENT</sup> を押す。









**04 DATE**

(日付・時刻補正方法の設定)

- ① メニュー画面から   で「04 DATE」を選択する。
- ②  を押す。  
「41 ADJUST MODE」が表示されます。

**41 ADJUST MODE**

「時刻補正方法」を設定します。(出荷時は「NTP+ONESEG」になっています)

- ①   で「41 ADJUST MODE」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「時刻補正方法」が表示されます。
- ③   で希望の「時刻補正方法」を選択する(下表「時刻補正方法」参照)。
- ④  <sup>ENT</sup> を押す。

## 時刻補正方法

| 表示         | 時刻補正方法   |
|------------|--|
| NTP+ONESEG | タイムサーバー (NTP) による時刻補正を行います。<br>タイムサーバーによる時刻補正ができない場合、ワンセグによる時刻補正を行います。 |
| NTP        | タイムサーバーによる時刻補正を行います。   |
| ONESEG     | ワンセグによる時刻補正を行います。  |









**42 NTP IP ADRS1****43 NTP IP ADRS2**

(NTP IP アドレス 1 から取得できない場合, 使用)

**44 NTP IP ADRS3**

(NTP IP アドレス 2 から取得できない場合, 使用)


タイムサーバーによる時刻補正時に取得するサーバーの IP アドレスを入力します  
(出荷時は「000.000.000.000」になっています)。

- ①   で「42 NTP IP ADRS1」を選択する。
- ②  を押す。  
本機に設定されている「タイムサーバーによる時刻補正時に取得する IP アドレス」が表示されます。
- ③   で数値を入力したい位置にカーソルを移動させる。
- ④   で数値を増減させる。
- ⑤  <sup>ENT</sup> を押す。

## 45 ONESEG ch.

- ・ワンセグによる時刻補正時に受信するチャンネルを選択します。
- ・ch.13~62 が選択できます（出荷時は「ch.27(557MHz)」になっています）。

①   で「45 ONESEG ch.」を選択する。

②  を押す。



本機に設定されている「ワンセグによる時刻補正時に受信するチャンネル」が表示されます。


③   で受信する「チャンネル（受信周波数）」を選択する。

④  を押す。



## 05 RF LEVEL (RF 出力レベルの設定)

本機の出カレベルを設定します。（出荷時は「105」dB $\mu$ Vになっています）

① メニュー画面から   で「05 RF LEVEL」を選択する。

②  を押す。



本機に設定されている「RF 出力レベル」が表示されます。


③   で「RF 出力レベル」を選択する。

④  を押す。

## 06 SD CARD (SD カードの操作)

SD カードを使用した機能を作動させることができます。

① メニュー画面から   で「06 SD CARD」を選択する。


②  を押す。

「61 PARAMETER」が表示されます。


## 61 PARAMETER


本機に対する設定値の LOAD 及び SAVE 操作を行います。


①   で「61 PARAMETER」を選択する。

②  を押す。

「LOAD」が表示されます。

③   で「LOAD」もしくは「SAVE」を選択します。

④ 「LOAD」選択時は  を押すことにより「EXECUTE?」と表示されます。





その後  を押すことにより SD カードに保存されているパラメータファイルの

「LOAD 操作」が行われます。

「SAVE」選択時は  を押すことにより SD カードに対する「SAVE 操作」が行われます。







## 62 LOG

本機内部 LOG の SAVE 操作を行います。

- ①   で「62 LOG」を選択する。
- ②  を押す。  
「SAVE」が表示されます。
- ③  を押すことにより本機内部 LOG を SD カードに保存する操作が行われます。

## 63 LOOP PLAY





SD カードからの TS ループ再生操作を行います。

- ①   で「63 LOOP PLAY」を選択する。
- ②  を押す。  
TS ループ再生停止時は「PLAY」が表示されます。  
TS ループ再生時は「STOP」が表示されます。
- ③   で「PLAY」「STOP」を選択します。
- ④  を押すことにより「PLAY」操作, 「STOP」操作が行われます。

## 64 VERSION UP

(本機ソフトウェアのバージョンアップ操作)




本機ソフトウェアのバージョンアップ操作を行います。

- ①   で「64 VERSION UP」を選択する。
- ②  を押す。  
「EXECUTE\_?」が表示されます。
- ③  を押すことにより「ソフトウェアバージョンアップ操作」が行われます。

## 07 ERROR/ALARM






(エラー/アラーム)

本機で発生中のエラーとアラームの情報を表示します。

- ① メニュー画面から   で「07 ERROR/ALARM」を選択する。
- ②  を押す。  
「71 ERROR」が表示されます。






### 71 ERROR

本機で発生中のエラーを表示します。

- ①   で「71 ERROR」を選択する。
- ②  を押す。  
エラーの発生状態が表示されます。  
エラーがないときは「NO ERROR」が表示されます。
- ③   でエラー内容を確認します。(エラーが2つ以上発生している場合)

### 72 ALARM



本機で発生中のアラームを表示します。


- ①   で「72 ALARM」を選択する。
- ②  を押す。  
アラームの発生状態が表示されます。  
アラームがないときは「NO ALARM」が表示されます。
- ③   でアラーム内容を確認します。(アラームが2つ以上発生している場合)

**08 VERSION**

(バージョン表示)

ファームウェアのバージョンを表示します。

① メニュー画面から   で「08 VERSION」を選択する。

②  を押す。

インストールされているファームウェアのバージョン（下表「ファームウェアバージョン」参照）が表示されます。



ファームウェアバージョン一覧


| 項目        | 内容                      |
|-----------|-------------------------|
| PKG       | システムの総合バージョン            |
| SYS       | 制御 CPU (SYS) のバージョン     |
| APP       | 制御 CPU (APP) のバージョン     |
| VCODEC    | 映像コーデックのバージョン           |
| ACODEC    | 音声コーデックのバージョン           |
| OFDM CPU  | OFDM モジュールのファームウェアバージョン |
| OFDM FPGA | OFDM モジュールの FPGA バージョン  |
| BOOT CPU  | 起動制御 CPU のバージョン         |
| CPLD      | CPLD のバージョン             |
| FPGA0     | FPGA0 のバージョン            |
| FPGA1     | FPGA1 のバージョン            |
| FPGA2     | FPGA2 のバージョン            |

**09 SERIAL No.**

(装置シリアル番号表示)

本機のシリアル番号を表示します。

① メニュー画面から   で「09 SERIAL No.」を選択する。

②  を押す。

本機の「シリアル番号」が表示されます。

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| TOP MENU    トップメニュー                  |  |
| 01 INPUT    入力設定                     |  |
| V : SDI    A : SDI                   |  |
| V : HDMI   A : HDMI                  |  |
| V : D      A : ANA                   |  |
| V : ANA    A : ANA                   |  |
| V : SDI    A : ANA                   |  |
| V : HDMI   A : ANA                   |  |
| 02 BROADCAST    放送設定                 |  |
| 21.AREA    放送地域識別割り当て選択              |  |
| kanto area    関東広域選択                 |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| okinawa    沖縄県選択                     |  |
| 22 B-CASTER ID 地域事業者識別               |  |
| A(0)      A(0)選択                     |  |
| B(1)      B(1)選択                     |  |
| C(2)      C(2)選択                     |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| P(15)     P(15)選択                    |  |
| 23.REMOCON KEY    リモコンキーID設定         |  |
| 1          リモコンの1チャンネル選択             |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| 12         リモコンの12チャンネル選択            |  |
| 24.BC FREQUENCY    放送周波数設定           |  |
| ch.1(93MHz)    ch.1選択                |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| ch62(767MHz)    ch.62選択              |  |
| 03 NETWORK    ネットワーク設定               |  |
| 31 IP ADDRESS    IPアドレス              |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 32 NET MASK    サブネットマスク              |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 33 GATEWAY    デフォルトゲートウェイ            |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 04 DATE    日付、時刻設定                   |  |
| 41 ADJUST MODE    時刻補正方法             |  |
| NTP+ONESEG                           |  |
| NTP                                  |  |
| ONESEG                               |  |
| 42 NTP IP ADRS1    NTPサーバー IPアドレス1   |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 43 NTP IP ADRS2    NTPサーバー IPアドレス2   |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 44 NTP IP ADRS3    NTPサーバー IPアドレス3   |  |
| IP入力 : XXX.XXX.XXX.XXX               |  |
| 45 ONESEG ch.    ONESEGチャンネル設定       |  |
| CH.13(473MHz)    CH.13選択             |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| CH.62(767MHz)    CH.62選択             |  |
| 05 RF LEVEL    RF出力レベルの設定            |  |
| 90dB $\mu$ V    90dB $\mu$ V選択       |  |
| :                                    |  |
| :                                    |  |
| 110dB $\mu$ V    110dB $\mu$ V選択     |  |
| 06 SD CARD    SDカード制御                |  |
| 61 PARAMETER    設定ファイルの処理            |  |
| LOAD    読み込み                         |  |
| EXECUTE?    実行の確認                    |  |
| SAVE    書き出し                         |  |
| 62 LOG    内部ログの処理                    |  |
| SAVE    書き出し                         |  |
| 63 LOOP PLAY    TSファイルのループ再生         |  |
| STOP    停止                           |  |
| PLAY    再生                           |  |
| 64 VERSION UP    内部アプリケーションのバージョンアップ |  |
| EXECUTE?    実行の確認                    |  |
| 07 ERROR/ALARM    エラー/アラーム           |  |
| 71 ERROR                             |  |
| 表示 : XX XXXXXXXXXXXXXXX              |  |
| 72 ALARM                             |  |
| 表示 : XX XXXXXXXXXXXXXXX              |  |
| 08 VERSION    バージョン                  |  |
| 表示 : XXXX                            |  |
| 09 SERIAL No.    シリアル番号              |  |
| 表示 : XXXXXXXXXXXXXXX                 |  |

図 3-61 設定用ディスプレイのメニュー画面ツリー構成

### 3-9 SDカードの操作

SDカードの操作は前面パネルで行います。

(本機では、ウェブブラウザ画面からのSDカード操作はできません。)

#### ●使用するSDカードについて

SDカードはSDHC対応のClass6以上で容量が32Gbyte以下のFAT32フォーマットのものをご使用ください。

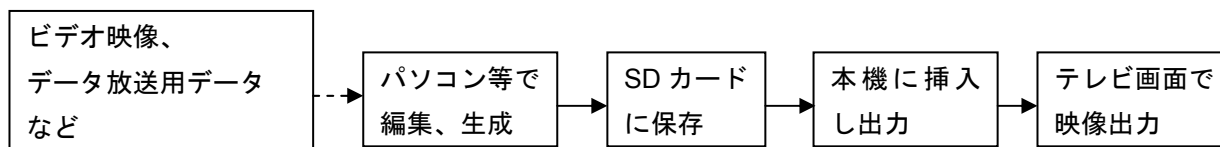


#### 3-9-1 SDカードの主な機能

##### 3-9-1-1 TSファイル/データ放送の再生

SDカード内のTSファイルやデータ放送用データを多重化し、出力します。

TSデータ編集ソフトは、TMPGEnc Video Mastering Works 5 を推奨しています。



#### ●再生可能なファイル

再生可能なファイルサイズは、4KB~4GB までです。

MPEG-2 TSファイルのファイル名は「TS.m2t」にしてください。SDカードに保存した複数ファイルから再生ファイルを選択することはできません。



##### 3-9-1-2 内部設定機能の更新/保存

- ・あらかじめパソコンで本機内部設定を作成しSDカードに保存しておくと、前面パネル操作で本体設定を更新することができます。

このとき、SDカード内の設定データのファイル名を、本機の「シリアル番号.ini」としておくと、前面パネル操作で設定を選択したときに同ファイル名を読み出すので、1枚のSDカードに複数のファイルを入れておくことができます。

- ・前面パネルで変更した設定内容をSDカードに保存（書き込み）できます。

#### ●設定データのファイル名について

書き込むデータは、ファイル名が「筐体シリアル番号.ini」となります。

すでにSDカード上に同一ファイルが存在する場合は、無条件で上書きとなり、変更前のデータはなくなります。



### 3-9-1-3 ログデータ取得

- ・本機内部のログデータを、前面パネルの操作で SD カードに保存（書き込み）できます。

#### ●ログデータのファイル名について

書き込むデータは、ファイル名が「筐体シリアル番号.log」となります。すでに SD カード上に同一ファイルが存在する場合は、無条件で上書きとなり、変更前のデータはなくなります。



### 3-9-1-4 アプリケーションのバージョンアップ

- ・SD カードにより、本機内部アプリケーションをバージョンアップできます。バージョンアップ中は絶対に、電源を落としたり、SD カードを抜かないでください。正常なバージョンアップができず、故障の原因となることがあります。

#### ●バージョンアップについて

バージョンアップ中に電源を落としたり SD カードを抜いて、動作不能となった本機のリカバリー処理は、本機に接続したパソコンのウェブ詳細設定項目「メンテナンスモード」でのバージョンアップが必要となることがあります。



### 3-9-2 SD カードの挿入と取り出し



図 3-62 本機正面図

#### 【挿入】

- ・SD スロットからダミーカードを取り出す。  
スロットを保護するために、ダミーカードが装着されています。SD カードを挿入する前にダミーカードを取り出す必要があります。
- ・SD カードを挿入する前に、正面パネル ENC が緑色点灯していることを確認します。
- ・前面の SD スロットに SD カード（FAT32 フォーマット）を挿入し、押し込みます。
- ・本体が自動認識すると、左の SD カード動作表示 LED が緑色点灯します。
- ・LED 点灯中は SD カードを抜かないでください。



### 【取り出し】

- ・ SD カードを取り出す前に、必ず SD カード動作表示 LED が消灯していることを確認してください。
- ・ SD カードを押し、抜き取ります。
- ・ SD カードを抜き取ったあとは、スロットを保護するために、必ずダミーカードを挿入してください。

#### ●SD カードの取り出し

SD 機能を停止させず（動作中）に、SD カードを抜いたり電源を切ると、本機の再起動が必要となります。また、故障の原因となります。



### 3-9-3 SD カード機能の操作

#### 【操作手順】







- (1) SD カードを挿入する前に、正面パネル ENC が緑色点灯していることを確認します。
- (2) SD カードを挿入します。
- (3) 前面パネルの ENT ボタンを長押し（3 秒以上）して、メニューモードに入ります。
- (4) 設定ボタン (       ) で操作機能を選びます。
- (5) TS ファイルのループ再生を停止するときは、再度メニューモードで、「STOP」を選択すると、自動的に機能終了し、SD 動作 LED が消灯します。  
その他の機能は、「LOAD（読み込み）」または「SAVE（保存）」が終ると自動的に機能終了し、SD カード動作表示 LED が消灯します。
- (6) SD カード動作表示 LED の消灯を確認後、SD カードを軽く押してから引き抜きます。

表 3-3 SD カード機能メニュー一覧

| メニュー番号 |    |            | 設定項目           | 機能                  |
|--------|----|------------|----------------|---------------------|
| 大      | 中  | 表示         |                |                     |
| 06     |    | SD CARD    |                | SD カード制御            |
|        | 61 | PARAMETER  |                | 設定ファイルの処理           |
|        |    |            | ①LOAD<br>②SAVE | 読み込み<br>保存→終了       |
|        | 62 | LOG        |                | 内部ログの書き出し           |
|        |    |            | ①SAVE          | 保存→終了               |
|        | 63 | LOOP PLAY  |                | TS ファイルのループ再生       |
|        |    |            | ①PLAY<br>②STOP | 再生<br>停止→終了         |
|        | 64 | VERSION UP |                | 内部アプリケーションのバージョンアップ |
|        |    |            | ①LOAD          | 読み込み                |

## 第4章. メンテナンス

### 4-1 エラー/アラーム

なんらかの外部要因による問題が発生した場合、ERROR ランプ(橙)が点灯します。  
また、本体のハードウェアに異常が発生した場合、ALARM ランプ(赤)が点灯します。  
問題が発生した場合は以下の手順で確認を行ってください。

#### 4-1-1 内容を確認する

- (1) 本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続し、ブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力します。
- (2) タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「ステータス」を選択し、中項目から「エラー/アラーム」を選択します。左側にエラー情報が、右側にアラーム情報が表示されます。
- (3) エラー情報が表示された場合、内容に従って各入出力端子をご確認ください。アラーム情報が表示された場合、内容に従ってすぐに原因を確認してください。そのまま使用を続けた場合、故障の原因となることがあります。



図 4-1 エラー/アラーム 表示画面

#### 4-1-2 機器のステータスを確認する

機器ステータスでは、本機の内部電圧値、温度、ファン稼働状態を得ることができます。

- (1) 本機と設定 PC を LAN ケーブルで接続し、ウェブブラウザを立ち上げ、本機の IP アドレスを入力します。
- (2) タイトル画面の「設定メニュータブ」の大項目から「ステータス」を選択し、中項目から「機器ステータス」を選択します。
- (3) 機器状態が表示されます。

停止 ▾
設定
表示更新

**機器ステータス**

|     |                             |        |             |         |         |         |           |           |          |        |
|-----|-----------------------------|--------|-------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------|--------|
| 電圧  | +5.0V                       | +4.0V  | +3.0V       | +1.2V_3 | +0.9V_2 | +0.9V_1 | 1.0V/1.8V | 1.2V/1.8V | 1.2V_1   | 1.2V_2 |
|     | 正常                          | 正常     | 正常          | 正常      | 正常      | 正常      | 正常        | 正常        | 正常       | 正常     |
|     | 1.25V                       | 1.8V_1 | 1.8V_2      | 2.5V    | 3.3V    | 3.3V_S  | 1.8V_S    | 1.2V_S    | 3.3V_BAT |        |
|     | 正常                          | 正常     | 正常          | 正常      | 正常      | 正常      | 正常        | 正常        | 正常       | --     |
| 温度  | 38.0°C ※-20°C~70°Cの範囲を正常とする |        |             |         |         |         |           |           |          |        |
| FAN | FAN(左)                      | FAN(右) | ※筐体後面から見た場合 |         |         |         |           |           |          |        |
|     | 正常                          | 正常     |             |         |         |         |           |           |          |        |

図 4-2 機器ステータス表示画面

### 4-1-3 ログ内容詳細

ログ表示、表示パネルで確認ができる本機のログ内容の詳細情報を示します。

ステータス区別として、情報・エラー・アラームの3種類があります。

「情報」に関するログ内容については、装置の動作には問題ありません。「エラー」「アラーム」に関するログ内容については、「エラー」「アラーム」の内容確認をして頂き弊社サポートまでご連絡ください。

お問合せ先については110ページ「お問い合わせ相談窓口」をご参照ください。

#### 1) 情報

| コード  | 区別 | ログ詳細                          | 内容                         |
|------|----|-------------------------------|----------------------------|
| 8101 | 情報 | 通常起動                          | 通常モードの起動処理完了時              |
| 8102 | 情報 | メンテナンス起動                      | メンテナンスモードの起動処理完了時          |
| 8103 | 情報 | バージョンアップ                      | ソフトバージョンアップ開始時             |
| 8104 | 情報 | 時刻補正完了(NTP)                   | NTPによる時刻補正の結果              |
| 8105 | 情報 | 時刻補正完了(ワンセグ)                  | ワンセグによる時刻補正の結果             |
| 8106 | 情報 | 時刻補正方法設定(NTP→ワンセグ)            | 時刻補正をNTP→ワンセグに設定したとき       |
| 8107 | 情報 | 時刻補正方法設定(NTP)                 | 時刻補正をNTPに設定したとき            |
| 8108 | 情報 | 時刻補正方法設定(ワンセグ)                | 時刻補正をワンセグに設定したとき           |
| 8109 | 情報 | 時刻手動またはPC時刻に設定                | 時刻を手動またはPC時刻で補正したとき        |
| 810A | 情報 | 時刻補正実施(NTP→ワンセグ)              | 時刻補正がNTPまたはワンセグで実施したとき     |
| 810B | 情報 | 時刻補正実施(NTP)                   | NTPにて時刻補正を実施したとき           |
| 810C | 情報 | 時刻補正実施(ワンセグ)                  | ワンセグにて時刻補正を実施したとき          |
| 810D | 情報 | IPアドレス変更                      | ウェブから装置のIP変更               |
| 810F | 情報 | 工場出荷時設定に変更                    | ウェブから工場出荷時設定に戻す            |
| 8111 | 情報 | システム再起動                       | SNMPからのリセット要求              |
| 8112 | 情報 | ログ異常検出、データ初期化                 | ログデータに異常があり、データを初期化したとき    |
| 8113 | 情報 | 時刻補正エラー検出設定(有効)               | 時刻補正エラー検出を有効に設定したとき        |
| 8114 | 情報 | 時刻補正エラー検出設定(無効)               | 時刻補正エラー検出を無効に設定したとき        |
| 8201 | 情報 | エンコード開始                       | エンコード開始指示後                 |
| 8202 | 情報 | エンコード停止                       | エンコード停止指示後                 |
| 8203 | 情報 | エンコード初期化                      | エンコード初期化指示後                |
| 8210 | 情報 | 入力選択(映像:SDI IN/音声:SDI IN)     | 入力信号がSDI映像/SDI音声に変更されたとき   |
| 8211 | 情報 | 入力選択(映像:SDI IN/音声:AUDIO IN)   | 入力信号がSDI映像/アナログ音声に変更されたとき  |
| 8212 | 情報 | 入力選択(映像:HDMI IN/音声:HDMI IN)   | 入力信号がHDMI映像/HDMI音声に変更されたとき |
| 8213 | 情報 | 入力選択(映像:HDMI IN/音声:AUDIO IN)  | 入力信号がHDMI映像/アナログ音声に変更されたとき |
| 8214 | 情報 | 入力選択(映像:D1/D3 IN/音声:AUDIO IN) | 入力信号がD端子映像/アナログ音声に変更されたとき  |
| 8215 | 情報 | 入力選択(映像:VIDEO IN/音声:AUDIO IN) | 入力信号がアナログ映像/アナログ音声に変更されたとき |
| 8220 | 情報 | 入力映像 認識不能                     | 自動追従で映像フォーマットが認識不能だったとき    |
| 8221 | 情報 | 入力映像 サポート外                    | 自動追従で映像フォーマットがサポート外だったとき   |

| コード  | 区別 | ログ詳細               | 内容   |
|------|----|--------------------|--|
| 8222 | 情報 | 入力映像 1080i         | 自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 不明と認識したとき           |
| 8223 | 情報 | 入力映像 1080i 16:9    | 自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 16:9 と認識したとき        |
| 8224 | 情報 | 入力映像 1080i 4:3     | 自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 4:3 と認識したとき         |
| 8225 | 情報 | 入力映像 1080i 4:3LB   | 自動追従で映像フォーマット 1080i、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき |
| 8226 | 情報 | 入力映像 480i          | 自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 不明と認識したとき            |
| 8227 | 情報 | 入力映像 480i 16:9     | 自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 16:9 と認識したとき         |
| 8228 | 情報 | 入力映像 480i 4:3      | 自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 4:3 と認識したとき          |
| 8229 | 情報 | 入力映像 480i 4:3LB    | 自動追従で映像フォーマット 480i、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき  |
| 822A | 情報 | 入力映像 480p          | 自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 不明と認識したとき            |
| 822B | 情報 | 入力映像 480p 16:9     | 自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 16:9 と認識したとき         |
| 822C | 情報 | 入力映像 480p 4:3      | 自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 4:3 と認識したとき          |
| 822D | 情報 | 入力映像 480p 4:3LB    | 自動追従で映像フォーマット 480p、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき  |
| 822E | 情報 | 入力映像 VGA           | 自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 不明と認識したとき             |
| 822F | 情報 | 入力映像 VGA 16:9      | 自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 16:9 と認識したとき          |
| 8230 | 情報 | 入力映像 VGA 4:3       | 自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 4:3 と認識したとき           |
| 8231 | 情報 | 入力映像 VGA 4:3LB     | 自動追従で映像フォーマット VGA、アスペクト比 4:3 レターボックス と認識したとき   |
| 8601 | 情報 | S3 映像音声入力切替 SD カード | サービス 3 の映像音声を SD カードから入力するように指示                |
| 8602 | 情報 | S3 映像音声入力切替 TS IN  | サービス 3 の映像音声を TS IN から入力するように指示                |
| 8701 | 情報 | OFDM 送信開始          | OFDM 送信開始指示後                                   |
| 8702 | 情報 | OFDM 送信停止          | OFDM 送信停止指示後                                   |
| 8703 | 情報 | OFDM 初期化           | OFDM 初期化指示後                                    |
| 8704 | 情報 | TMCC 情報切替検出        | 入力した TMCC 情報の切替を検出したとき                         |
| 8801 | 情報 | TS ループ再生開始(SD カード) | SD カードからの TS ファイルのループ再生を開始したとき                 |
| 8802 | 情報 | TS ループ再生終了(SD カード) | SD カードからの TS ファイルのループ再生を終了したとき                 |
| 8803 | 情報 | TS ループ再生失敗(SD カード) | SD カードからの TS ファイルのループ再生に失敗したとき                 |
| 8804 | 情報 | SD カード不正抜き取り       | SD カードが不正に抜かれたとき                               |

2) エラー

| コード  | 区別  | ログ詳細                | パネル表示            | 内容  |
|------|-----|---------------------|------------------|---|
| C101 | エラー | 時刻補正異常              | TIME adjust      | 時刻補正が正しく行なわれなかったとき (NTP, ワンセグ未接続)                   |
| C104 | エラー | 設定ファイル異常            | PARAM file       | 設定ファイルのチェックサムエラー                                    |
| C201 | エラー | エンコード異常             | ENCODE           | 映像エンコーダのステータスがエラーになったとき                             |
| C202 | エラー | TSMUX 異常            | TSMUX            | TSMUX のステータスがエラーになったとき                              |
| C203 | エラー | SDI IN 端子入力断        | SDI IN input     | SDI 入力選択時に SDI IN に入力が無いとき                          |
| C204 | エラー | SDI IN 端子フォーマット異常   | SDI IN format    | HD または SD を選択時、フォーマットに合わない入力があったとき                  |
| C205 | エラー | SDI IN 端子音声入力断      | SDI IN audio     | エンベデッド音声が多重されていないとき                                 |
| C206 | エラー | VIDEO IN 端子入力断      | VIDEO IN input   | アナログ選択時、アナログビデオ入力が無いとき                              |
| C207 | エラー | VIDEO IN 端子フォーマット異常 | VIDEO IN format  | ビデオフォーマットが NTSC に合致しないとき                            |
| C208 | エラー | HDMI IN 端子入力断       | HDMI IN input    | HDMI 入力選択時に HDMI に入力が無いとき                           |
| C209 | エラー | HDMI IN 端子フォーマット異常  | HDMI IN format   | HD または SD を明示し、HDMI 入力を選択しているときにフォーマットに合わない入力があったとき |
| C20A | エラー | HDMI IN 端子音声入力断     | HDMI IN audio    | HDMI エンベデッド音声が多重されていないとき                            |
| C20B | エラー | D1/D3 IN 端子入力断      | D1/D3 IN input   | D 端子入力選択時に D 端子に入力が無いとき                             |
| C20C | エラー | D1/D3 IN 端子フォーマット異常 | D1/D3 IN format  | HD または SD を明示し、D 端子入力を選択しているときにフォーマットに合わない入力があったとき  |
| C221 | エラー | エンコード初期化失敗          | ENCODE init      | 符号化開始時のイニシャルが異常終了したとき                               |
| C222 | エラー | 映像エラー               | VIDEO            | 映像 PES が正しく生成されないとき                                 |
| C223 | エラー | 音声エラー               | AUDIO            | 音声 PES が正しく生成されないとき                                 |
| C224 | エラー | TS エラー              | TS               | TS パケットが正しく生成されないとき                                 |
| C225 | エラー | STCPLL アンロック        | STCPLL unlock    | 入力ビデオクロックに対し、システムクロックの PLL がロックできないとき               |
| C231 | エラー | 映像コーデック異常           | VCODEC           | 映像コーデックチップのステータス異常を検出したとき                           |
| C232 | エラー | 映像バッファオーバーフロー       | VBUFFER overflow | 映像コーデックチップのステータス異常を検出したとき                           |
| C233 | エラー | 映像コーデック DDR エラー     | VCODEC DDR       | 映像コーデックチップに接続される DDR メモリがオーバー/アンダーフローしたとき           |
| C234 | エラー | 映像コーデック WDT エラー     | VCODEC WDT       | 映像コーデックチップのウォッチドッグが異常を検出したとき                        |

| コード  | 区別  | ログ詳細                      | パネル表示            | 内容  |
|------|-----|---------------------------|------------------|---|
| C241 | エラー | 音声コーデック異常                 | ACODEC           | 音声 DSP のステータス異常を検出したとき  |
| C242 | エラー | 音声バッファ<br>オーバーフロー         | ABUFFER overflow | 音声 DSP のデータ受信バッファがオーバーフローしたとき   |
| C243 | エラー | 音声コーデック<br>パラメータエラー       | ACODEC param     | 音声 DSP に設定するパラメータが規定値以外<br>のとき  |
| C244 | エラー | 音声コーデック開始/終了<br>不可        | ACODEC control   | 音声 DSP に対するスタート/ストップ制御が<br>できないとき   |
| C245 | エラー | 音声コーデック IP エラー            | ACODEC IP        | 音声 DSP のエンコードコアが異常状態になっ<br>たとき  |
| C246 | エラー | 音声コーデック<br>入力フォーマット異常     | ACODEC format    | 音声 DSP の入力データフォーマットが異常な<br>とき   |
| C247 | エラー | 音声コーデック<br>入力タイミング異常      | ACODEC timing    | 音声 DSP の入力データタイミングが異常な<br>とき  |
| C248 | エラー | 音声コーデックデータ<br>入力異常        | ACODEC input     | 音声 DSP への入力データが無いとき   |
| C249 | エラー | 音声コーデックデータ<br>出力異常        | ACODEC output    | 音声 DSP からの出力データが無いとき  |
| C24A | エラー | 音声コーデック<br>バッファエラー        | ACODEC buffer    | 音声 DSP の McBSP ポートがオーバーフロー<br>したとき  |
| C601 | エラー | TS IN 入力断                 | EXT TS IN input  | 外部 TS 入力端子からの TS 入力がないとき。<br>ただし、以下のいずれかの条件を満たす場合に<br>のみ通知する。<br>・サービス 2 が使用<br>・サービス 3 が TS 入力にて使用<br>・TS 入力からのデータ多重あり                   |
| C603 | エラー | SD カード TS 入力断             | SDCARD TS input  | サービス 3(SD カード)使用時、および SD カ<br>ードからのデータ多重時に、SD カードからの TS<br>入力がないとき。<br>SD カード TS ループ再生の START 状態と関係<br>なく、SD カードからの TS 入力がない場合に<br>発生とする。 |
| C604 | エラー | TS バッファ 1<br>オーバーフロー      | TSBUF1 overflow  | TSMUX の TS 入力バッファ（サービス 1 の映<br>像音声）がオーバーフローしたとき。  |
| C605 | エラー | TS バッファ 2<br>オーバーフロー      | TSBUF2 overflow  | TSMUX の TS 入力バッファ（サービス 2 の映<br>像音声または TS IN からのデータ放送）がオー<br>バーフローしたとき。  |
| C606 | エラー | TS バッファ 3<br>オーバーフロー      | TSBUF3 overflow  | TSMUX の TS 入力バッファ（サービス 3 の映<br>像音声）がオーバーフローしたとき。  |
| C607 | エラー | TS バッファ 4<br>オーバーフロー      | TSBUF4 overflow  | TSMUX の TS 入力バッファ（SD カードから<br>のデータ放送）がオーバーフローしたとき。  |
| C609 | エラー | SD カード TS バッファ<br>オーバーフロー | SDBUF overflow   | SD カードからの TS 入力用の DDR において<br>オーバーフローが発生したとき。<br>SD カード TS ループ再生が STOP であるとき<br>には、無視される。   |

| コード  | 区別  | ログ詳細                      | パネル表示            | 内容  |
|------|-----|---------------------------|------------------|---|
| C60A | エラー | SD カード TS バッファ<br>アンダーフロー | SDBUF underflow  | SD カードからの TS 入力用の DDR においてアンダーフローが発生したとき。<br>SD カード TS ループ再生が STOP であるときには、無視される。 |
| C60B | エラー | SD カード TS<br>フォーマット異常     | SDCARD TS format | SD カードからの TS 中の映像・音声・PCR パケットに異常が認められるとき。<br>SD カード TS ループ再生が STOP であるときには、無視される。 |
| C701 | エラー | OFDM 異常                   | OFDM             | SD カードからの TS 中の映像・音声・PCR パケットに異常が認められるとき。<br>SD カード TS ループ再生が STOP であるときには、無視される。 |
| C702 | エラー | OFDM TS 入力断               | TS IN input      | TS IN に入力がないとき  |
| C703 | エラー | OFDM TS 入力<br>フォーマット異常    | TS IN format     | TS IN にフォーマットに合わない入力があったとき  |
| C704 | エラー | OFDM TS 入力<br>PLL アンロック   | TS IN PLL unlock | TS IN の入力が OFDM モジュールの PLL にロックできないとき   |
| C705 | エラー | OFDM CLK 入力断              | CLK IN input     | CLK IN に入力がないとき   |
| C706 | エラー | CLK IN 端子アンロック            | CLK IN unlock    | CLK IN の入力が OFDM モジュールに同期できないとき   |
| C707 | エラー | OFDM モジュール異常              | OFDM module      | OFDM モジュールのステータス異常を検出したとき   |
| C708 | エラー | OFDM 初期化失敗                | OFDM init        | OFDM 開始時のイニシャルが異常終了したとき   |
| C709 | エラー | 放送周波数連動失敗                 | BC Freq link     | 放送周波数連動時に設定値を取得できず OFDM 開始できなかったとき  |
| C70A | エラー | 出力レベル連動失敗                 | OUT level link   | RF 出力レベル連動時に設定値を取得できず OFDM 開始できなかったとき   |
| C70B | エラー | OFDM 伝送モード未対応             | OFDM unsupported | TMCC 情報による OFDM 伝送モードが未サポートだったとき  |



### 3) アラーム

| コード  | 区別   | ログ詳細             | パネル表示           | 内容                             |
|------|------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| A101 | アラーム | 電圧値異常(+5.0V)     | volt(5.0V)      | 基板の+5.0Vが±10%の範囲を超えたとき         |
| A102 | アラーム | 電圧値異常(+4.0V)     | volt(4.0V)      | 基板の+4.0Vが±10%の範囲を超えたとき         |
| A103 | アラーム | 電圧値異常(+3.0V)     | volt(3.0V)      | 基板の+3.0Vが±10%の範囲を超えたとき         |
| A104 | アラーム | 電圧値異常(+1.2V_3)   | volt(1.2V_3)    | 基板の+1.2V_3が±10%の範囲を超えたとき       |
| A105 | アラーム | 電圧値異常(+0.9V_2)   | volt(0.9V_2)    | 基板の+0.9V_2が±10%の範囲を超えたとき       |
| A106 | アラーム | 電圧値異常(+0.9V_1)   | volt(0.9V_1)    | 基板の+0.9V_1が±10%の範囲を超えたとき       |
| A107 | アラーム | 電圧値異常(1.0V/1.8V) | volt(1.0V/1.8V) | 基板の1.0V/1.8Vが±10%の範囲を超えたとき     |
| A108 | アラーム | 電圧値異常(1.2V/1.8V) | volt(1.2V/1.8V) | 基板の1.2V/1.8Vが±10%の範囲を超えたとき     |
| A109 | アラーム | 電圧値異常(1.2V_1)    | volt(1.2V_1)    | 基板の1.2V_1が-10%~+20%の範囲を超えたとき   |
| A10A | アラーム | 電圧値異常(1.2V_2)    | volt(1.2V_2)    | 基板の1.2V_2が-10%~+20%の範囲を超えたとき   |
| A10B | アラーム | 電圧値異常(1.25V)     | volt(1.25V)     | 基板の1.25Vが±10%の範囲を超えたとき         |
| A10C | アラーム | 電圧値異常(1.8V_1)    | volt(1.8V_1)    | 基板の1.8V_1が-10%~+20%の範囲を超えたとき   |
| A10D | アラーム | 電圧値異常(1.8V_2)    | volt(1.8V_2)    | 基板の1.8V_2が-10%~+20%の範囲を超えたとき   |
| A10E | アラーム | 電圧値異常(2.5V)      | volt(2.5V)      | 基板の2.5Vが-10%~+20%の範囲を超えたとき     |
| A10F | アラーム | 電圧値異常(3.3V)      | volt(3.3V)      | 基板の3.3Vが-10%~+20%の範囲を超えたとき     |
| A110 | アラーム | 電圧値異常(3.3V_S)    | volt(3.3V_S)    | 基板の3.3V_Sが-10%~+20%の範囲を超えたとき   |
| A111 | アラーム | 電圧値異常(1.8V_S)    | volt(1.8V_S)    | 基板の1.8V_Sが出力されていないとき           |
| A112 | アラーム | 電圧値異常(1.2V_S)    | volt(1.2V_S)    | 基板の1.2V_Sが出力されていないとき           |
| A113 | アラーム | 電圧値異常(+3.3V_BAT) | volt(BAT)       | バックアップ用のボタン電池電圧が1.7V以下のとき      |
| A114 | アラーム | FAN(右)異常         | FAN_R           | 筐体背面から見て右のファンについて異常(停止)を検出したとき |
| A115 | アラーム | FAN(左)異常         | FAN_L           | 筐体背面から見て左のファンについて異常(停止)を検出したとき |
| A116 | アラーム | 内部温度異常           | inner temp      | 内部温度にて、-20℃~70℃の範囲外を検出したとき     |
| A701 | アラーム | OFDM 電圧値異常(+5V)  | OFDM volt(5V)   | OFDMモジュールの+5Vが4.6V以下になったとき     |
| A702 | アラーム | RF 送信異常          | RF transmit     | RF出力が制御できないとき                  |
| A703 | アラーム | OFDM FPGA データ異常  | OFDM FPGA data  | FPGAのコンフィグが成功しないとき             |

## 4-2 メンテナンスモード

メンテナンスモードでは、稼働している本機の通常モード時の IP アドレスの確認やファームウェアのバージョンアップなどを行うことができます。

また、問題が発生した場合などにログ情報の取得や設定ファイルのメンテナンスも行うことができます。

### 4-2-1 メンテナンスモードを起動する

下記手順にて行います。

(1) 電源 ON 時から POWER 表示灯が点灯するまでの間 (約 2 秒間)、リセットボタンを押し続け、本機のメンテナンスモードを起動させます。

リセットボタンは本体前面にあります。3 ページの「本体前面の構造とその名称」をご参照ください。

リセットボタンを先端の細いペンなどで押しながら電源 ON してください。POWER 表示灯が緑色に点滅し、その後点灯するまで待ちます。

(2) Internet Explorer を起動し、アドレスバーに IP アドレス「192.168.1.1」(固定)を入力し、Enter キーを押します。

#### ●メンテナンスモードの IP アドレス

メンテナンスモードの IP アドレスは「192.168.1.1」、サブネットマスクは「255.255.255.0」固定です。変更は出来ません。

メモ

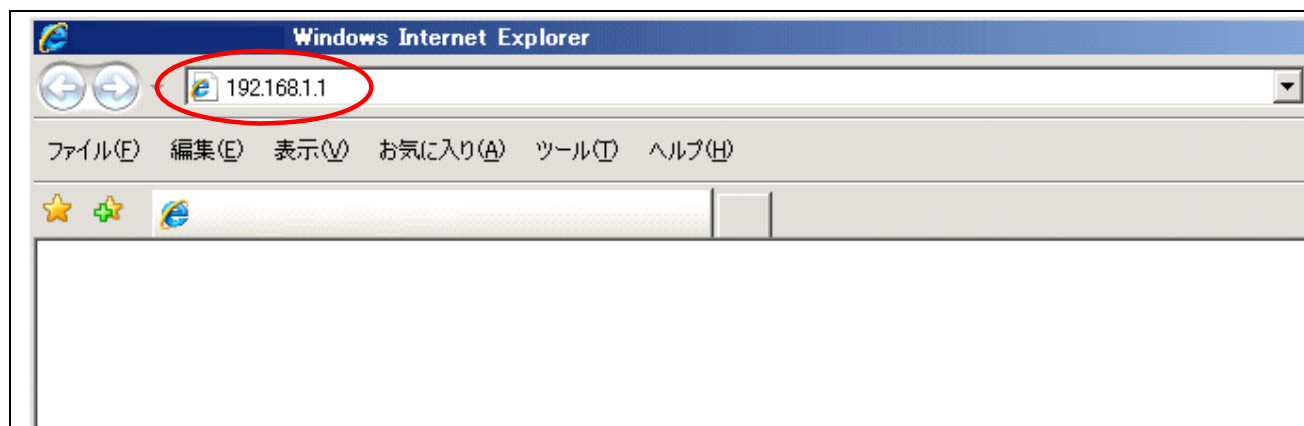


図 4-3 Internet Explorer 画面

(3) メンテナンス画面が表示されます。

**VISK** HD/SD OFDM MODULATOR PV-200H  
館内OFDM自主放送システム  
メンテナンスモード

Ver: 0000  
SN: 00000000  
IP: 192.168.1.1

メンテナンス設定

設定    デフォルト

ネットワーク設定    MACアドレス    バージョンアップ    ログ    設定ファイル

**ネットワーク設定**

IPv4

|             |  |
|-------------|--|
| IPアドレス      | <input type="text" value="192.168.1.1"/>   |
| サブネットマスク    | <input type="text" value="255.255.255.0"/> |
| デフォルトゲートウェイ | <input type="text"/>                       |

**MACアドレス**

**バージョンアップ**

ファイル選択

**ログ**

装置から読出し

**設定ファイル**

装置へ書き込み

装置から読出し

図 4-4 メンテナンスモードタイトル画面

#### 4-2-2 ネットワーク設定

通常モード時の IP アドレス設定内容の表示と設定を行います。

#### 4-2-3 MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

#### 4-2-4 バージョンアップ

ファームウェアやブラウザの更新など、システムのバージョンアップを行います。

- (1) バージョンアップファイルを弊社サポートより入手してください。お問合せ先については 110 ページ「お問い合わせ相談窓口」をご参照ください。
- (2) 「バージョンアップ」→「ファイル選択」にある「参照」ボタンをクリックし、(1)で入手したファイルを選択してください。
- (3) 「実行」ボタンを押します。

##### ●バージョンアップについて

バージョンアップ中は電源を切らないでください。

故障の原因となることがあります。

なお、バージョンアップ中は表示灯が以下のように変化します。

1. ERROR および ALARM が交互に点滅(ファームウェア更新中)
2. POWER が点滅(再起動中)
3. POWER が点灯(バージョンアップ完了)



注意

#### 4-2-5 ログ

「装置から読出し」にある「実行」ボタンをクリックすることにより、本機のログを読み出します。

ファイルはテキストファイル (UTF-8) 形式で保存が可能です。

#### 4-2-6 設定ファイル

作動中の本機の動作設定を確認するために本体内部にあるファイルを読み出し、設定 PC に保存します。

また、設定 PC 上で設定・変更したファイルを本機にアップロードすることにより、動作設定ファイルを書き換えることができます。

##### ●設定ファイルについて

設定ファイル書き込み中は電源を切らないでください。

設定ファイルの内容はお客様で編集しないでください。

故障の原因となることがあります。



注意

### 4-3 空気取り入れ口のお手入れ

本体前面の空気取り入れ口にほこりがついている様であれば、掃除機で吸い取ることをおすすめしています。



図 4-5 本機正面図

## 第5章. 主な仕様

### 5-1 詳細仕様

本機の仕様の詳細を下記に示します。

#### 5-1-1 映像入力

| No. | 項 目                  | 規格        | 備考   |
|-----|----------------------|-----------|--|
| 1   | アナログ映像<br>(VIDEO IN) | 入力信号形式    | アナログコンポジット NTSC<br>(SMPTE170M 準拠) *1、*2            |
|     |                      | 入力レベル     | 1±0.2Vp-p  |
|     |                      | 入力インピーダンス | 75Ω  |
|     |                      | 入力コネクタ    | RCA  |
|     |                      | 入力端子      | 1 端子   |
| 2   | HD/SD 映像<br>(SDI IN) | 入力信号形式    | HD-SDI(SMPTE292M 準拠) *1<br>SD-SDI(SMPTE259M 準拠) *1 |
|     |                      | 入力レベル     | 800±80mVp-p  |
|     |                      | 入力インピーダンス | 75Ω  |
|     |                      | 入力コネクタ    | BNC 型ジャック  |
|     |                      | 入力端子      | 1 端子   |
| 3   | HDMI 映像<br>(HDMI)    | 入力信号形式    | HDMI(480i/1080i 対応) (HDCP 非対応)                     |
|     |                      | 入力コネクタ    | HDMI   |
|     |                      | 入力端子      | 1 端子   |
| 4   | D 端子<br>(D1/D3)      | 入力信号形式    | D1/D3(480i/1080i 対応)                               |
|     |                      | 入力コネクタ    | D 端子   |
|     |                      | 入力端子      | 1 端子   |

\*1 SMPTE (全米映画テレビジョン技術者協会) が発表した映像機器と音声機器を同期させることを目的とした規格。

\*2 アナログ VTR などの SMPTE 規格に準拠していない機器の場合、エンコードできないことがあります。

### 5-1-2 音声入力

| No. | 項目                     |           | 規格   | 備考 |
|-----|------------------------|-----------|--|----|
| 1   | SDI エンベデッド<br>(SDI IN) | 入力信号形式    | HD/SD-SDI に重畳された Embedded 音声<br>2ch<br>(SMPTE272M、SMPTE 299M 準拠) |    |
|     |                        | サンプリング周波数 | HD/SD 映像(SDI)に同期した 48kHz   |    |
|     |                        | コネクタ      | HD/SD 映像(SDI)と同一   |    |
|     |                        | 入力端子      | HD/SD 映像(SDI)と同一   |    |
| 2   | HDMI エンベデッド            | 入力信号形式    | HDMI 信号に重畳された Embedded 音声<br>2ch                                 |    |
|     |                        | サンプリング周波数 | HDMI 映像(HDMI)に同期した 48kHz   |    |
|     |                        | コネクタ      | HDMI 映像(HDMI)と同一   |    |
|     |                        | 入力端子      | HDMI 映像(HDMI)と同一   |    |
| 3   | アナログ<br>(AUDIO IN)     | 入力信号形式    | アナログ 2ch   |    |
|     |                        | 入力レベル     | 最大 2.2dBu、1.0 Vrms   |    |
|     |                        | 入力インピーダンス | 54k $\Omega$ (不均衡 HiZ)   |    |
|     |                        | コネクタ      | RCA  |    |
|     |                        | 入力端子      | L/R 各 1 端子   |    |

### 5-1-3 RF OUT

| No. | 項目         | 規格  | 備考         |
|-----|------------|---|------------|
| 1   | 出力チャンネル    | 1ch~62ch, CATV 含む<br>(90MHz~770MHz, 1/7MHz オフセット<br>含む) |            |
| 2   | 出力レベル      | 105dB $\mu$ V   |            |
| 3   | 出力レベル可変幅   | 90dB $\mu$ V ~ 110dB $\mu$ V(1dB $\mu$ V ステップ)          |            |
| 4   | スプリアス、不要発射 | -50dB 以下<br>※ JCTEA-STD-010-OFDM の測定方法<br>による。          | 30MHz~3GHz |
| 5   | 送信スペクトルマスク | JCTEA STD-011-1.0 の 5.1OFDM-SP<br>出力の規定                 |            |
| 6   | 帯域内振幅周波数特性 | 2.0dBp-p 以内 (5.58MHz 帯域内)                               |            |
| 7   | 中心周波数偏差    | $\pm$ 10kHz   |            |
| 8   | 占有帯域幅      | 5.7MHz  |            |
| 9   | 出力レベル確度    | 設定値に対して $\pm$ 1dB 以内                                    |            |
| 10  | 出力レベル安定度   | $\pm$ 2dB 以内  |            |
| 11  | MER        | 27dB 以上   |            |
| 12  | インピーダンス    | 75 $\Omega$   |            |
| 13  | 出力コネクタ     | F 型ジャック   |            |
| 14  | 出力端子       | 1 端子  |            |

#### 5-1-4 RF MON

| No. | 項目      | 規格                    | 備考 |
|-----|---------|-----------------------|----|
| 1   | 出力レベル   | RF OUT に対して-20±2dB 以内 |    |
| 2   | インピーダンス | 75Ω                   |    |
| 3   | 出力コネクタ  | F 型ジャック               |    |
| 4   | 出力端子    | 1 端子                  |    |

#### 5-1-5 RF 入力 (RF IN)

| No. | 項目        | 規格                        | 備考 |
|-----|-----------|---------------------------|----|
| 1   | 入力信号内容    | UHF 入力 (ワンセグ)             |    |
| 2   | 受信チャンネル   | 13ch~62ch (470MHz~770MHz) |    |
| 3   | 入力レベル     | 45~110dBμV                |    |
| 4   | 入力インピーダンス | 75Ω                       |    |
| 5   | 入力コネクタ    | F 型ジャック                   |    |
| 6   | 入力端子      | 1 端子                      |    |

#### 5-1-6 OFDM 変調部

| No. | 項目         | 規格       | 備考 |
|-----|------------|----------|----|
| 1   | 伝送モード      | Mode3    |    |
| 2   | キャリア変調方式   | 64QAM    |    |
| 3   | ガードインターバル比 | 1/8      |    |
| 4   | 畳込み符号      | 3/4      |    |
| 5   | 時間インターリーブ  | 2        |    |
| 6   | 周波数セグメント数  | 13 セグメント |    |
| 7   | 階層数        | 1 階層     |    |



### 5-1-7 TS 入力

| No. | 項目               | 規格         | 備考   |
|-----|------------------|------------|--|
| 1   | TS 入力<br>(TS IN) | 入力信号構造     | MPEG-2 TS  |
|     |                  | 信号形式       | 8B/10B 伝送コード                                     |
|     |                  | 入力インターフェース | DVB-ASI (EN50083-9 準拠)<br>(ISO/IEC60728-9)       |
|     |                  | 入力最大伝送速度   | 31.644Mbps (204 バイト構成)<br>29.162Mbps (188 バイト構成) |
|     |                  | 信号振幅       | 800±80mVp-p                                      |
|     |                  | 伝送フォーマット   | バーストモード/パケットモード                                  |
|     |                  | パケット長      | 188 バイト/204 バイト (自動認識)                           |
|     |                  | 入力インピーダンス  | 75Ω  |
|     |                  | コネクタ       | BNC 型ジャック  |
|     |                  | 入力端子       | 1 端子   |

### 5-1-8 符号化

| No.      | 項目    | 規格       | 備考   |
|----------|-------|----------|--|
| 1        | HD 映像 | 符号化方式    | MPEG-2 MP@HL, MP@H14L, 4:2:0               |
|          |       | 映像フォーマット | 1080i                                      |
|          |       |          | 1920 (H) x 1080 (V)<br>1440 (H) x 1080 (V) |
|          |       | フレームレート  | 29.97fps                                   |
| 符号化制御モード | CBR   |          |  |
| 2        | SD 映像 | 符号化方式    | MPEG-2 MP@HL, 4:2:0                        |
|          |       | 映像フォーマット | 480i<br>720 (H) x 480 (V)                  |
|          |       | 符号化制御モード | CBR  |
| 3        | 音声    | 符号化方式    | MPEG2 AAC LC-profile                       |
|          |       | 符号化レート   | 192kbps                                    |
|          |       | 符号化チャンネル | 2ch (STEREO, DualMono)                     |

### 5-1-9 イーサネットポート (LAN)

| No. | 項目         | 規格                    | 備考 |
|-----|------------|-----------------------|----|
| 1   | 通信インターフェース | 100BASE-TX/1000BASE-T |    |
| 2   | 通信方式       | TCP/IP, UDP/IP        |    |
| 3   | コネクタ       | RJ-45 型               |    |
| 4   | 入出力端子      | 1 端子                  |    |
| 5   | その他        | SNMP v3               |    |

●イーサネットポートについて

本機は Auto-Negotiation 機能を備えています。本機と直接 LAN ケーブルで接続する機器は Auto-Negotiation モードで接続を行ってください。  
本機の接続先が固定モードの場合、正常に接続出来ません。  
本機との接続先の機器との通信速度(100M/1000M)やモード(Full/Half duplex)は、本製品の Auto-Negotiation 機能によって自動的に設定されます。



注意

5-1-10 ファン

| No. | 項目    | 規格                                   | 備考 |
|-----|-------|--------------------------------------|----|
| 1   | 寿命    | 約 7 年 (25°C, 60,000 時間)              |    |
| 2   | 回転センサ | あり                                   |    |
| 3   | 交換方法  | 装置電源 OFF とし、ラック実装状態で装置背面よりファンの交換が可能。 |    |

5-1-11 その他

| No. | 項目       | 規格  | 備考 |
|-----|----------|---|----|
| 1   | ラストメモリ機能 | 電源投入時、電源 OFF 以前の設定状態で立ち上がる。   |    |
| 2   | 時刻情報取得   | 外部 NTP サーバーまたは地上デジタル放送局からのワンセグ TOT から取得した時刻情報により、周期的に時刻補正を行うことができる。 |    |

5-1-12 一般仕様

| No. | 項目     | 規格                              | 備考         |
|-----|--------|---------------------------------|------------|
| 1   | 構造     | 19 インチラックマウントタイプ<br>EIA : 1U 兼用 |            |
| 2   | 冷却方式   | DC ファンによる強制空冷                   |            |
| 3   | 消費電力   | 約 30W                           | AC100V 入力時 |
| 4   | 使用温度範囲 | 0~+40°C                         |            |
| 5   | 使用湿度範囲 | 30~90%RH                        | 結露なきこと     |
| 6   | 寸法     | 430.0(W)×44.0(H)×350.0(D) mm    | 突起部分は除く    |
| 7   | 質量     | 約 4.5kg                         |            |

## 第6章. アフターサービスについて

### 6-1 保証および修理

#### 6-1-1 無償保証期間

無償保証期間は、お客様の商品ご購入日より1年間とさせていただきます。

保証書は大切に保管してください。無償保証期間終了後は有償での修理となります。

#### 6-1-2 無償保証範囲

無償保証につきましては、その期間中、取扱説明書やカタログなどに記載された使用環境・使用方法や注意事項に従ってご使用いただいた場合に限らせていただきます。

#### 6-1-3 無償保証期間中の有償修理

無償保証対応期間内に関らず、次のような場合には有償修理とさせていただきます。

- (1) 納入後の輸送や移動時の落下、衝撃など、お客さまの取扱い不備により生じた故障の場合。
- (2) 消耗部品の適切な交換、または取扱説明書に記載されているメンテナンスが正しく行われていれば防げたと認められる故障の場合。
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害や異常気象による故障の場合。
- (4) 接続している他の機器との使用に起因して本製品に生じた故障の場合。
- (5) ファンの交換。
- (6) 通常予見できない原因による故障の場合。
- (7) その他、お客さまの取扱い不備による故障と認められる場合。
- (8) 保証書を紛失した場合。
- (9) 弊社以外で修理、改造等をされたと認められる場合には、無償・有償に関係なく修理をお断りすることがあります。

#### 6-1-4 修理条件

- (1) 修理は、弊社製品のみを対象といたします。
- (2) 修理は、原則弊社にて製品をお預かりした上での修理とさせていただきます。ご送付される場合の送料、もしくは修理品のご持参、修理品お持ち帰りの際の交通費はおお客様のご負担にてお願いいたします。
- (3) 修理を希望される場合は、まず弊社お問い合わせ相談窓口までご連絡ください。連絡先につきましては110 ページ「お問い合わせ相談窓口」をご参照ください。

## 6-2 その他のアフターサービス

### 6-2-1 生産中止情報

弊社製品の生産中止情報は、弊社ホームページ上に掲示いたします。

下記 URL にてご確認ください。

<http://www.kcd.co.jp/>

## 6-3 お問い合わせ相談窓口

㈱中日電子製品に関連する下記のご相談を承ります。

- (1) 営業に関するお問い合わせ
- (2) 修理に関するお問い合わせ
- (3) 技術に関するお問い合わせ
- (4) バージョンアップに関するお問い合わせ

技術に関するお問い合わせの前に、まずマニュアルの該当するページをご覧ください。

ご相談の際には次の点についてお知らせください。

- (1) お名前
- (2) 連絡先電話番号
- (3) 使用機種
- (4) 製品番号(シリアルナンバー)

### お問い合わせ先

#### ■サポート専用フリーダイヤル



ココニ コーデック

0120-552-509

※携帯・自動車電話・PHS からのご利用になれます。

受付時間： 平日 9:00 ～ 17:00 (土・日・春期・夏期・年末年始・他弊社休業日を除く)

〒458-8525 愛知県名古屋市緑区鳴海町伝治山 1 番地

ホームページからのアクセス

ホームページからもお問い合わせいただけます。

<http://www.kcd.co.jp/mail/contact.html>

# 保 証 書

お買い上げ日から1年間以内に万が一故障が発生した場合は、  
本保証書にご記入の上、製品と共に弊社にご提示ください。  
尚、修理に関しましては株式会社中日電子が定める製品保証規定に基づきます。  
製品保証規定につきましては取扱説明書のアフターサービスの項目をご覧ください。

製品名 PV-200H

会社名：

部署：

お名前：

ご住所： 〒

電話番号： -( )-

販売店：

住所： 〒

電話番号： -( )-

商品お買い上げ日： 年 月 日

ご販売店様：

お買い上げ日、貴社名、電話番号をご記入の上、  
保証書をお客さまへお渡しください。

ご販売店控えは貴社で保管ください。

ご相談の前に本説明書をご覧ください。

使い方や修理のご相談

商品に対するお問い合わせ

サポート専用フリーダイヤル



ココニ コーデック

0120-552-509

※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間： 平日 9:00 ~ 17:00 (土・日・春期・夏期・年末年始・他弊社休業日を除く)

## 株式会社中日電子

〒458-8525 名古屋市緑区鳴海町伝治山1番地

TEL: 052-891-8997 FAX: 052-891-6278

E-mail: [info@kcd.co.jp](mailto:info@kcd.co.jp)

URL: <http://www.kcd.co.jp>

2013年2月改訂

お断りなく仕様などを変更する場合があります。ご了承ください。

説明書番号：取説-11152-0001C